

第3期座間味村
人口ビジョン・総合戦略
(計画案)



2026 年 1 月 座間味村

内容

第3期座間味村人口ビジョン	3
1. 人口ビジョンの背景と目的.....	3
(1) 国の長期ビジョンの背景と目的.....	3
(2) 計画策定の経緯.....	3
(3) 沖縄21世紀ビジョンゆがふしまづくり計画による南部離島の長期推計と 施策展開（県計画）	4
(4) 第3期座間味村人口ビジョンの位置づけ.....	7
(5) 座間味村人口ビジョンの考え方.....	7
2. 人口の現況.....	7
(1) 住民基本台帳による人口.....	7
(2) 字別の人口推移.....	8
(3) 人口推移と将来推計.....	9
(4) 5歳階級別人口ピラミッド	10
(5) 自然増減・社会増減の推移.....	11
(6) 男女別・年齢階層別人口（R元→R6）	12
(7) 出生数・死亡数/転入数・転出数.....	16
(8) 男女別人口・合計特殊出生率の推移.....	17
(9) 年齢階級別純移動数の時系列推移.....	18
(10) 年齢（10歳階級別）の転入者数	19
(11) 年齢（10歳階級別）の転出者数	19
(12) 転入・転出者数.....	20
(13) 転入数・転出数の地域.....	21
3. 第2期座間味村人口ビジョンの達成状況.....	22
(1) 人口ビジョンの達成状況.....	22
(2) 若者、子育て世代の5階級別・男女別人口推移（参考）	23
4. 第3期座間味村人口ビジョン.....	24
(1) 第3期座間味村人口ビジョンの目標.....	24
(2) 座間味村の将来人口推計.....	25
(3) 将来人口維持のための年齢階層別の人口目標.....	26
第3期座間味村総合戦略	28
1. 総合戦略の概要.....	28
(1) 総合戦略策定の背景と趣旨.....	28
(2) 国の総合戦略（地方創生2.0）	28
2. 第2期座間味村総合戦略の振り返り.....	30
(1) 座間味村の産業構造.....	30

(2)	座間味村の産業構造の推移.....	31
(3)	座間味村観光客数推移（参考）.....	31
(4)	第2期総合戦略における施策内容一覧.....	32
(5)	第2期総合戦略における施策毎の評価結果一覧.....	32
(6)	第2期総合戦略における KPI 目標達成状況.....	33
(7)	第2期総合戦略における事業実施取組状況.....	34
(8)	第3期総合戦略策定時における村民の声（アンケート結果一部抜粋）..	40
3.	第3期座間味村総合戦略.....	51
(1)	座間味村総合戦略の位置づけ.....	51
(2)	第3期座間味村総合戦略における基本目標に向けた取組及び新たな視点	52
(3)	第3期座間味村総合戦略の計画期間.....	52
(4)	第3期座間味村総合戦略の基本目標と方向性.....	52
(5)	本総合戦略におけるむらの将来イメージ図（U・I ターン、定住）	54
4.	第3期座間味村総合戦略の各施策の基本的方向と KPI 目標.....	55
5.	第3期総合戦略における SDGs の視点.....	72
(1)	持続可能な開発目標（SDGs）とは.....	72
(2)	持続可能な開発目標（SDGs）17 の目標一覧	73
(3)	第3期総合戦略の主な事業と SDGs 目標との関連一覧.....	74
6.	PDCA サイクルに基づく継続的改善に向けた取組み	76
(1)	基本的な考え方.....	76
(2)	進行管理の実施方法.....	76
(3)	考慮事項.....	76
資料編		77
1.	人口推移調査資料（参考）	77
(1)	県内離島町村との人口推移比較.....	77
2.	アンケート調査.....	81
(1)	アンケート調査の概要.....	81
(2)	アンケート結果（村民「中学生除く」）	82
(3)	村民アンケート（中学生）	123
3.	座間味村総合戦略策定審議会.....	131
(1)	座間味村総合戦略策定審議会検討内容.....	132
(2)	座間味村総合戦略審議会設置要綱.....	133

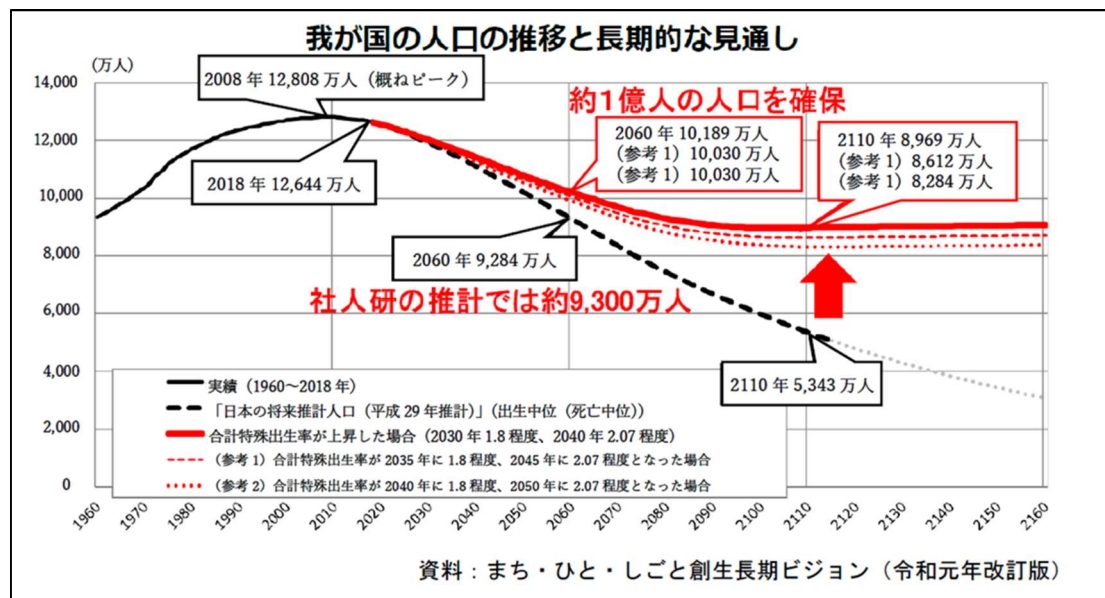
第3期座間味村人口ビジョン

1. 人口ビジョンの背景と目的

(1) 国の長期ビジョンの背景と目的

国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」（以下「国の長期ビジョン」という。）は、日本の人口の現状と将来の姿を示し、人口問題に関する国民の認識の共有を目指すとともに、急激に減少していく推計人口に対して、2060年に1億人程度の人口を維持することを目指して、今後、取り組むべき将来の方向を提示しています。

図1：我が国の人口の推移と長期的な見通し



資料：まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（令和元年改訂版）

(2) 計画策定の経緯

まち・ひと・しごと創生に関しては、まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号。以下「法」という。）が制定され、平成26年12月27日に、日本の人口の現状と将来の展望を提示する「国の長期ビジョン」及び今後5か年の政府の施策の方向を提示する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「国の総合戦略」という。）が閣議決定されました。また、令和2年に、第1期「国の総合戦略」が見直され、第2期「国の総合戦略」が策定されました。

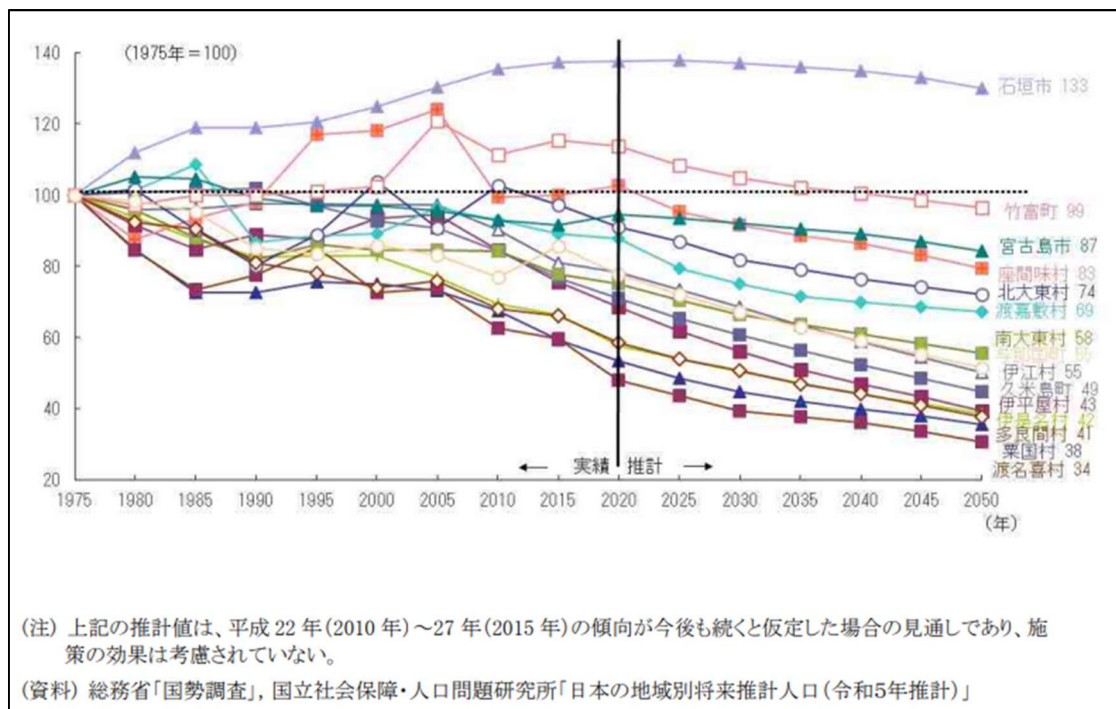
これを受けて、地方公共団体においては、国の長期ビジョン及び総合戦略を勘案して、地方公共団体における人口の現状と将来の展望を提示する「地方人口ビジョン」及び地域の実情に応じた今後5か年の施策の方向を提示する都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略及び市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略を見直すことになりました。

本村においても、村の人口の現状を分析し、人口に関する地域住民の認識を共有し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示するため、「第3期座間味村人口ビジョン」を策定します。

(3) 沖縄21世紀ビジョンゆがふしまづくり計画による南部離島の長期推計と施策展開（県計画）

沖縄県は県のまち・ひと・しごと創生総合戦略となる「沖縄21世紀ビジョンゆがふしまづくり計画（デジタル田園都市構想総合戦略）」を令和6年1月に改訂しています。その中で、本村が属する南部離島地域の人口の展望と施策展開を定めており、本村も県と連携した施策展開を行っていく必要があります。

図2：総人口指数の推移



① 結婚・出産の支援の充実

- デジタル技術を活用した未婚者への交流や出会いの機会の提供、結婚に伴う新生活のスタートアップに係る支援等に取り組む。
- 未婚者に対して、島外出身者等との交流や出会いの機会を提供し、未婚化・晩婚化の対策を推進する。
- 婚姻に伴う経済的負担を軽減するため、新規に婚姻した世帯に対する支援を市町村と連携して取り組む。
- 町村が実施している妊婦健診及び交通費等支援事業、産後ケア事業を促進していく。

② 子育てセーフティネットの充実

- 沖縄本島における長期入院児の保護者の宿泊費等の負担については、ファミリーハウス（保護者の宿泊施設）等の活用を促進し、宿泊費の低減を図る。

③ 定住条件の整備

- 離島住民が島外へ移動する際の交通コストの低減化に取り組み、経済的負担の軽減を図る。
- 廃棄物処理では、あわせ処理や広域的処理による廃棄物処理の効率化、離島において処理が困難な廃棄物の適正処理や輸送コストの低減などに取り組む。
- 情報格差の是正や高度な情報通信技術の利活用環境の形成を図る。
- 高齢化率が高いことから、地域の実情に応じた福祉サービスの提供を促進し、高齢者が安心して暮らせる環境づくりを進める。
- ICT 等を活用した医療、教育、情報をはじめとする生活環境の基盤整備を推進する。
- 公平な教育機会の確保等のため、離島・過疎地域においては、高度な情報通信技術を活用し、各学校のニーズに応じた遠隔授業を推進する。
- 高等学校等が設置されていない離島生徒の、高等学校等への進学に伴う家庭の経済的負担の軽減に取り組む。
- 環境や自然の生態系を学ぶ教育の場として、本島児童、生徒達との交流事業を推進する。

④ 地域の特色を生かした産業振興

- 観光関連産業と農業や水産業が連携したグリーン・ツーリズムやブルー・ツーリズム、生活体験等の体験・滞在型観光を促進する。
- 地域の特色を生かした農林水産業の振興や6次産業化、他産業との連携強化に取り組み、雇用の場を確保・創出し、社会増につなげる。
- 農業従事者の割合は高いが、高齢化が進んでいることから、農業分野への新規就農を支援する。
- さとうきびの増産に向けた取組の推進と合わせ、農家の所得及び製糖事業者の経営の安定に向けた支援、黒糖のブランド化と販路拡大等による需要の増加を図る。
- 農業用水源や防風林等の農業生産基盤の整備を推進する。
- 高度な情報通信技術と離島の自然に恵まれた居住環境を生かし、在宅勤務やSOHOなどのテレワークの導入促進を検討する。

⑤ 条件不利地域におけるＵターン・移住者の増加

- 住宅については、民間による住宅供給が困難な離島地域等の特性に応じ、定住化に向けた、公営住宅の整備等を推進する。併せて古民家の利活用を促進し、定住促進に取り組む。
- 地域の魅力を生かしたワーケーションや空き家の利活用を推進する。

⑥ 関係人口の創出・拡大

- 都市部の若者などが一定期間、地域に滞在しながら働き、暮らし体験、地域住民との交流等を行うワーキングホリデーなどに取り組む。
- モニターツアーの手法により沖縄県民を県内離島へ派遣し、島の特徴を生かした体験プログラムや地域住民との交流等により島への理解を深める取組を実施する。
- 沖縄本島の児童生徒を離島に派遣し、地元の住民や児童生徒との交流のもと、体験学習や民泊等を実施する。
- 「離島における税制特例措置」及び「観光地形成促進地域制度」の活用のほか、関係機関と連携し、受入環境の整備に取り組む。

⑦ 自然環境の保全・再生及びグリーンエネルギーの推進

- 2050 年脱炭素社会の実現を見据え、太陽光・風力・バイオマス等の多様な再生可能エネルギーの導入加速化、更なる技術開発・実証や基盤整備等を通じて本県に適したクリーンエネルギーの導入拡大を図る。

(4) 第3期座間味村人口ビジョンの位置づけ

座間味村の人口減少の克服と持続可能な村づくりのため、国の長期ビジョンの趣旨を踏まえて人口の現状分析を行い、人口問題に関する村民の認識を共有し、目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示すことを目的として、「第3期座間味村人口ビジョン」を策定します。

(5) 座間味村人口ビジョンの考え方

「座間味村むら・ひと・しごと総合戦略」における人口の展望を踏まえ、全国の最新の人口動態及び国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」という。）の将来人口推計を基に、本村の人口の推移と将来展望を示すものです。

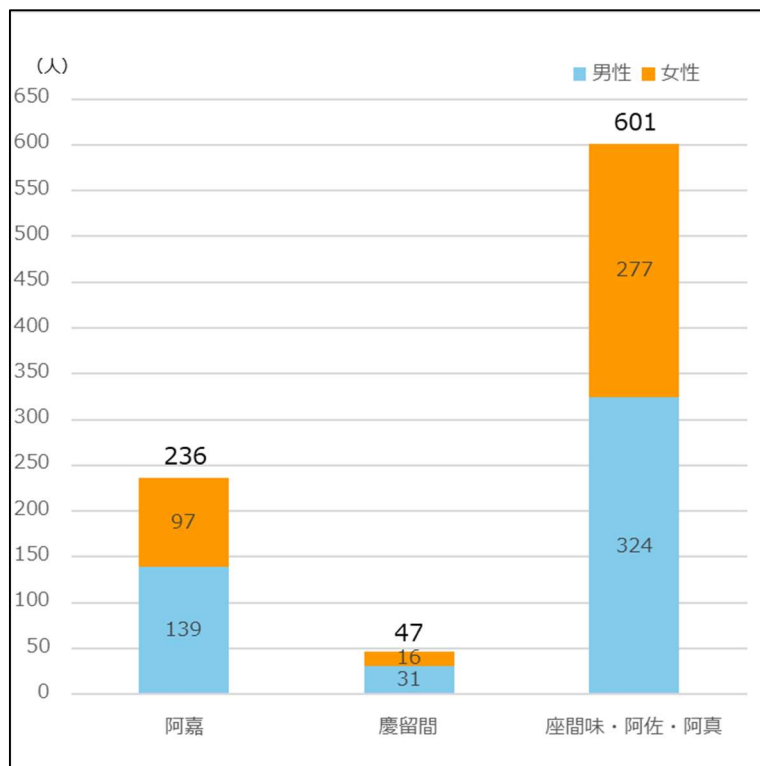
2. 人口の現況

(1) 住民基本台帳による人口

本村の住民基本台帳（2024年10月1日現在）による人口は884人となっており、男女別にみると、男性が494人、女性が390人と男性が多くなっています。

本村には3つの島があり、座間味島（座間味・阿佐・阿真）が最も多く601人と村内の全人口の約70%を占めています。次いで、阿嘉島236人、慶留間島47人となっています。

図3：住民基本台帳による字別人口（2024年10月1日現在）

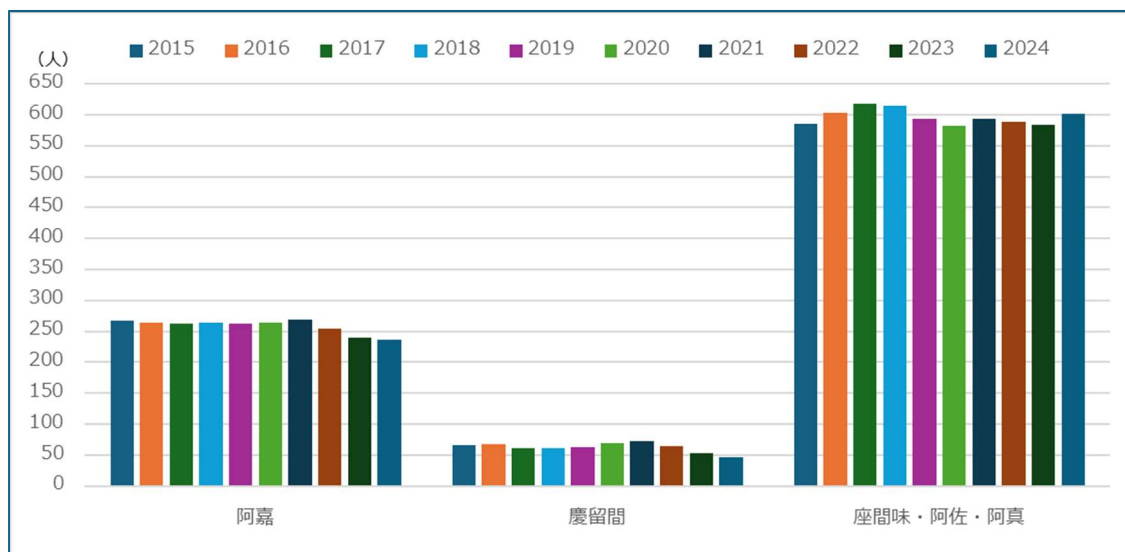


資料：住民基本台帳

(2) 字別の人口推移

過去 10 年にわたる各字の人口の推移をみると、全体的に増減を繰り返しながら、概ね横ばいに推移しています。座間味島（座間味・阿佐・阿真）においては、直近（2024 年）の人口は増加しています。

図 4：過去 10 年の字別人口の推移



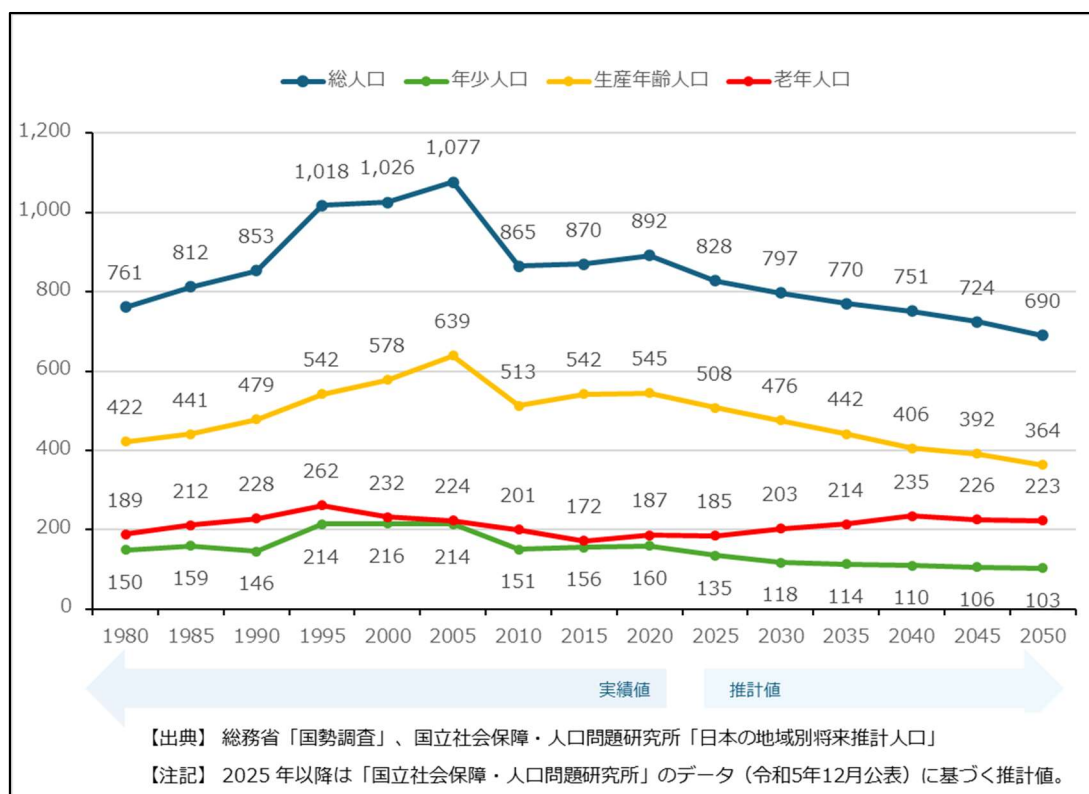
資料：住民基本台帳

(3) 人口推移と将来推計

国勢調査による本村の人口推移をみると 1980 年の 761 人から 2005 年には 1,077 人まで増加しましたが、2010 年以降は減少傾向にあります。

社人研の推計では、現状のままで行くと 2050 年までに、総人口は 690 人に減少すると推計されています。

図 5：国勢調査人口と将来推計

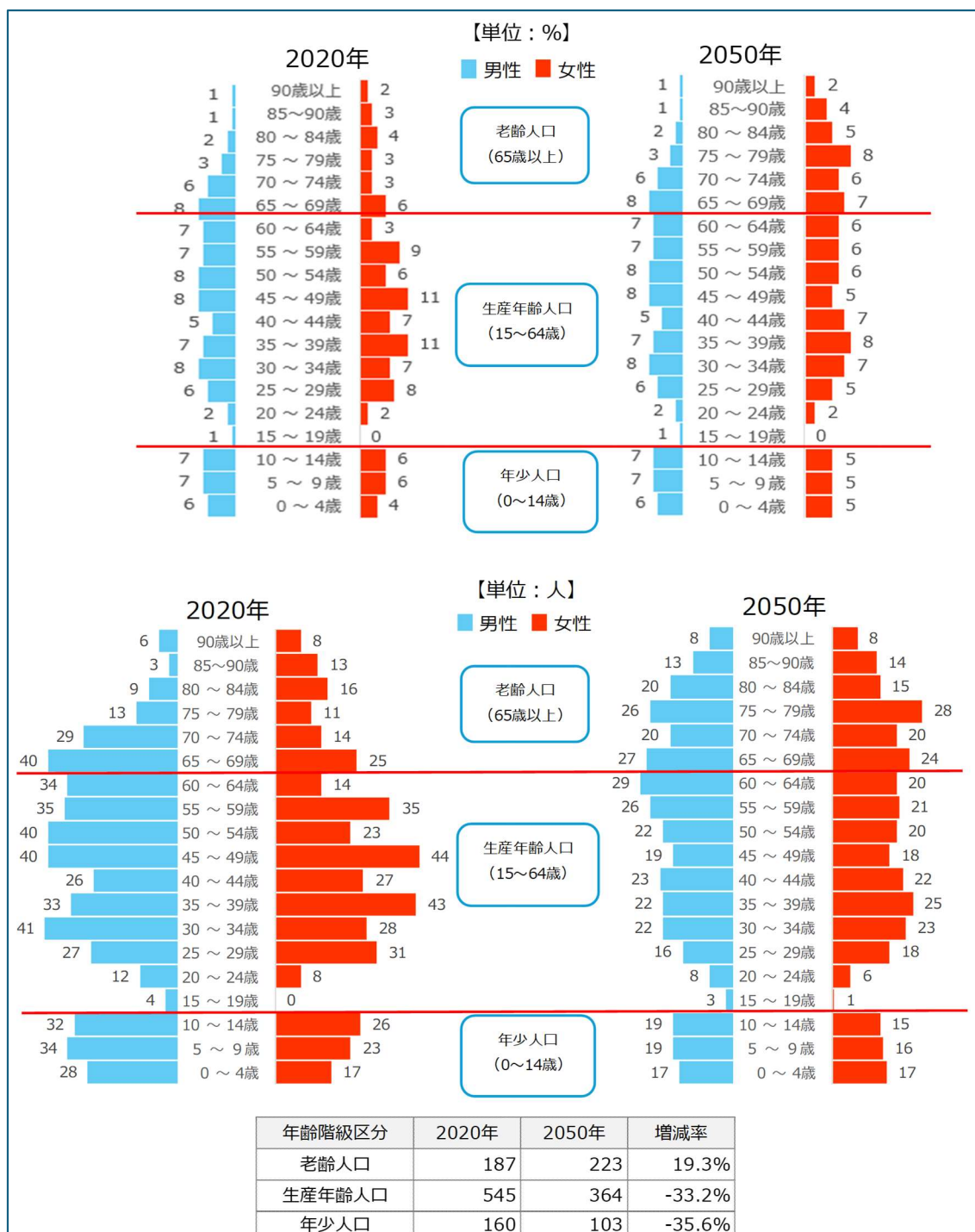


資料：地域経済分析システム（RESAS（リーサス））

(4) 5 歳階級別人口ピラミッド

本村の人口を「5 歳階級別人口ピラミッド」でみると、2020 年から 2050 年にかけて老年人口（65 歳以上）は 19.3%増加し、生産年齢人口（15 歳～64 歳）は 33.2%減少すると予測されます。また、年少人口（0 歳～14 歳）は 35.6%減少すると予測されます。

図 6：5 歳階級別人口ピラミッド

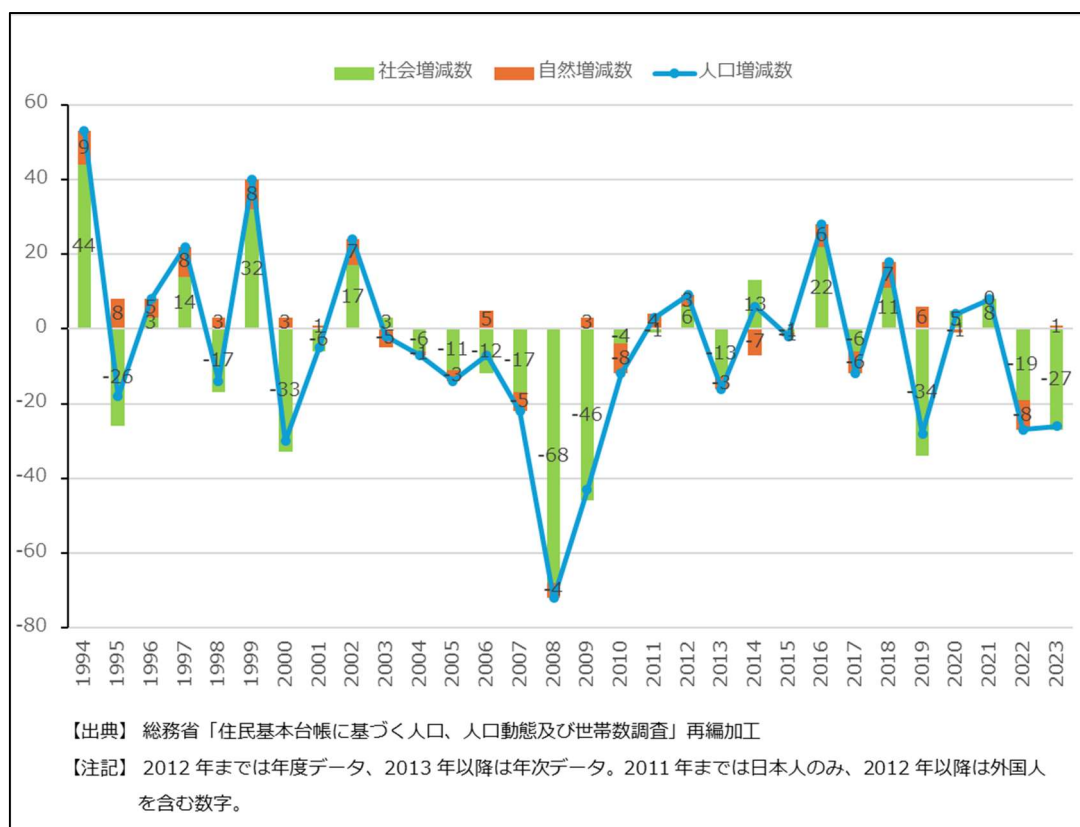


資料：地域経済分析システム（RESAS（リーサス））データより作成

(5) 自然増減・社会増減の推移

人口増減に関し、「出生・死亡による自然増減」「転入・転出による社会増減」の2つの要因が与えた影響を見ると、期間全体を通して「社会増減」による人口減少への影響が大きくなっています。

図 7：自然増減・社会増減の推移



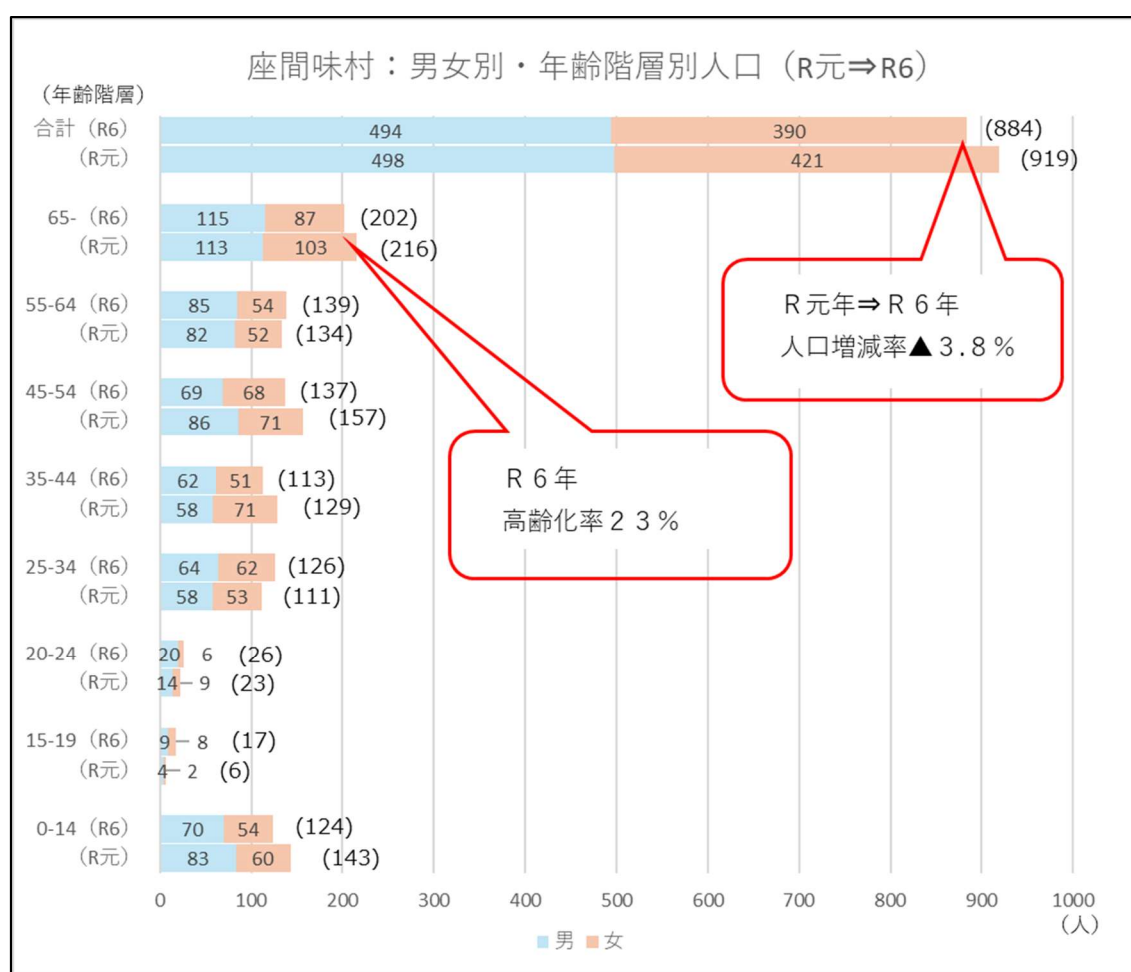
資料：地域経済分析システム（RESAS（リーサス））

(6) 男女別・年齢階層別人口（R元→R6）

本村の人口は、令和元年から令和6年の間に△3.8%減少しています。また、令和6年における65歳以上の高齢者人口は202人となっており、全体人口（884人）の23%を占めています（高齢化率23%）。なお、全国平均では2007年に「高齢化率」が21%を超え、「超高齢化社会※」に突入しました。

※超高齢化社会：65歳以上の高齢者の割合が「人口の21%」を超えた社会

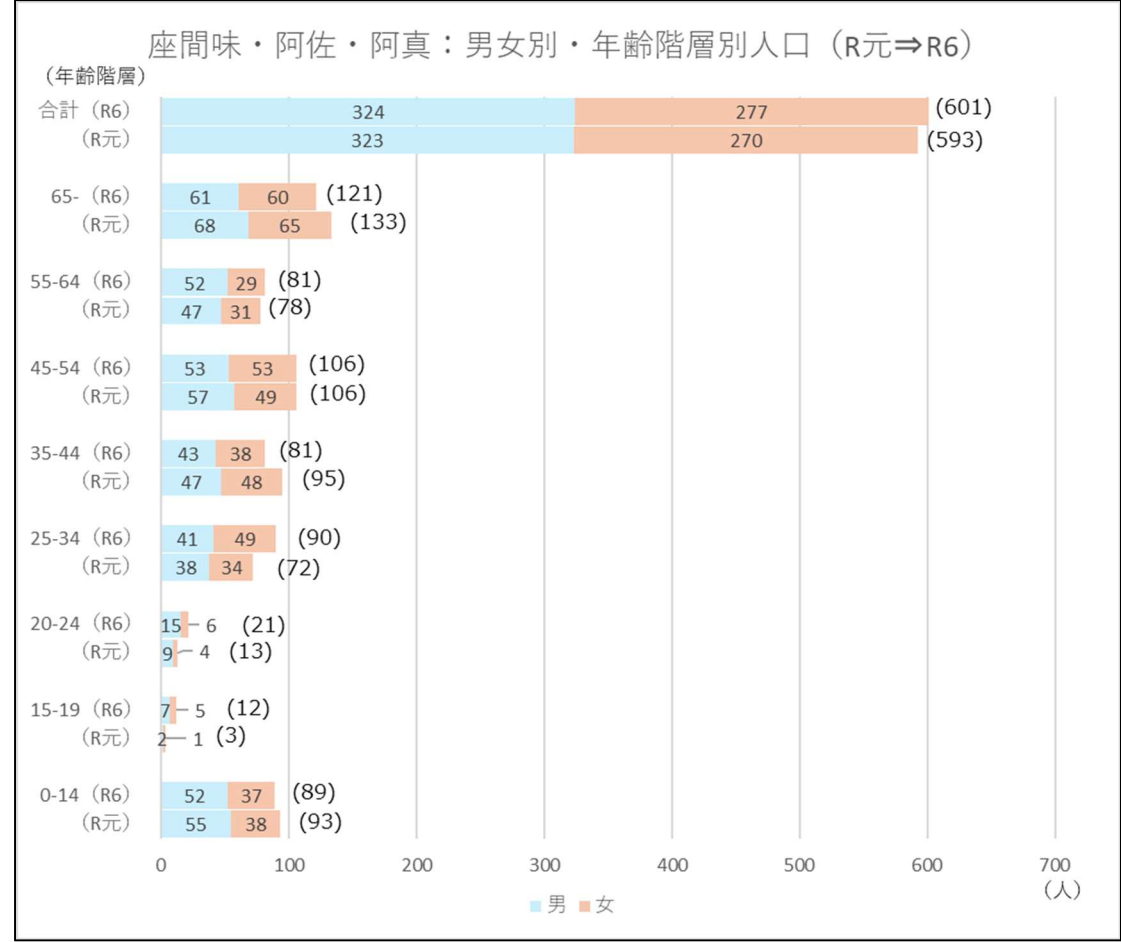
図8：座間味村における男女別・年齢階層別人口（R元→R6）



資料：住民基本台帳

座間味島（座間味・阿佐・阿真）の全体人口は、令和元年の 593 人と比較して、令和 6 年は 601 人に増加しています。男女別・年齢階層別でみると、ほとんどの年齢階層で男性の比率が高くなっていますが、令和 6 年の 25-34 歳の男女別人口では男性 41 人、女性 49 人と女性の比率が高くなっています。

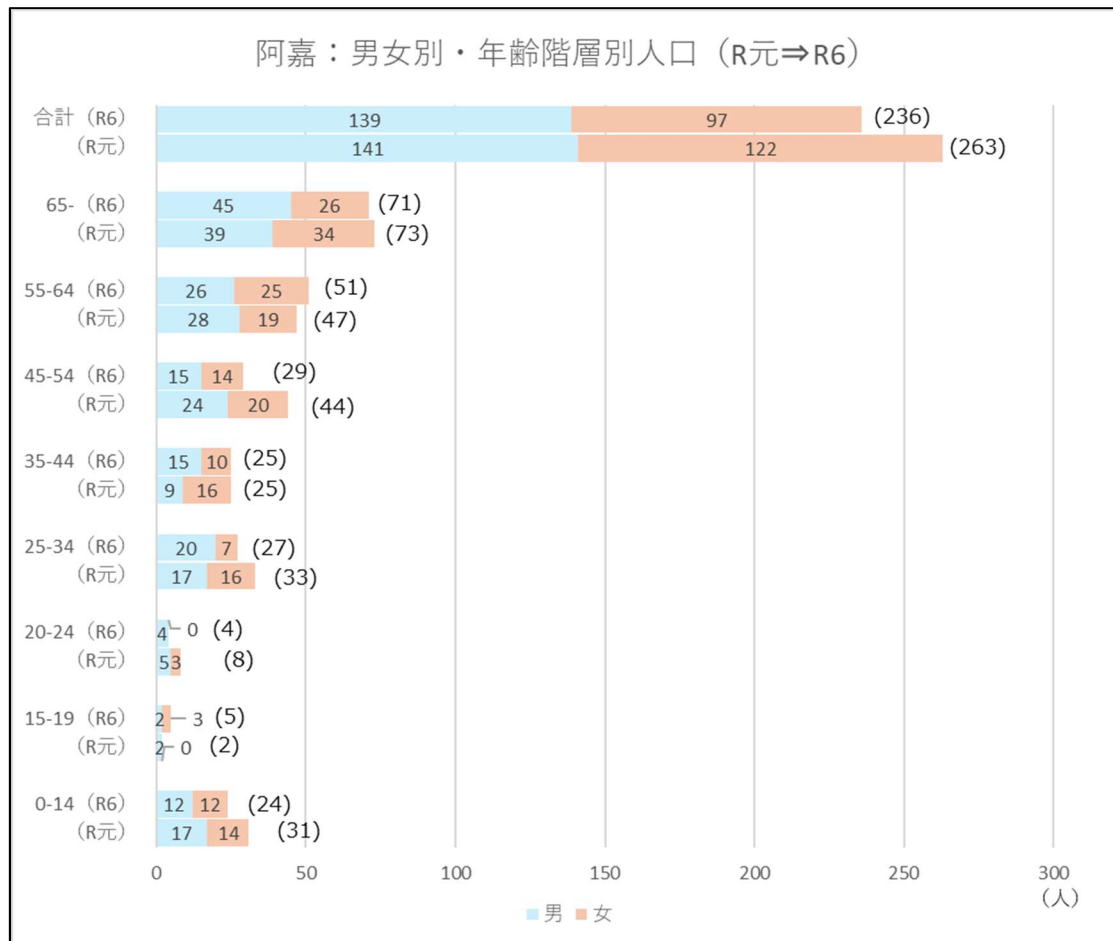
図 9：座間味島における男女別・年齢階層別人口（R 元→R6）



資料：住民基本台帳

阿嘉島の全体人口は、令和元年の 263 人と比較して、令和 6 年は 236 人に減少しています。また、男性人口（141 人→139 人）に比べ女性人口（122 人→97 人）が多く減少しています。年齢階層別でみると、65 歳以上の人口割合が高いことが分かります。

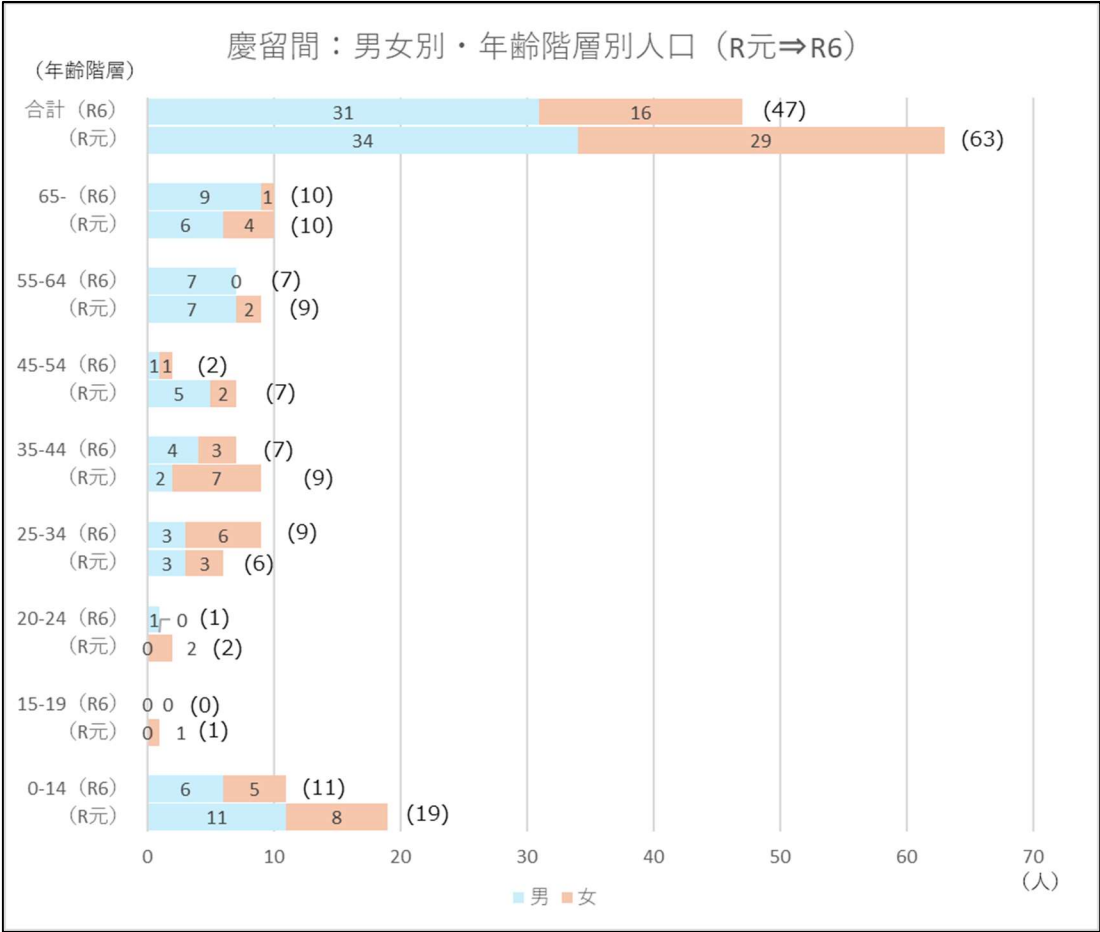
図 10：阿嘉島における男女別・年齢階層別人口（R 元→R6）



資料：住民基本台帳

慶留間島の全体人口は、令和元年の 63 人と比較して、令和 6 年は 47 人に減少しています。また、阿嘉島と同様、男性人口（34 人→31 人）に比べ女性人口（29 人→16 人）が多く減少しています。年齢階層別でみると、0-14 歳の年齢階層では、令和元年から令和 6 年にかけて 8 人減少しています。

図 11：慶留間島における男女別・年齢階層別人口（R 元→R6）



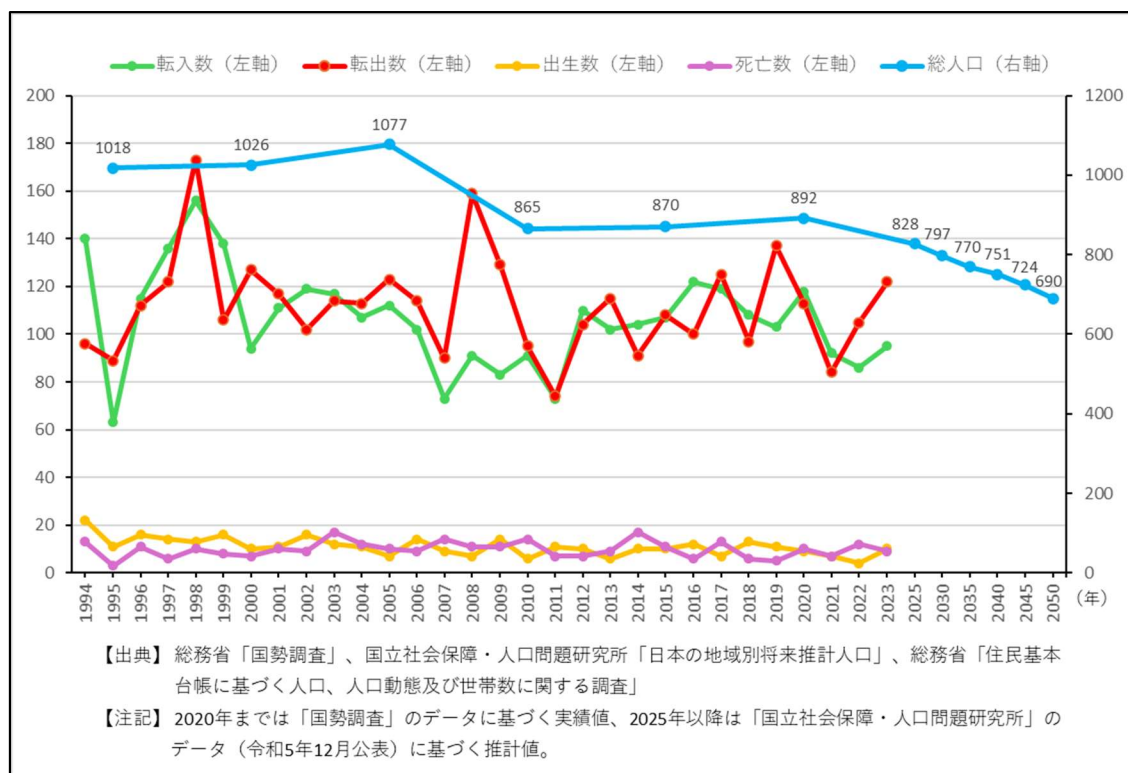
資料：住民基本台帳

(7) 出生数・死亡数/転入数・転出数

本村の総人口は緩やかに自然減となっています。また、「自然増減」に影響を与える「出生数・死亡数」をみると、どちらも増減を繰り返し、概ね 20 人以下で推移しています。

「社会増減」に影響を与える「転入数・転出数」をみると、2008 年、2009 年に大きく「転出数」が増えた年がありますが、概ね「転入超過」、「転出超過」を繰り返し、同程度の増減幅となっています。

図 12：出生数・死亡数、転入数・転出数

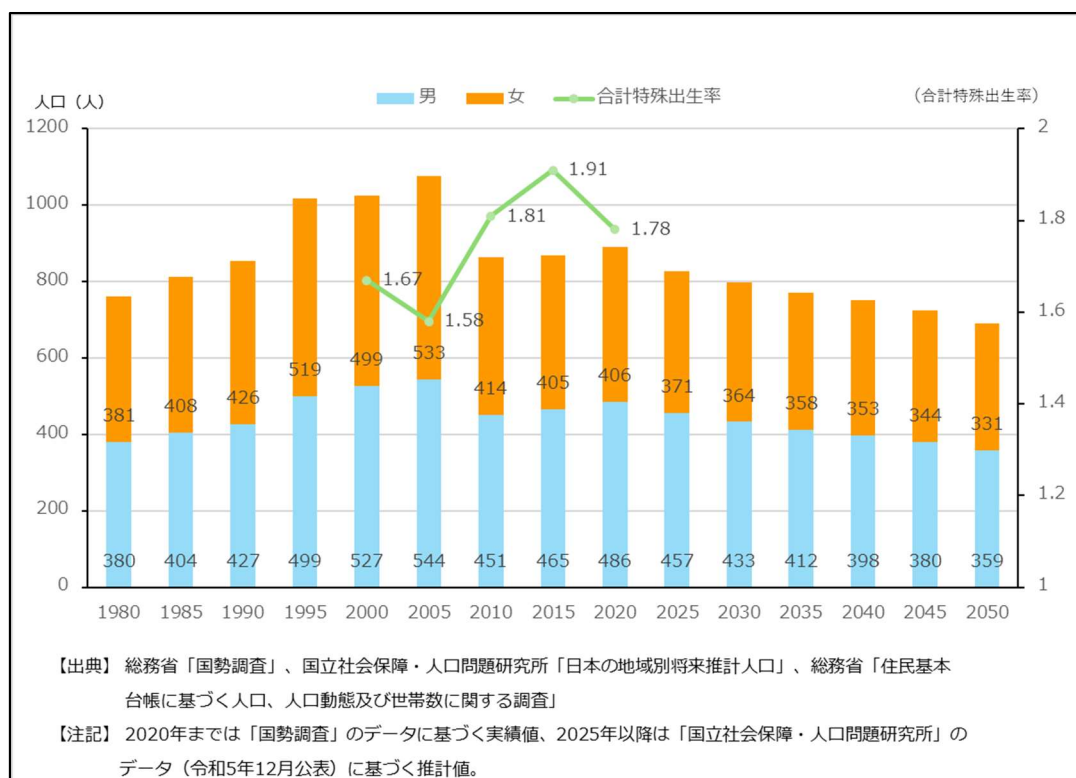


資料：地域経済分析システム（RESAS（リーサス））

(8) 男女別人口・合計特殊出生率の推移

本村の合計特殊出生率は、自然増減（出生数）に直結する指標であり、2005 年の 1.58 から 2015 年には 1.91 と増加しています。しかしながら、直近の 2020 年には 1.78 と減少しており、我が国の「合計特殊出生率」の「人口置換水準」の 2.07 を下回っています。

図 13：男女別人口・合計特殊出生率の推移



資料：地域経済分析システム（RESAS（リーサス））

【用語の説明】

※「合計特殊出生率」とはその年次の15歳～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子どもの数の平均に相当します。

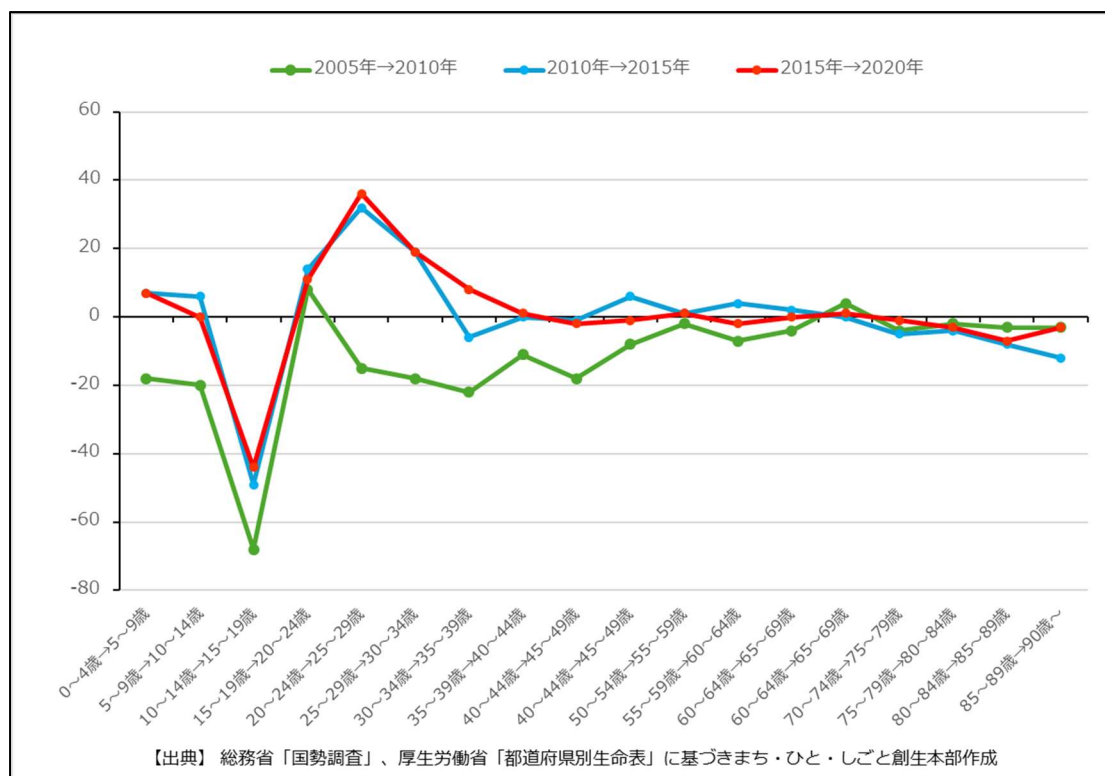
※人口置換水準とは、人口が増加も減少もしない均衡した状態となる合計特殊出生率のことをいいます。

(9) 年齢階級別純移動数の時系列推移

時系列ごとの「転入超過数」が最も多いのは、「2005年→2010年」にかけては「15～19歳→20～24歳」の8人、「2010年→2015年」にかけては「20～24歳→25～29歳」の32人、「2015年→2020年」にかけては「20～24歳→25～29歳」の36人となっています。

同じく、時系列ごとの「転出超過数」が最も多いのは「2005年→2010年」にかけては「10～14歳→15～19歳」の68人、「2010年→2015年」にかけては「10～14歳→15～19歳」の49人、「2015年→2020年」にかけては「10～14歳→15～19歳」の44人となっています。また、過去にリーマンショックの発生した「2005年→2010年」においては、特に生産年齢人口の減少が多くなっています。

図 14：年齢階級別移動数の時系列推移

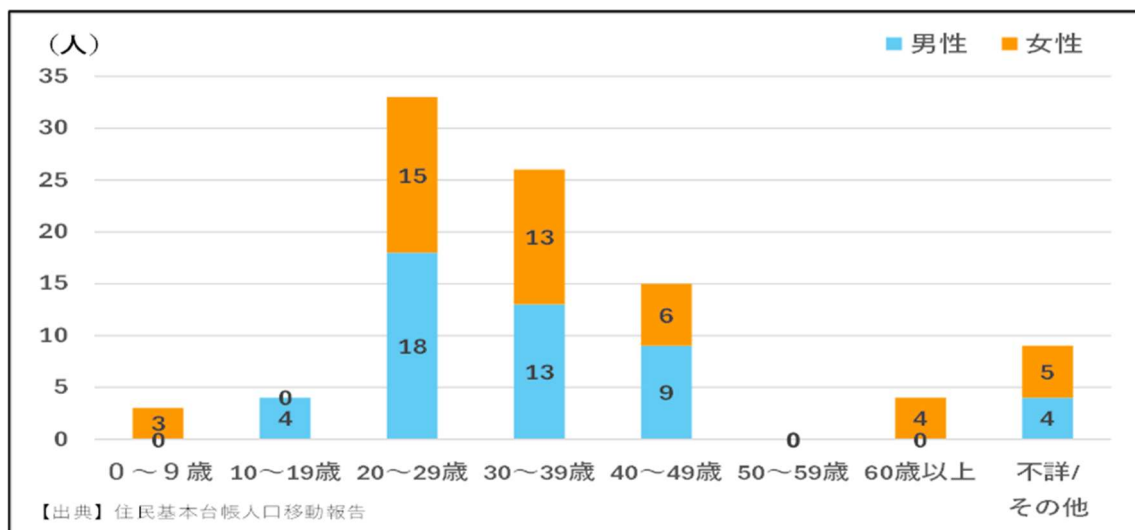


資料：地域経済分析システム（RESAS（リーサス））

(10) 年齢（10 歳階級別）の転入者数

本村の 2024 年の「転入者」は、「20～29 歳」が最も多く 33 人、次いで、「30～39 歳」26 人、「40～49 歳」15 人、「不詳/その他」9 人、「10～19 歳」4 人、「60 歳以上」4 人、「0～9 歳」3 人となっています。

図 15：年齢別の転入者数（2024 年）

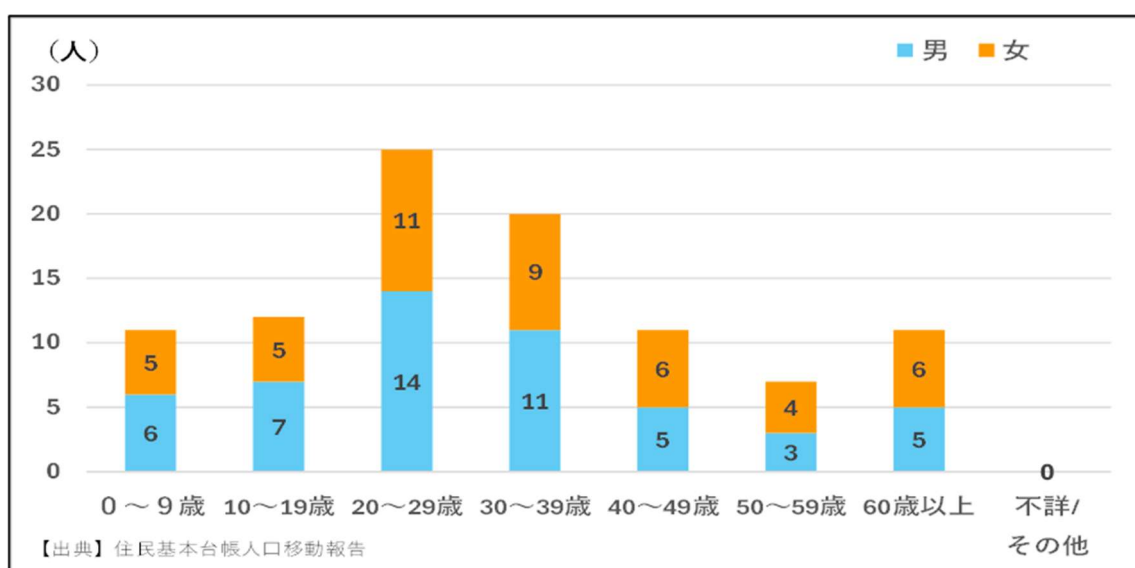


資料：政府統計の総合窓口（e-Stat）

(11) 年齢（10 歳階級別）の転出者数

本村の 2024 年の「転出者」は、「20～29 歳」が最も多く 25 人、次いで「30～39 歳」20 人、「10～19 歳」12 人、「0～9 歳」11 人、「40～49 歳」11 人、「50～59 歳」7 人となっています。

図 16：年齢別の転出者数（2024 年）

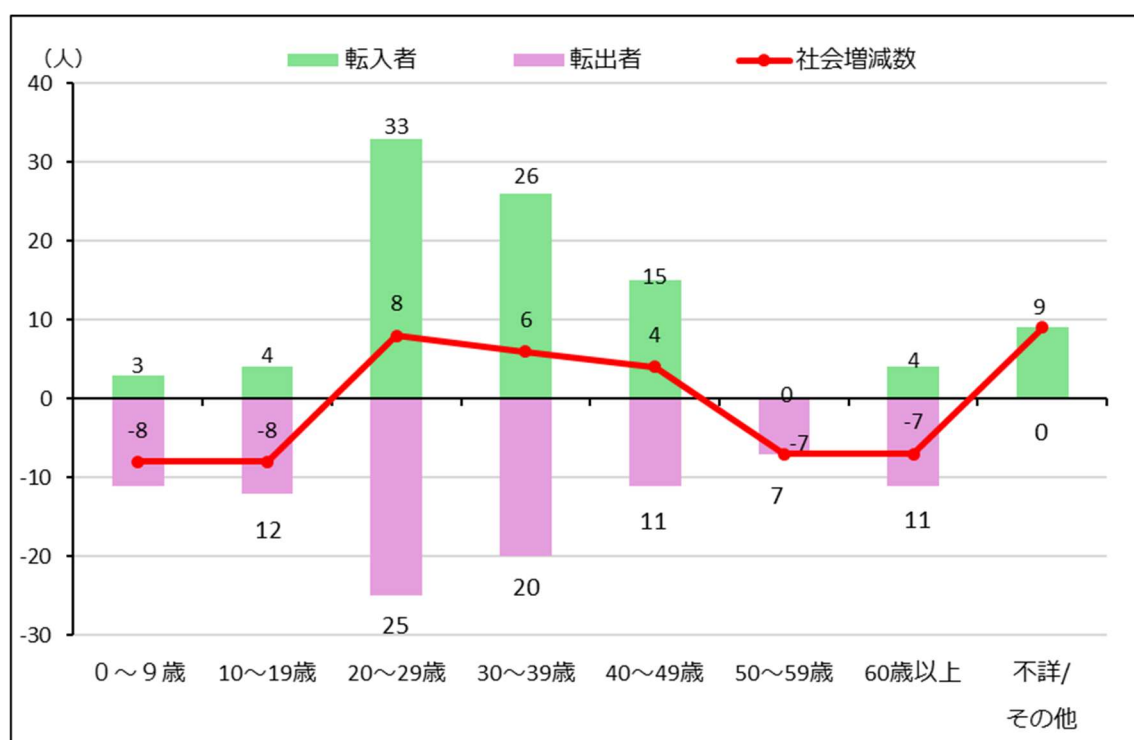


資料：政府統計の総合窓口（e-Stat）

(12) 転入・転出者数

本村の 2024 年の「転入・転出者数」は、年齢別で「20～29 歳」が最も多く「転入数」33 人、「転出数」25 人となっており、8 人の「転入超過」となっています。
全体では、「転入者数」94 人、「転出者数」は 97 人となっており、3 人の「転出超過」となっています。

図 17：住民台帳による転入出者数(2024 年)

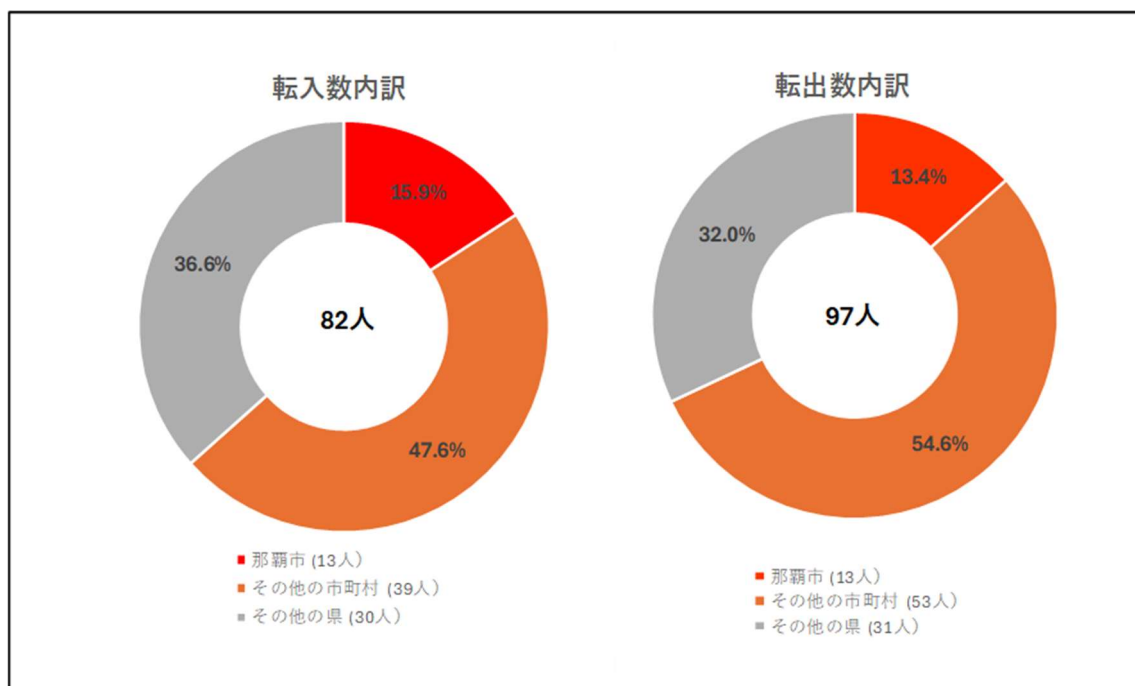


資料：住民基本台帳データより作成

(13) 転入数・転出数の地域

本村での「転入数・転出数」の最も多い地域はその他の市町村となっています。

図 18：転入者数・転出者数の地域別割合（2024 年）



資料：地域経済分析システム（RESAS（リーサス））

3. 第2期座間味村人口ビジョンの達成状況

(1) 人口ビジョンの達成状況

【第2期人口ビジョンの目標及び直近の実績】

2060年まで、総人口800人超の水準を維持することを目標として掲げ、2025年における住民基本台帳人口は856人と目標値+26人の実績となっています。

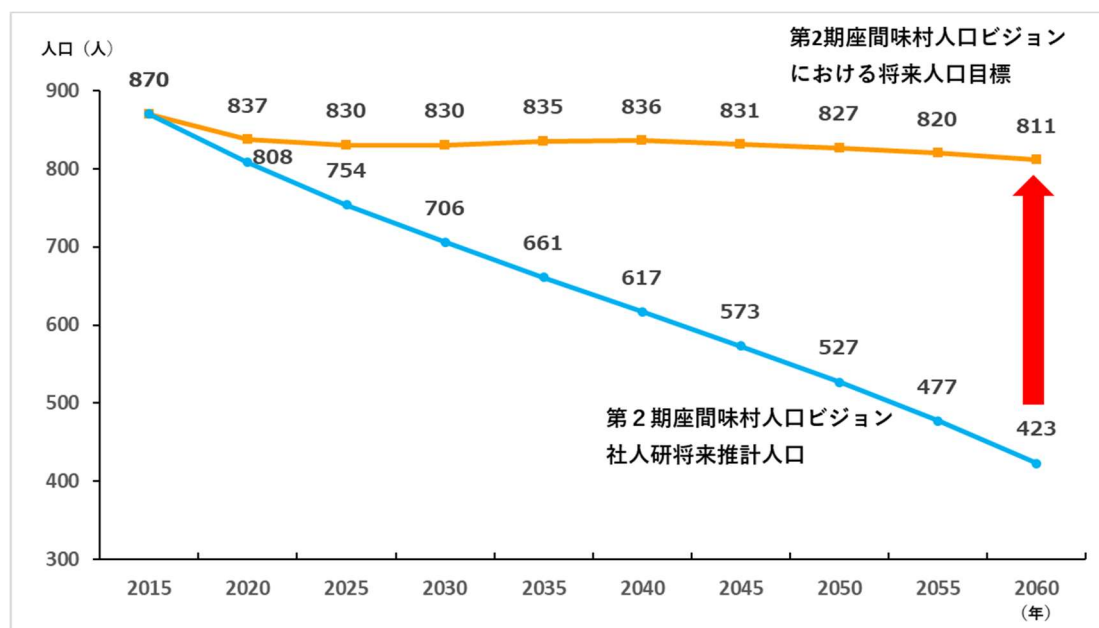
【2025年の実績値が住民基本台帳ベース】

（年齢構成）	基準値 （2015年実績）	目標値 （2060年）	2025年時点の 目標値	2025年時点の実績値 （2025年10月1日基準）
全体	870人	811人	830人	856人 （住民基本台帳人口）
年少人口	156人	104人	115人	119人
生産年齢人口	542人	460人	514人	534人
高齢人口	172人	247人	201人	203人

【2025年の実績値が国勢調査ベース】

人口構造 （年齢構成）	基準値 （2015年実績）	目標値 （2060年）	2025年時点の 目標値	2025年時点の実績値 （2025年）
全体	870人	811人	830人	未公表 （国勢調査報告用速報値）

資料：第2期座間味村人口ビジョン報告資料及び住民基本台帳より作成

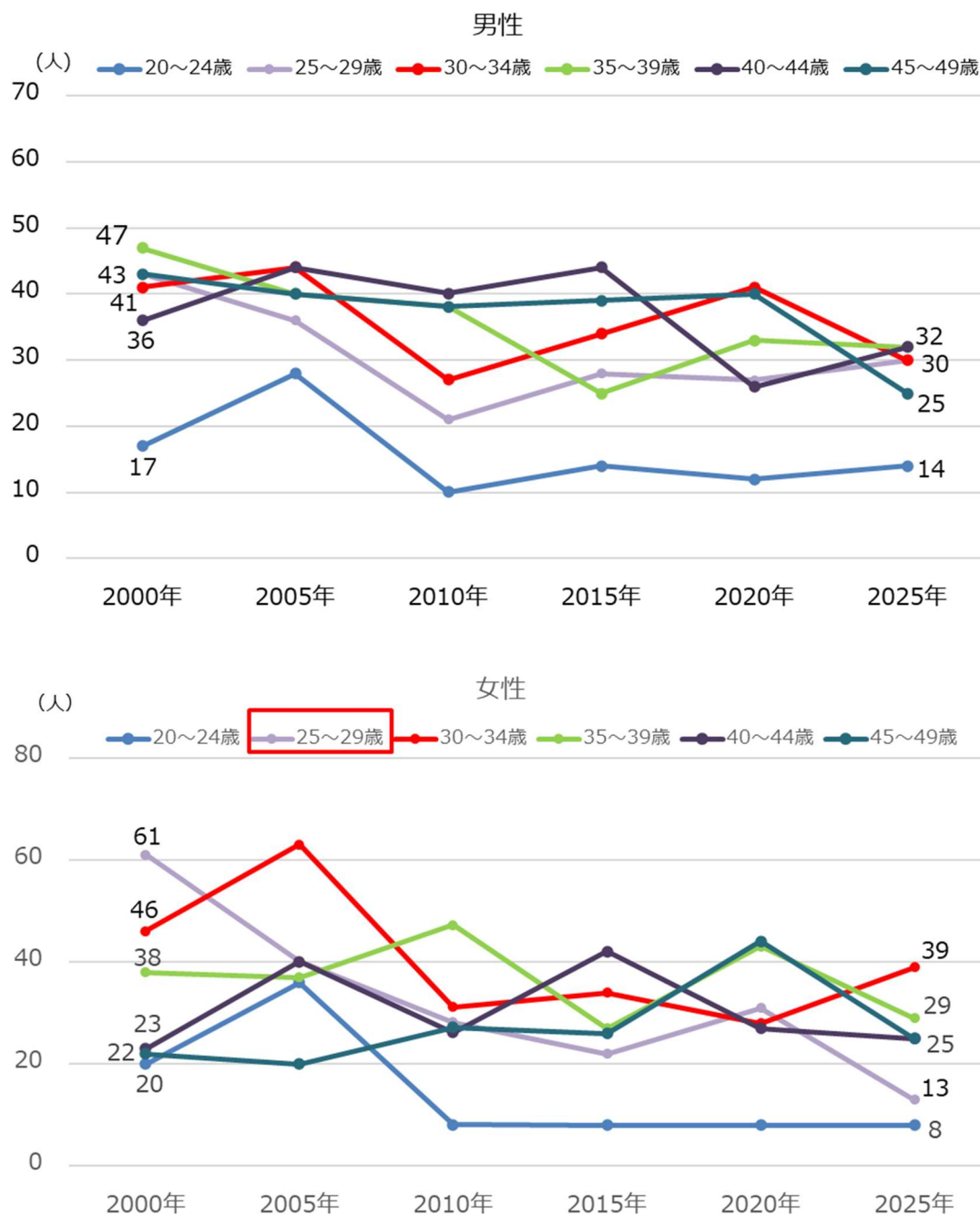


資料：第2期座間味村人口ビジョン報告資料より作成

(2) 若者、子育て世代の5階級別・男女別人口推移（参考）

子育て世代（20～49歳）の人口推移について男女別にみると、全体的に緩やかな人口減少が窺える。特に、女性の25～29歳階級の減少率が高い結果となっています（2000年→2025年：61人→13人）。

図 19：男女別子育て世代の人口推移（2000～2025年）



※資料：国立社会保障・人口問題研究所（2000～2020年）及び住民基本台帳（2025年）

4. 第3期座間味村人口ビジョン

(1) 第3期座間味村人口ビジョンの目標

本村の人口は、第2期座間味村人口ビジョンの目標としていた800人に対して、目標を上回る人口を維持しています（2025年10月時点 856人）。

人口ビジョンは長期的な人口目標であり、第3期においては、2050年までの間、総人口800人超の水準を維持することを目標に掲げます。

《本村の人口の将来展望》 2050年まで、総人口800人超の水準を維持する

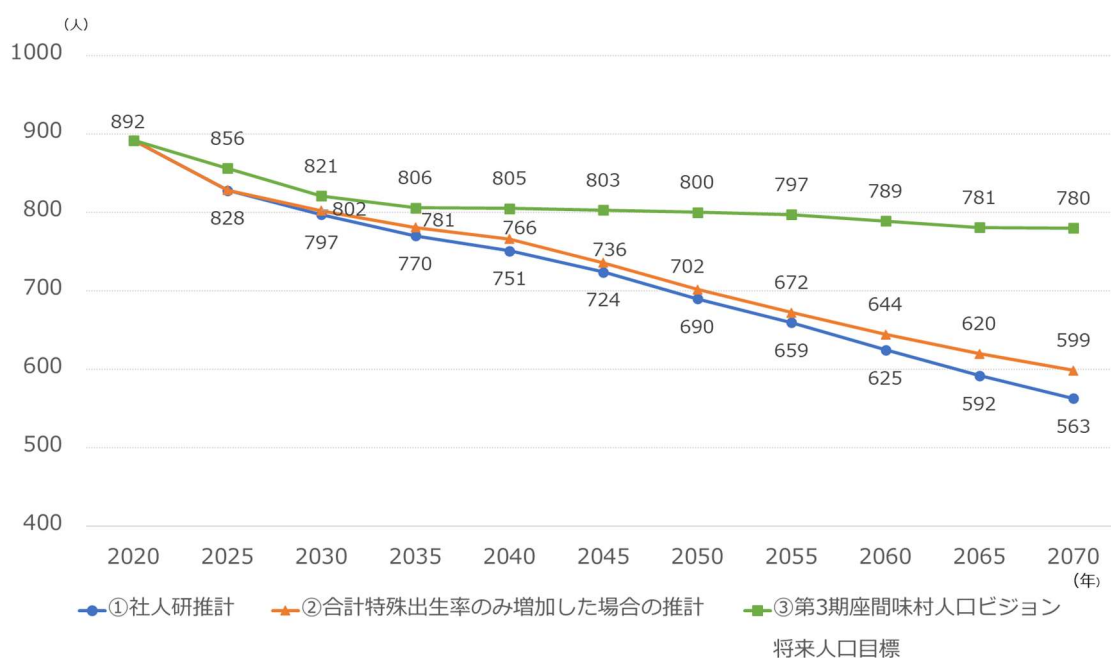
これからの座間味村の未来を担う若手・子育て世代を主なターゲットとして、座間味村の魅力を高めることで、関係人口の増大、U・Iターン移住者増加による社会増を実現する

子育て環境の整備、雇用の創出・安定化等を通じて、「Iターン・Uターン移住による社会増」を実現するとともに、安心して暮らせる定住環境を整備する

村民の子育て環境に関する不安を解消し、
出産・子育て・教育の希望をかなえることで、出生数の減少を抑制・回復させる

(2) 座間味村の将来人口推計

図 20：座間味村の将来人口推計



(人) \ (年)	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	2065	2070
①社人研推計	892	828	797	770	751	724	690	659	625	592	563
②合計特殊出生率のみ増加した場合の推計	892	828	802	781	766	736	702	672	644	620	599
③第3期座間味村人口ビジョン 将来人口目標	892	856	821	806	805	803	800	797	789	781	780

【出典】

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成

【注記】

①社人研推計

全国の移動率について、足元の傾向が続くと仮定した推計

②合計特殊出生率のみ増加した場合の推計

合計特殊出生率が人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準の 2.1）まで上昇した場合の推計

③第3期座間味村人口ビジョン将来人口目標

移住・定住促進の施策等の取り組みにより、若い世代の人口が増加した場合の推計（人口ビジョン目標達成に向けた将来人口推計）

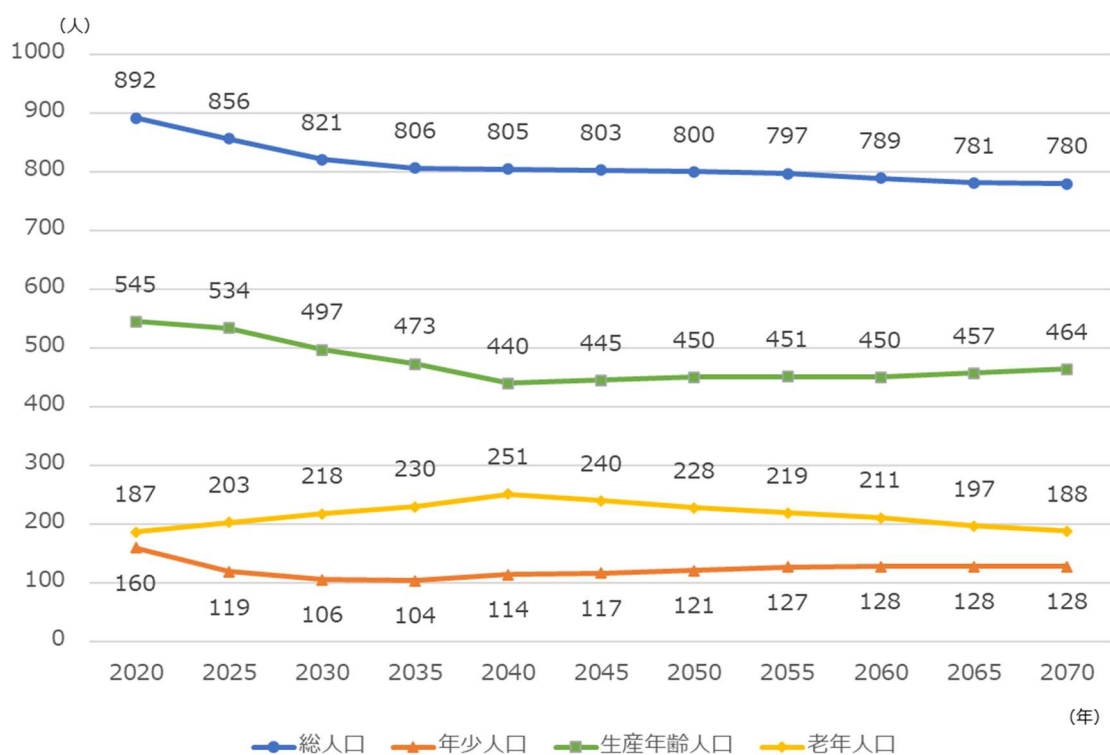
※③における 2025 年の人口は住民基本台帳（2025 年 10 月）実績値記載。2030 年以降は推計値。

(3) 将来人口維持のための年齢階層別の人口目標

2050 年まで、総人口 800 人超の水準を維持するための将来人口目標を設定しました。

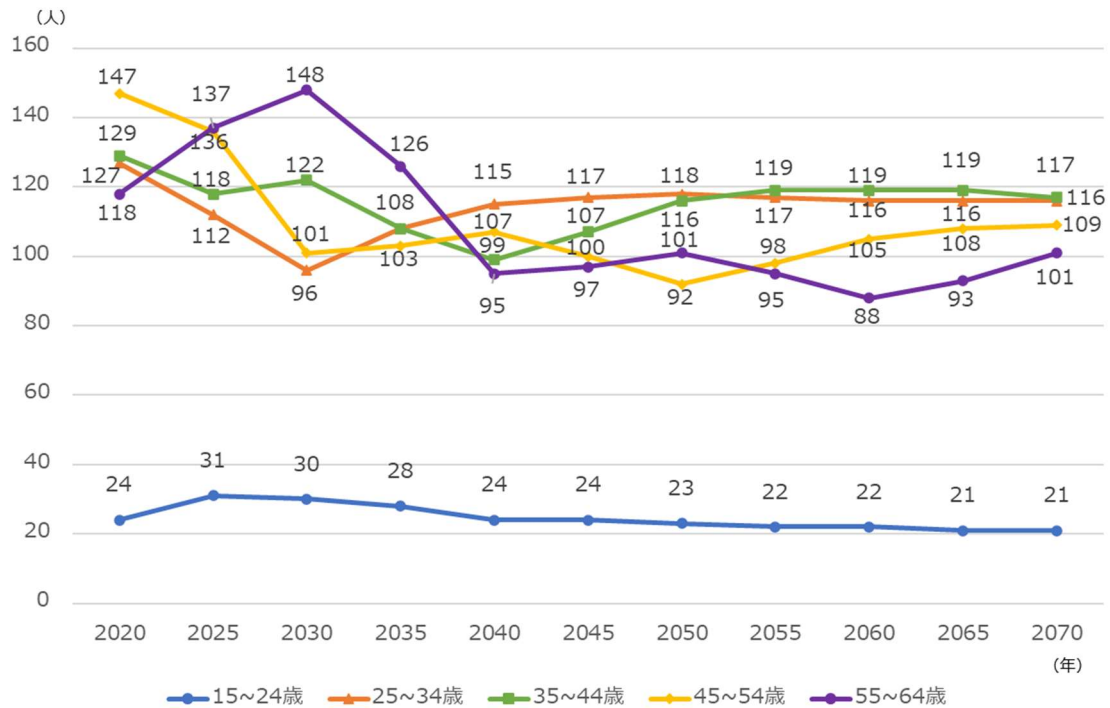
将来的に減少する生産年齢人口を維持するために、生産年齢人口の移住定住の促進と子育て支援を重点的に行います。

図 21：将来人口維持のための年齢階層別の人口目標



(人) \ (年)	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	2065	2070
総人口	892	856	821	806	805	803	800	797	789	781	780
年少人口	160	119	106	104	114	117	121	127	128	128	128
生産年齢人口	545	534	497	473	440	445	450	451	450	457	464
老年人口	187	203	218	230	251	240	228	219	211	197	188
合計特殊出生率	1.78	1.81	1.86	1.91	1.92	1.92	1.93	1.93	1.93	1.93	1.93

図 22：将来人口維持のための生産年齢人口の内訳



将来人口維持のための生産年齢人口の内訳

(人) \ (年)	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	2065	2070
15~24歳	24	31	30	28	24	24	23	22	22	21	21
★25~34歳	127	112	96	108	115	117	118	117	116	116	116
35~44歳	129	118	122	108	99	107	116	119	119	119	117
45~54歳	147	136	101	103	107	100	92	98	105	108	109
55~64歳	118	137	148	126	95	97	101	95	88	93	101
0~14歳(参考)	160	119	106	104	114	117	121	127	128	128	128

社人研推計（参考）

(人) \ (年)	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	2065	2070
15~24歳	24	19	26	23	20	19	18	17	17	17	17
★25~34歳	127	105	89	88	91	87	79	73	70	68	67
35~44歳	129	130	116	100	88	87	92	89	79	73	70
45~54歳	147	128	110	113	103	91	79	79	83	81	72
55~64歳	118	126	135	118	104	108	96	86	75	75	79
0~14歳(参考)	160	135	118	114	110	106	103	98	92	86	82

※25～34歳の層について、社人研推計では2050年に79人まで減少すると予測されていますが、本計画では2050年に118人の維持を目標としています。

第3期座間味村総合戦略

1. 総合戦略の概要

(1) 総合戦略策定の背景と趣旨

日本の「国の総合戦略」は、特に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」として知られ、地方創生を目的とした国家的な取り組みです。

人口減少と少子高齢化の進行、東京一極集中の是正、地域経済の停滞、出生率の低下を課題として掲げ、2060年に人口1億人程度を維持し、活力ある社会を実現することを目指しています。

(2) 国の総合戦略（地方創生2.0）

令和7年6月に閣議決定された地方創生2.0の基本構想は以下の通りとされています。これまでの総合戦略に、以下に示す新たな視点を取り入れた内容となっています

① 基本構想（目指す姿）

- 「強い」経済：自立的で持続可能な「稼げる」地方経済の創出
- 「豊かな」生活環境：安心して暮らし続けられる地域づくり
- 「新しい・楽しい日本」：多様性と好循環が生まれる魅力的な地方社会

② 政策5原則

- 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生
 - ・若者や女性が安心して働ける地域づくり
 - ・地域コミュニティの維持、災害対策の強化
- 稼ぐ力を高める「地方イノベーション創生構想」
 - ・地域資源（食、文化、自然など）を活かした高付加価値化
 - ・地域産品の海外展開、異分野連携による新結合の推進
- 人や企業の地方分散
 - ・政府機関の地方移転
 - ・関係人口の創出と都市・地方の人材交流
- 新時代のインフラ整備とAI・デジタル技術の活用
 - ・GX（グリーントランスフォーメーション）・DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
 - ・ドローン配送などによる社会課題の解決
- 広域リージョン連携
 - ・地域間の連携強化による面的な施策展開
 - ・好事例の普遍化と全国展開

③ 特徴的な視点・姿勢

- 人口減少を前提とした対応：人口減少を受け止めた上での施策展開
- 若者・女性に選ばれる地域づくり：アンコンシャス・バイアスの解消、魅力ある職場づくり
- AI・デジタルの徹底活用：地域課題の解決に向けた技術導入
- 都市と地方の好循環：人・モノ・技術の交流による新たな結びつき

④ 地方創生 2.0 における主な変更点

- 人口減少への姿勢の変化
 - ・「人口減少を前提に、持続可能な地域構造を再設計」する方向へ。
- 技術の進化と社会実装
 - ・AI・デジタル・GX（グリーントランスフォーメーション）など、より先進的な技術の導入が重視されています。
- 地域経済の自立性強化
 - ・「地方イノベーション創生構想」により、地域が自ら稼ぐ力を持つことが中心的なテーマに。
- 広域連携と好事例の普遍化
 - ・地域間の連携を強化し、成功事例を全国に展開する「面的施策」が導入されています。

【参考】国の第2期総合戦略における基本目標

- 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする
 - ・地域産業の振興、雇用の創出、働き方改革などを通じて、地域経済の自立を促進。
- 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
 - ・移住・定住支援、関係人口の創出、テレワークの推進などにより、都市から地方への人の流れを促進。
- 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 - ・子育て支援、教育環境の整備、若者支援などを通じて、ライフステージに応じた支援を強化。
- ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
 - ・地域コミュニティの活性化、医療・福祉の充実、住環境の整備などにより、暮らしやすい地域づくりを推進。

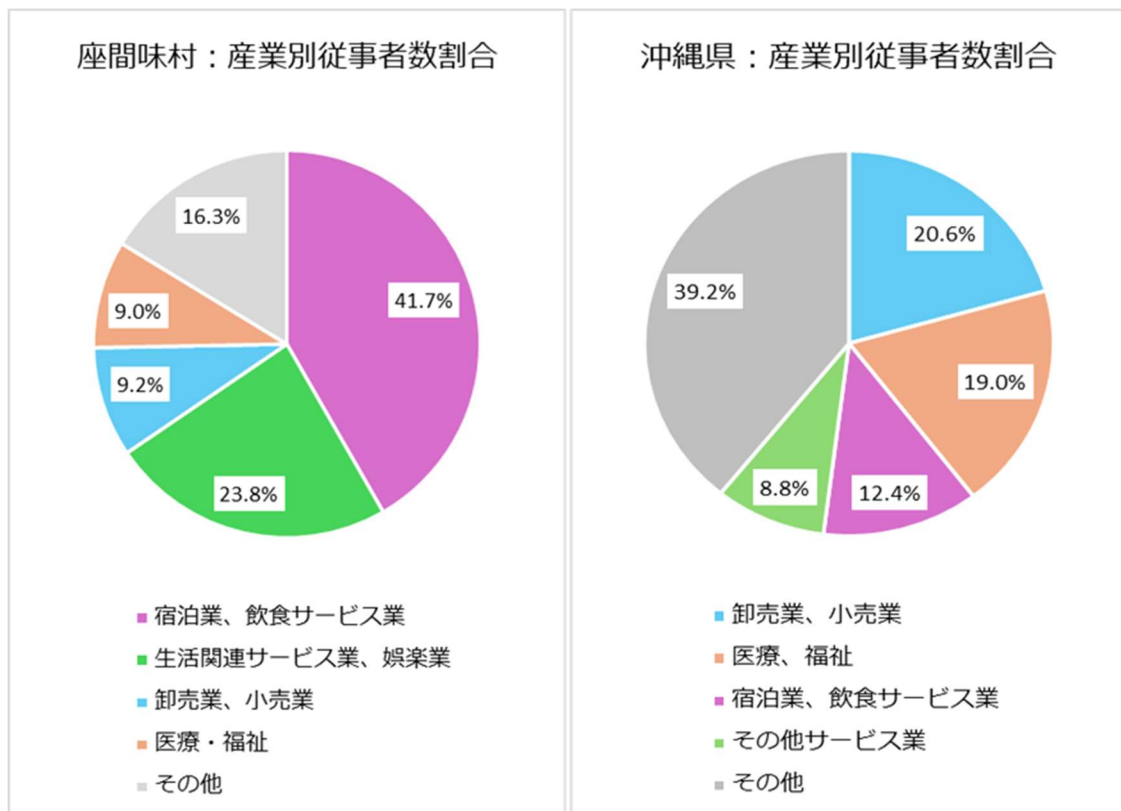
2. 第2期座間味村総合戦略の振り返り

(1) 座間味村の産業構造

座間味村の産業別従事者数の割合は、第三次産業が大半を占めており、宿泊・飲食サービス業、生活関連サービス業・娯楽業、卸売・小売業で74.7%となっており、就業者の7割超が第三次産業に従事しており、その中でも特に観光関連事業の従事者が多くなっています。

沖縄県における宿泊・飲食サービス業の従事者割合は12.4%となっていることから、産業構造に特徴があり、観光関連事業における村経済への影響は高いことがうかがえます。

図 23：座間味村及び沖縄県の産業別従事者数の割合

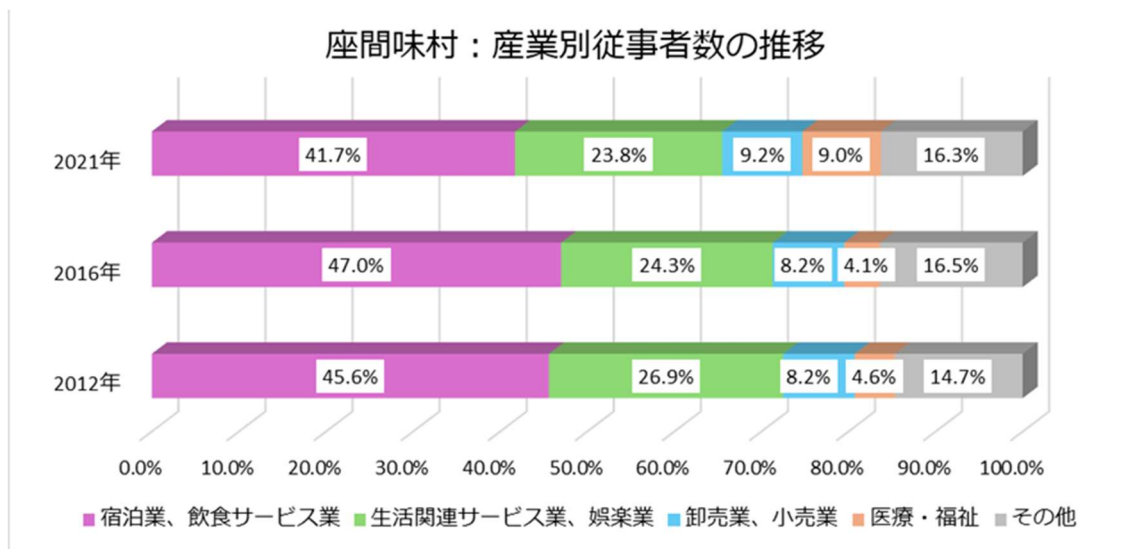


資料：地域経済分析システム（RESAS（リーサス））データより作成

(2) 座間味村の産業構造の推移

産業別従事者数の推移について、観光客数の増加に伴い、関連する事業の従事者割合は増加しているが、新型コロナ発生後の2021年においては、宿泊・飲食サービス業の従事者割合が大きく低下している結果となっています。

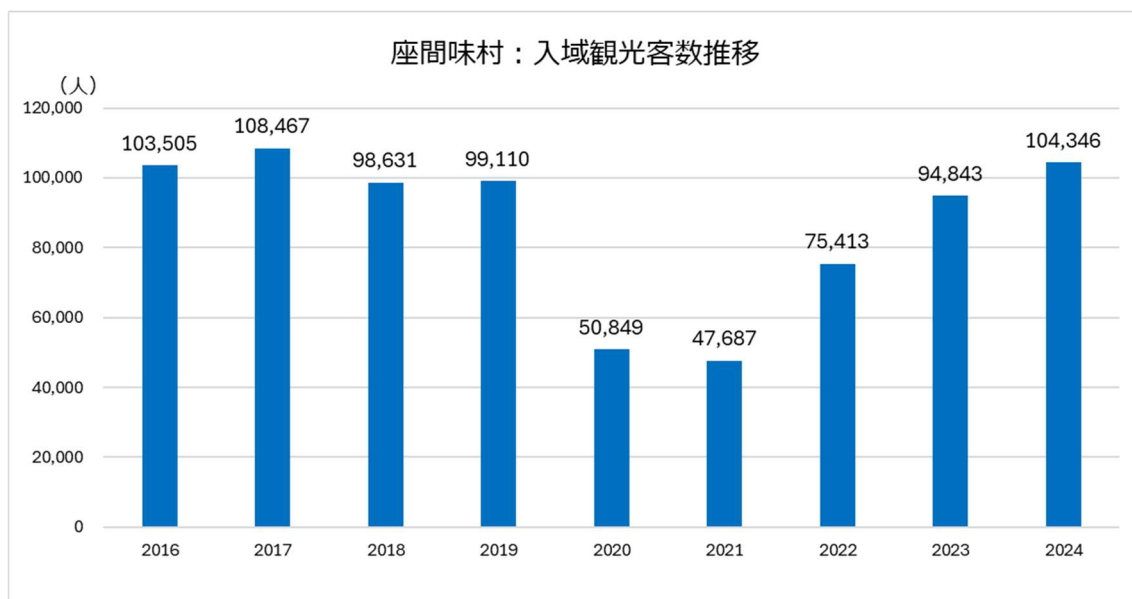
図 24：座間味村産業別従事者数の推移



資料：地域経済分析システム（RESAS（リーサス））データより作成

(3) 座間味村観光客数推移（参考）

図 25：座間味村入域観光客数推移



資料：座間味村公開データより作成

(4) 第2期総合戦略における施策内容一覧

村の基本目標		村の基本的方向	施策体系（13の施策）	
ざ	「座間味村ならではの」個性を活かした取組みで地域の活力を増大	○座間味村に関わりのある方との関係性を強化し、関係人口の増大を図る。 ○座間味村の個性や文化を理解・尊重する移住者を増加・定住させるため、座間味村特有の取組みや魅力を発信するとともに、受け入れ態勢を強化する。 ○多世代交流を通じて、村民の結束力を高め、定住を促進する。	1	留学制度支援や「座間味村アイランダーズネットワーク」などを通じた村の魅力発信
			2	座間味村へ移住する人の医療や住居などの「くらし」の支援
			3	ICTの整備、利活用などを通じた新たな働き方の実現
			4	ふるさと納税や企業版ふるさと納税制度の活用による資金調達の強化
			5	元気なシニア世代が活用できる仕組み・場の創出
			6	世代を超えた村民交流による、村民のつながり強化
ま	「また訪れたい」「ここで頑張りたい」と思える村づくりを進め、賑わいを将来に渡って続けていく	○主要産業である観光を公民一体となって強化するとともに、自然・文化を活かして「新たな価値」を提供することで、通年の観光需要と雇用の創出・安定化を図る。 ○地域産業の販路拡大等を支援するとともに、若い世代への承継・人材育成を通じて産業を活性化させる。	7	観光振興に向けた受入体制の強化
			8	通年での観光需要の拡大に向けた、座間味村観光の「新たな価値」の創造
			9	地域に根ざす産業の維持・活性化
			10	若い世代への承継・人材育成
み	みんなで子育てを支え、若い世代の出産・子育ての希望をかなえる	○子育て環境をむら一体で整備する	11	島の子育て環境の整備
			12	外部連携による活性化
			13	ICTを活用した先進的な学校教育の推進

資料：第2期座間味村人口ビジョン・総合戦略報告資料より作成

(5) 第2期総合戦略における施策毎の評価結果一覧

施策	基本目標の数値目標★及び 主要なKPI目標達成状況		目標値	実績値	最終見込	最終年度 目標達成の見込み
		単位	R7	R3~R6	R7	
I★	生産年齢人口32人の社会増(年6.4人)	人	計32人	22	3	③目標未達成見込み
I-1	U・Iターン促進ツール作成（WEBサイト）	件	1件	0	0	③目標未達成見込み
I-2	官民連携による新たな住宅整備	棟	1棟	0	1	①R6以前に既に目標値達成
I-3	コワーキング整備件数	件	1件	0	0	③目標未達成見込み
I-4	企業版ふるさと納税の件数	件	5件	9件	13件	①R6以前に既に目標値達成
II-1	人材登録数	人	30人	0	0	③目標未達成見込み
II-2	コミュニケーションスペース整備数	件	1件	0	0	③目標未達成見込み
III★	宿泊率60%以上	%	60.0%	54.8%	作成中	③目標未達成見込み
III-1	座間村版DMOの実質的な運営開始		事業開始	事業開始	事業開始	①R6以前に既に目標値達成
III-2	法人誘客事業による誘致企業数（年間）	棟	ツアー30件	0	0	③目標未達成見込み
IV-1	地域経済循環率	%	50.0%	-	数値無し	④判断不可
IV-2	キャリア教育等のプログラムの実施	件	5件	9件	9件	①R6以前に既に目標値達成
V★	生産年齢人口比率	%	60.0%	58.6%	62.5%	②現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）
V-1	阿嘉島でのファミリーサポートセンター実施	-	実施	0	0	③目標未達成見込み
V-2	県内外大学生との連携	-	実施	0	0	③目標未達成見込み
V-3	子供の居場所づくりにおけるWi-Fi利用環境整備	-	整備実施	0	整備実施	②現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）

※施策の★は基本目標における数値目標

資料：計画振返りシートより作成

(6) 第2期総合戦略における KPI 目標達成状況

主要数値目標及び KPI の達成状況については、達成及び達成見込みは全体の 37.5%となり、未達成・判断不可が 62.5%と、約 6 割が未達となりました。

図 26：数値目標及び KPI 目標達成状況一覧

指数の目標達成状況	ざ							ま					み			
	施策Ⅰ				施策Ⅱ			施策Ⅲ		施策Ⅳ			施策Ⅴ			
	基本	I-1	I-2	I-3	I-4	Ⅱ-1	Ⅱ-2	基本	Ⅲ-1	Ⅲ-2	Ⅳ-1	Ⅳ-2	基本	V-1	V-2	V-3
①R6以前に既に目標値達成済み			◎		◎				◎			◎				
②現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）													○			○
③目標未達成見込み	●	●		●		●	●	●		●				●	●	
④判断不可											●					

資料：計画振り返りシートより作成

図 27：主要数値目標及び KPI 目標達成状況集計表

指標の目標達成状況	項目数	比率
①R6以前に既に目標値達成済み	4	25.0%
②現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	2	12.5%
③目標未達成見込み	9	56.3%
④判断不可	1	6.3%
計	16	100.0%

資料：計画振り返りシートより作成

(7) 第2期総合戦略における事業実施取組状況

事業実施取組状況については、「計画通りに取り組み、特に実績が上がった・概ね計画通り取り組んだ」が全体の57.1%を占める結果となりました。一方で、「一部未達成・ほとんど取り組めていない」の回答も全体の42.9%と約4割が十分な取組が出来ていない結果となりました。計画通り取り組みが出来た事業については、村民交流や村外との交流・子育て支援や医療費などの支援の項目が多く、一方で、十分な取組ができていない項目における理由については、事業実施の目的があいまいであったことや、認識が低かったことなどが挙げられ、事業者への支援などが十分にできていない結果が挙げられました。

図 28：事業実施項目の取組状況別の達成状況

取組状況評価 (事業数)	ざ						ま				み		
	施策Ⅰ				施策Ⅱ		施策Ⅲ		施策Ⅳ		施策Ⅴ		
	Ⅰ-1	Ⅰ-2	Ⅰ-3	Ⅰ-4	Ⅱ-1	Ⅱ-2	Ⅲ-1	Ⅲ-2	Ⅳ-1	Ⅳ-2	Ⅴ-1	Ⅴ-2	Ⅴ-3
	3	2	1	2	3	2	4	4	4	5	9	2	1
①計画通りに取り組み、特に実績が上がっている	33%						25%			60%	33%		
②概ね計画通り取り組んだ	33%	50%		100%	33%	50%	75%	50%			56%		100%
③一部未達成の取組がある					33%	50%		25%	25%	40%	11%	50%	
④ほとんど取り組めていない	33%	50%	100%		33%			25%	75%			50%	
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

資料：計画振り返りシートより作成

図 29：事業実施項目の取組状況別の達成状況集計表

取組状況	項目数	比率
①計画通りに取り組み、特に実績が上がっている	8	19.0%
②概ね計画通り取り組んだ	16	38.1%
③一部未達成の取組がある	9	21.4%
④ほとんど取り組めていない	9	21.4%
計	42	100.0%

※項目数については、計画資料では39となっているが、座間味と阿嘉・慶留間それぞれの評価をおこなったため、42としている。

資料：計画振り返りシートより作成

【参考】計画通りに取り組み、特に実績が上がった項目（8項目）

施策	取組項目	説明
総合戦略Ⅰ-1	○村・島の魅力発信事業 島外でのプロモーション活動	【島外でのプロモーション活動】 ①令和6年度より那覇市内にあるホテルの1階ロビーにて座間味村のパネル展を行い外国人の入域客数が増加した。ホテル側より、特に外国人の見学が多いことの報告を受けている。 また、令和4年度に作成したプロモーション映像（泊郎三兄弟）を活用し県外の大型ショッピングモール（イオン）、駅、空港等でプロモーション活動を行った。ただし、閲覧数の集計などの管理は行っていない。
総合戦略Ⅲ-1	○座間味村版DMOの機能強化 「座間味村版DMO」を中心とし、地域一体で村の交流人口拡大を図ります。 DMOを核として、観光振興が図れるよう、観光戦略策定などを村及び観光協会、環境省の3者で連携して進めています。	令和3年に環境省連携のもと観光案内所である、「青のゆる館」を設立。観光協会が運営を行っている。館内では座間味村の歴史や観光を案内し、利用者は増加している。 DMOとして機能している座間味村観光協会を中心にイベントを実施している。
総合戦略Ⅳ-2	○外国人指導助手（ALT）配置事業 各学校にALTを配置し、外国語教育の充実を図っていきます	実施している。主に英語科目を1名で3島全て対応している。
総合戦略Ⅳ-2	○婦恋村交流事業 群馬県婦恋村との中学生間交流を通じて、多様な社会に順応し、主体的に行動できる人材育成を図っていきます	長年実施しており、人材育成の一環となっている。
総合戦略Ⅳ-2	○地域国際交流事業 村内中学生の海外ホームステイを実施することで、村の将来を担うグローバル人材の育成を図ります	継続して実施している。主にカリフォルニアへ1カ月程度のホームステイを実施しており、年間3名程を継続的に実施できている。費用の8割を村が負担。
総合戦略Ⅴ-1	○保育事業の充実「座間味」 「預かり保育事業」の充実を図り、子育てしやすい環境づくりを推進します。 阿嘉島において、ファミリーサポートセンターの充実を図るため、子育て支援員の育成・確保を行い、地域による育児格差の解消に努めます。	座間味島 【預かり保育】座間味島での預かり保育事業は、事業運営を行うことができています。しかしながら夏季シーズンに職員確保が難航し、希望数に対して十分に対応出来ていない状況も発生している。 【ファミサポ】座間味島でのファミリーサポートセンターは事業運営を行うことができています。また、社会福祉協議会が主体となり、子ども居場所づくりとして、R7年度より無料開放スペースを設置している。
総合戦略Ⅴ-1	○離島高校生支援事業 村の中学校を卒業し、高校に進学した生徒を対象に、家賃補助（24万円/年）及び里帰りのための船舶運賃を補助します（4回/年）	早い段階で周知を行っており、十分に利用されている。
総合戦略Ⅴ-1	○スポーツ大会派遣事業 子育て世代の家計を支援するため、スポーツ大会などへの小中学生派遣交通費を助成します。	上位大会への出場を果たしており、意欲的に取り組んでいる。

【参考】概ね計画通り取り組んだ項目（16項目）

施策	取組項目	説明
総合戦略Ⅰ-2	○U・Iターン向け住宅取得支援事業 PFIなどの官民連携や、住宅環境の整備、住宅取得に対する支援を行います	座間味島で令和5年度民間企業との連携により官民連携住宅を整備した。
総合戦略Ⅰ-4	○ふるさと納税の返礼品開拓 村内事業者等と連携し、返礼品の開拓を行います	令和7年度より中間事業者を選定し、ふるさと納税の返礼品開拓を始動した。
総合戦略Ⅰ-4	○企業版ふるさと納税の強化 座間味村むらづくりに共感し、ふるさと納税で応援してくれる企業を募集します	令和4年度に地域再生計画が承認され、企業版ふるさと納税の受入れ態勢を整えた。その後、民間企業との包括連携協定等を通じて企業版ふるさと納税が増加した。
総合戦略Ⅱ-1	○高齢者福祉の充実 村内で希望をもって安心・安全に老後を過ごせる環境づくりの一つとして、後見人制度の充実を図ります	令和6年度より、座間味村成年後見制度利用支援事業実施要項を制定し、成年後見人制度利用事業を開始。対象者1名が後見人制度を利用し現在も利用している。現在は村外の後見人が対応。
総合戦略Ⅱ-2	○三島村民交流事業 座間味村、阿嘉島、慶留間島の三島から村民が集まる大運動会などのスポーツ大会を継続して開催します	村民大運動会はコロナ禍による自粛や天候不良による中止以外は計画通り実施。なお、その他、社協主体による高齢者同士の三島交流の場としてグランドゴルフ大会や村外旅行、母の日ドライブが行われており、住民課にてサポートが行われている。
総合戦略Ⅲ-1	○受入環境の整備・拡充事業 観光客のカスタマーエクスペリエンス向上を図るため、受入環境の整備・拡充を行います。 具体例）受入環境や観光施策全体の継続的改善、観光客のニーズ・動向等の定期調査の実施、周遊性や安全確保に向けた案内看板の設置など	QRチケットの導入により、非対面でかつ手軽にチケット購入が可能となり、入域者数増加に寄与した。 内航路の大型化をおこなった（20名→30名）
総合戦略Ⅲ-1	○新型コロナウイルス対策支援事業 withコロナ、afterコロナ時代に向け、観光の振興を早めるために村独自の復興支援策を行ってまいります	令和4年、令和5年において村内事業者にてコロナ交付金関連の補助金を交付した。
総合戦略Ⅲ-1	○世界的な新型コロナウイルスの状況に合わせた誘客事業の展開 沖縄県、観光関連団体との連携や情報交換を行い、県内客や国内客をターゲットとした誘客や、海外向けの誘客事業を行ってまいります。	コロナ感染症拡大に伴う非対面プロモーション強化の為、座間味村観光PR動画を令和4年度に作成し、国内外へ事業展開を行った。また、本島内ホテルと連携しパネル展を実施した
総合戦略Ⅲ-1	○サンゴ保全・海浜環境保全事業 サンゴ保全にかかる取組みを発展させ、見学・保全作業体験等をコンセプトにしたプログラムの開発・プロモーションを環境省やダイビング協会、観光協会等と連携して行います	観光客向けではないが阿嘉島の小学生がサンゴの産卵の見学等を行った。 また、海浜環境保全では座間味村観光協会が民間企業と共同でビーチクリーンを行っている。
総合戦略Ⅲ-2	○世界的なトップアスリートを育てるスポーツキャンプ誘致事業 マリンスポーツをターゲットとしたナショナルチームや社会人・学生スポーツ団体のキャンプ誘致に向けたプロモーション・受入体制整備等を行います	冬季にセーリング日本代表の強化合宿の受入を行っている。

前ページ続き

総合 戦略 V-1	<p>○妊婦検診女性事業 沖縄本島での妊婦検診受診時の渡航費や宿泊費を14回まで公費負担する事業を継続します</p>	<p>原則、検診に係る渡航費（最短）を支給している。</p>
総合 戦略 V-1	<p>○出産祝い金事業 村内の新生児に対して、出産助成金10万円を支援する事業を継続します</p>	<p>国の施策である妊婦の為の支援給付も実施され、出産前の応援給付金として出産前後ともに5万円ずつ給付している。過去に三人目以降出産に対し祝い金拡充なども検討したが、実施に至らなかった。</p>
総合 戦略 V-1	<p>○幼稚園入園料・保育料助成事業 入園料・保育料を無償化し、子育て世代の負担軽減を図ります</p>	<p>入園料・保育料を無償化実施している。加えて預かり保育の保育料についても無償化を実施している。</p>
総合 戦略 V-1	<p>○通院等支援事業 村内の2診療所では受けられない専門医療(不妊、がん、難病治療など)や、発達支援センター等の療育サービスを沖縄本島で受診する村民の経済的な負担を軽減するため、船舶運賃・宿泊費を補助します。</p>	<p>原則、検診に係る渡航費（最短）を支給している。</p>
総合 戦略 V-1	<p>○沖縄県と連携した未来技術を活用した医療環境整備の検討 村内の医療環境を充実させるため、医療分野における未来技術を活用したオンライン診療（遠隔診療）の導入について検討します。</p>	<p>R7年度7月に子ども家庭庁「利用者支援事業（妊婦等包括相談支援事業型）」補助金を活用し、座間味村 小児科・産婦人科ワイド相談事業を開始。チラシ、新聞等で広報周知した。県内では4番目の活用開始とタイムリーに対応できた。現状は主に妊産婦が利用している。</p>
総合 戦略 V-3	<p>○国と連携したGIGAスクール構想の実現 子供たちの学習環境に対応するため、国及び県と連携したGIGAスクール構想の実現を図ります。小学校ではモバイルデバイス端末の設置完了しており、今後は家庭学習での活用や、こどもの居場所づくりの中で、利用環境の整備を行ってまいります。</p>	<p>G I G Aスクールを行っており、子供へのタブレット配賦は完了している。</p>

【参考】一部未達成の取組がある項目（9項目）

施策	取組項目	説明
総合戦略Ⅰ-1	○慶留間島留学制度支援事業 慶留間島留学制度の運営安定化や発展に向けた取り組みを行います	事業実施時より、村への支援要請（事業者が支援を必要としない状況）はなく、村からの提案についても見送りとされている。直近の留学利用者は5名。今後について取り組みが必要なのか確認を行う必要がある。
総合戦略Ⅱ-1	○シニア世代活躍推進事業 村の各施策や事業、観光ガイド、地域・学校の活動等において活躍していただける仕組みづくりを進めます	【シニア世代の活躍】年に一度母子事業において、高齢者の方々とお菓子（ボーボー）作り事業を実施、シニア世代の活躍の場を設ける取組を継続している。また、同事業が移住者との交流の場にもなっており、コミュニティ強化を図ることにもつながっている。
総合戦略Ⅱ-2	○多世代コミュニケーションスペース整備事業 保育や学童保育、高齢者福祉も包含した多世代コミュニケーションスペースを整備します	座間味島においては、社協が主体となり、令和7年度より子供の居場所づくりの一環で児童生徒の受入スペースを設置。未就学から就学児の放課後の交流の場、学習の場として普段高齢者が体操や交流事業で使用していた広場を活用した事業を開始。Wifi設置し、タブレットでの学習も可能となっており、子供達の利用は多い。村は社協の運営費を補助。阿嘉・慶留間島においては取り組みができていない。
総合戦略Ⅲ-2	○修学旅行受入促進事業 座間味村ならではの環境・教育資源を活かし、県外中学校・高等学校の修学旅行受入に向けたメニュー開発・プロモーションを座間味村観光協会と連携して行います	コロナ禍の影響があり修学旅行誘致は未実施となるが、小規模就学旅行を重点的に受け入れた。
総合戦略Ⅳ-1	○農業基盤強化事業 灌漑整備や堆肥仕入の船賃助成などを通じて、村内の農業基盤強化の支援を行います。	灌漑整備事業は行えていない。堆肥仕入の船賃助成は実施済み。 仕入については漁協を中心に行っている状況。
総合戦略Ⅳ-2	○次世代人材育成事業 次世代の産業の担い手づくりと、地域づくりプロデューサーをはぐくむため、村の若い人材への実践的な講座を開催します。 また、村外企業等と連携したキャリア教育等のプログラムの企画・実行を継続して行います。	【村の若い人材への実践的な講座】本事業を主体的に取り組む主管課を選定できず、他の施策実施を優先したこともあり、事業着手に至らなかった。 【キャリア教育の実施】学校の授業の中で取り組んでいる。具体的には中学生が村外での職場体験を年1回実施し、費用負担を行っている。
総合戦略Ⅳ-2	○平和未来プロジェクト 戦争資料の収集等を引き続き行い、公共施設に展示し、平和学習に活用することで、村のこどもたちや修学旅行生への教育・伝承を図っていきます	【座間味村慰霊祭】毎年、本村の慰霊の日である3月26日に村民向けに慰霊の日（自由参拝）を実施、また5年に一度慰霊及び世界の恒久平和を記念するため座間味村慰霊祭を実施している。戦没者ご遺族、文献、遺骨収集等で新たに発見された戦没者情報の収集及び平和の塔への刻印を行う（R7年度ご遺族より相談1件あり） 【戦跡事業整備】令和6年度に戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業が完了し、平和の塔園道などを新たに設置し、平和学習・観光の土台を形成した。しかしながら、修学旅行生等への教育・伝承までの取り組みまでには至っていない。
総合戦略Ⅴ-1	○保育事業の充実「阿嘉・慶留間」 「預かり保育事業」の充実を図り、子育てしやすい環境づくりを推進します。 阿嘉島において、ファミリーサポートセンターの充実を図るため、子育て支援員の育成・確保を行い、地域による育児格差の解消に努めます。	阿嘉・慶留間島 【預かり保育】阿嘉・慶留間島での預かり保育事業は、職員の確保が難航したことから事業を行っていない。 【ファミサポ】阿嘉・慶留間島でのファミリーサポートセンター事業は、預かる方の確保が難航したことから事業を行っていない。 【家庭的保育】阿嘉・慶留間島にて、令和7年度中に家庭的保育事業の事業開始を行う予定である。
総合戦略Ⅴ-2	○大学連携による保育インターン受入事業 夏の繁忙期の保育ニーズに対応するために、保育インターン受入を推進します。また、受け入れるインターンのSNS等を通じた本村の魅力発信効果も創出していきます。	保育インターン受入事業の募集を実施したものの、実際の応募が無かったことから、現状取り組みはできていない。

【参考】ほとんど取り組めていない項目（9項目）

施策	取組項目	説明
総合戦略 I-1	○村・島の魅力発信事業 移住情報提供ポータルサイトの整備を行います	【移住情報提供ポータルサイトの整備】 移住者に提供できる住居の確保が困難であるため、ポータルサイトの整備まで取り組むことができなかった。令和7年度に空き家の調査及び空き家対策計画を策定し、利活用できる空き家を移住者向けに提供できるかを含め取り組んで行く。
総合戦略 I-2	○Uターン向け医療学費給付事業 島外で医療関連等の高等教育を受ける若者に向けて、学費補助を行います	制度設計に至らず、取り組めていない。
総合戦略 I-3	○コワーキングスペース整備事業 移住者向けのSOHO、ワークスペース、コミュニケーション拠点の整備を行います	法人誘客への取組みが未実施となり、誘客法人を対象にしたコワーキングスペース整備事業への取組優先度が低くなったほか、対応人材・場所・財源の確保が困難であったことから、取り組むことができなかった。 ※Ⅲ．観光振興による村の活性化（○法人誘客による交流人口拡大に向けての調査事業）と連動する施策
総合戦略 II-1	○シニア世代活躍推進事業 「人材バンク」を整備する。	【人材バンク】明確な事業の設定（活用スキーム等の具現化等）ができなかったため、対応人材の確保に向けた情報収集が不十分となり、優先順位が低くなった結果、取り組むことができなかった。
総合戦略 III-2	○法人誘客による交流人口拡大に向けての調査事業 村の交流人口拡大・産業活性化に向けた「法人誘客」のメニュー開発を行い、市場性検証を通じて、積極的にプロモーションしていきます。	コロナ感染症の5類感染症移行後の観光客誘致強化に注力したことで、法人誘客への取組みを行えなかった。現状、観光客誘致の取組みを優先している。
総合戦略 IV-1	○農水産業活性化事業 農水産業を経済基盤として確立させるため、官民の連携により、販売所などの村内流通拠点を整備するとともに、生産者の意識改革を進めます。 また、生産者・流通拠点等に対する助成措置を進めるとともに、認定農業者制度の整備や農地プランの策定も行います。	【水産業】座間味村漁協があり一定程度、販売所としての役割を果たしている。ただし、漁業登録者のほとんどは、夏場は観光客向けのビジネスを中心としており、漁獲量拡大に向けた取組はできていない状況である。 【農業】販売所がなく、生産者も販売を主目的としていないため取組を進められていない。また、各農業用地が小さく、生産性を高める工夫にも大きな課題があることを認識している。 令和7年3月、人・農地プランに替わる、地域計画は策定済み。
総合戦略 IV-1	○農水観連携事業 「座間味村ブランド」「座間味村独自商品」の開発・PRの促進や、農業・漁業体験のプログラム開発を行います。また、地域内で消費された資金を、地域内で循環させる仕組みづくりに取組みます。	ブランディングのノウハウや知見不足により未実施となった。 【水産業】加工場に冷蔵庫などを設置しており利用はある。加工設備は簡易的な設備のみ。 【農業】販売するほどの生産量はなく、土地活用ふくめて課題が多い。
総合戦略 IV-1	○創業支援制度 村内事業者の創業者新規事業の立ち上げの支援を目的として、金融機関と連携した低利での資金供給制度を設置するとともに、利子補給などによるバックアップも行います	創業支援制度に係るノウハウや知見不足により未実施となった。 現状は商工会が対応している状況
総合戦略 V-2	○小中学校教育活性化事業 県内外の大学生との連携・交流を促進します。また、受け入れる県内外の大学生のSNS等を通じた本村の魅力発信効果も創出していきます。	現状取り組みはできていない。

(8) 第3期総合戦略策定時における村民の声（アンケート結果一部抜粋）

① 「暮らし」についての質問の回答集計

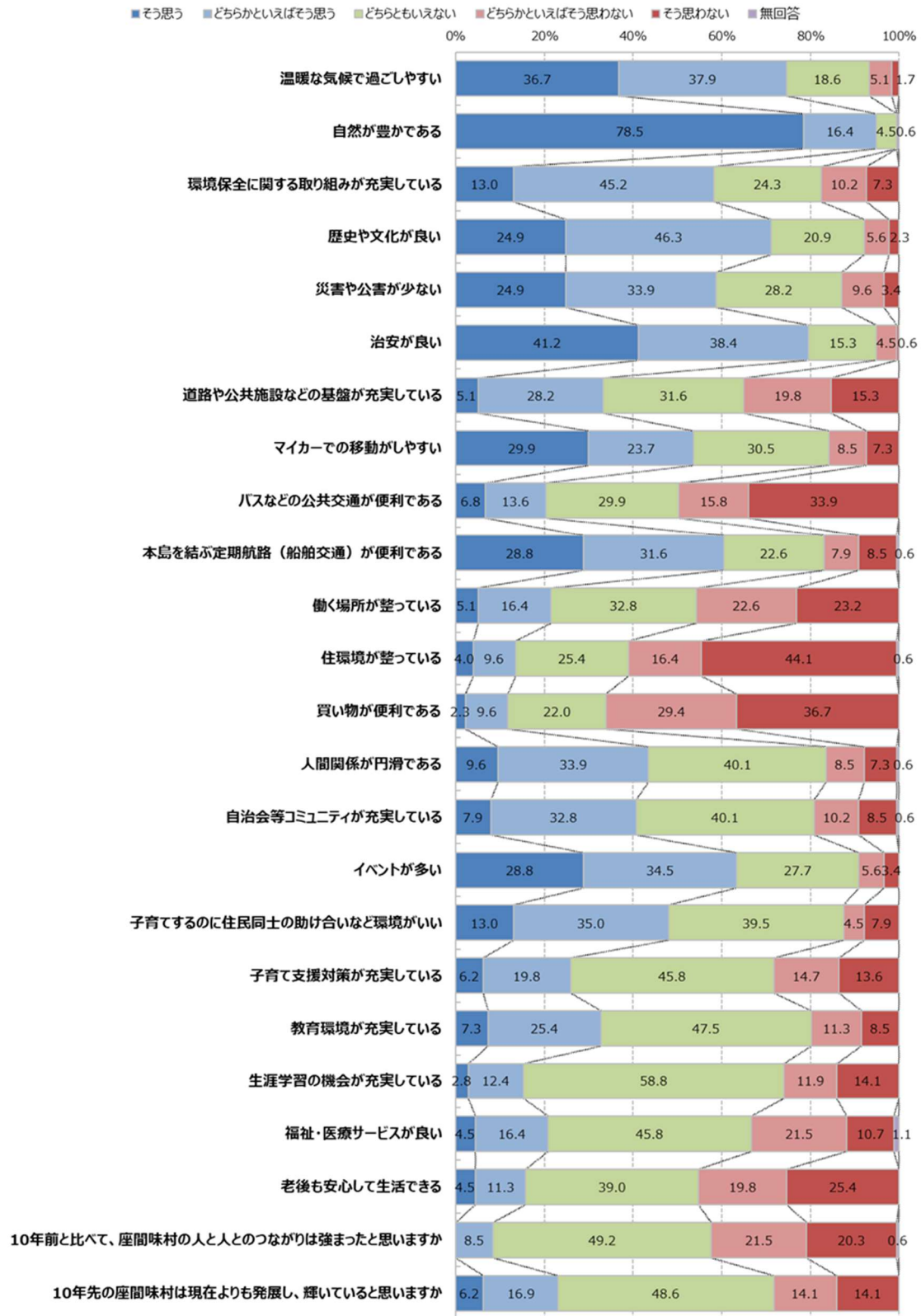
第3期総合戦略策定時のアンケート調査結果における「暮らし」についての回答では、座間味村の自然環境や治安、歴史・文化に対しては肯定的な回答が多く見られた。一方で、健康・福祉や住環境などの項目では、否定的な回答が多くなっています。

図 30：座間味村での暮らしに関する回答結果

※肯定意見50%以上、否定意見30%以上はマーカー表示

分類	質問内容	肯定的	否定的
自然環境	温暖な気候で過ごしやすい	75%	7%
	自然が豊かである	95%	0%
	環境保全に関する取り組みが充実している	58%	18%
安全・治安	災害や公害が少ない	59%	13%
	治安が良い	80%	5%
交通	マイカーでの移動がしやすい	54%	16%
	バスなどの公共交通が便利である	20%	50%
	本島を結ぶ定期航路（船舶交通）が便利である	60%	16%
教育・文化	歴史や文化が良い	71%	8%
	人間関係が円滑である	44%	16%
	自治会等コミュニティが充実している	41%	19%
	イベントが多い	63%	9%
	教育環境が充実している	33%	20%
	生涯学習の機会が充実している	15%	26%
	子育てするのに住民同士の助け合いなど環境がいい	48%	12%
健康・福祉	子育て支援対策が充実している	26%	28%
	福祉・医療サービスが良い	21%	32%
	老後も安心して生活できる	16%	45%
その他	道路や公共施設などの基盤が充実している	33%	35%
	働く場所が整っている	21%	46%
	住環境が整っている	14%	60%
	買い物が便利である	12%	66%
	10年前と比べて、座間味村の人と人とのつながりは強まったと思いますか	8%	42%
	10年先の座間味村は現在よりも発展し、輝いていると思いますか	23%	28%

図 31：座間味村での「暮らし」に関する回答結果（n＝170）



② 第3期総合戦略策定時における村民アンケートの評価及び重要度の回答集計

前回計画「第2期総合戦略」の取り組み評価の回答結果では、U・Iターン増加に向けた取組や産業活性化への取り組みに対し「不満足」と回答した割合が多くなっている。また、医療の充実や災害の対策、子育て、人材育成、産業振興への取り組みについて「重要」と回答した割合が高い結果となりました。

図 32：第3期総合戦略策定時における座間味村の取り組みに関する評価（n=170）

※否定意見30%以上・重要度60%以上はマーカー表示

分類	質問内容	満足	不満足	重要度
むら	U・Iターン移住者を増やしていくための取り組み	2%	38%	57%
	関係人口増加（U・Iターン、観光客増など）に向けた、情報発信の取り組み	8%	26%	42%
	村外からの若者や女性のUターンやIターンを増加させる取り組み	2%	34%	50%
	座間味村で生活するための医療や生活環境への支援	11%	32%	75%
	村としての災害への取り組み（備え）	12%	24%	76%
	スポーツキャンプや修学旅行の受入の取組	18%	16%	16%
	村の自然（サンゴや海浜環境）を保全する取組	28%	14%	62%
	村政の取り組みについて、村民への周知	12%	28%	68%
ひと	村の未来を担う若い世代や子どもたちのための人材育成の取り組み	9%	32%	76%
	元気なシニア世代が村内で継続して活躍できる仕組みづくり	11%	22%	58%
	教育環境の活性化をはかるための、村外の人材との交流・連携・取り組み	11%	20%	60%
	インターネットなどを活用した新しい学校教育の取り組み	14%	14%	51%
	子育てする環境や各種子育て支援制度について	10%	29%	71%
	妊産婦への各種支援	14%	14%	54%
	保育二ズへの対応（繁忙期のインターン受入など含め）	2%	39%	65%
	三島間での村民の交流	12%	22%	44%
	多世代間の交流促進の取り組み	6%	16%	45%
しごと	夏季だけではなく年間を通した観光需要と雇用の創出・安定化への取り組み	11%	31%	52%
	観光産業と連携した農水産業を振興する取り組み	2%	43%	64%
	地域産業（農水産業を含む）の若い世代への継承・人材育成を通じた産業の活性化への取り組み	1%	44%	71%
	地域産業（農水産業を含む）の販路拡大等の支援策	1%	42%	63%
	会社の外でも仕事ができる環境づくり（ワークスペースなど）	4%	31%	39%
	島一体となった観光客受け入れ環境の整備・拡充への取り組み	10%	30%	48%
	地域産業の地産商品開発	4%	51%	69%
	村の創業者への支援（新規事業立ち上げの支援）	2%	29%	51%
	産業の維持、活性化のための支援	2%	31%	61%

【分類説明】

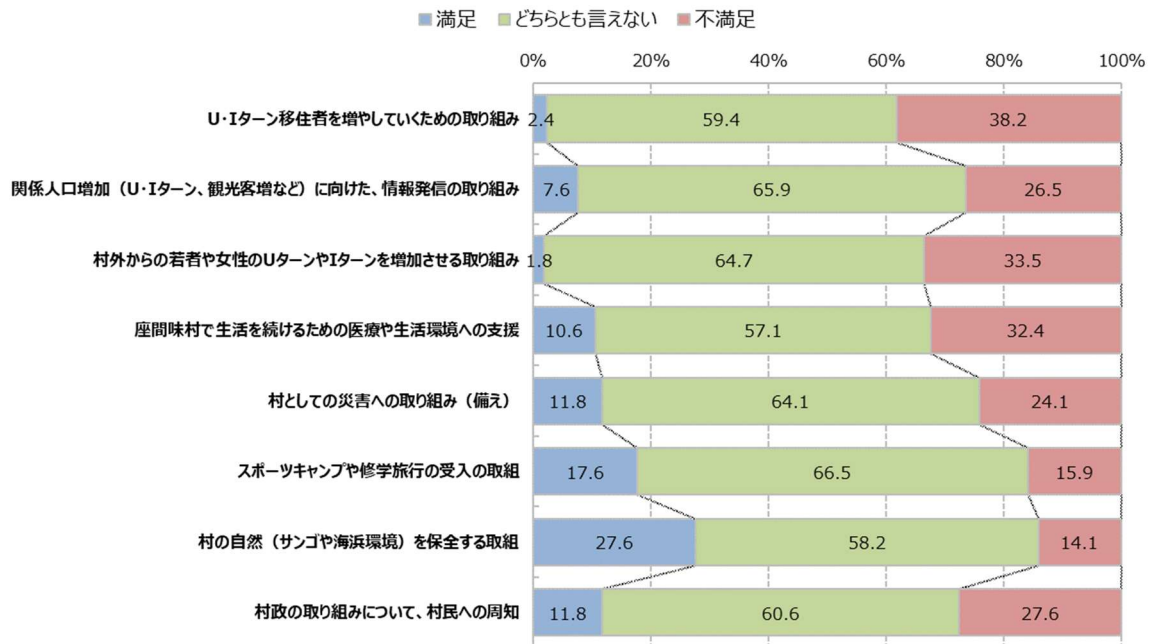
むら：むらづくり（自然、文化、歴史、生活環境など）

ひと：出産・子育て・教育など

しごと：産業振興・産業人材育成・雇用など

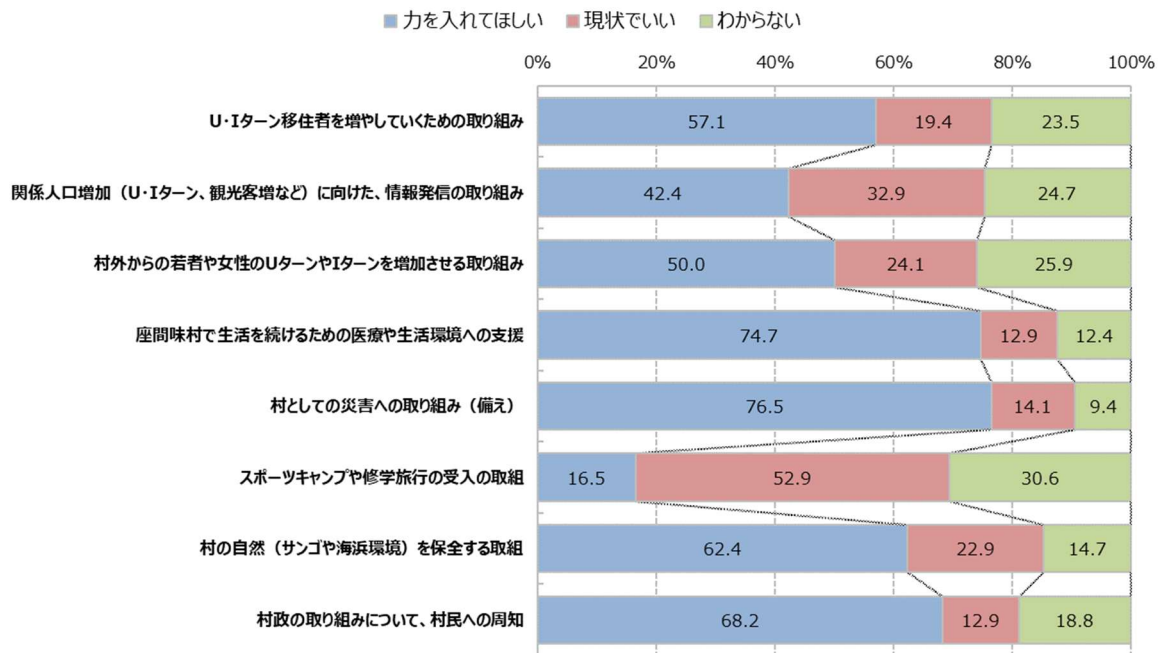
「むら」(U・Iターン促進や暮らしの支援等)に関する取組では、【U・Iターン移住者を増やしていくための取組(38.2%)】の項目において不満足という回答割合が高くなっている。次いで、【村外からの若者や女性のUターンやIターンを増加させる取り組み(33.5%)】、【座間味村で生活するための医療や生活環境への支援(32.4%)】などの項目で満足度が低い結果となりました。

図 33 : 「むら」の取組状況に関する満足度 (n = 170)



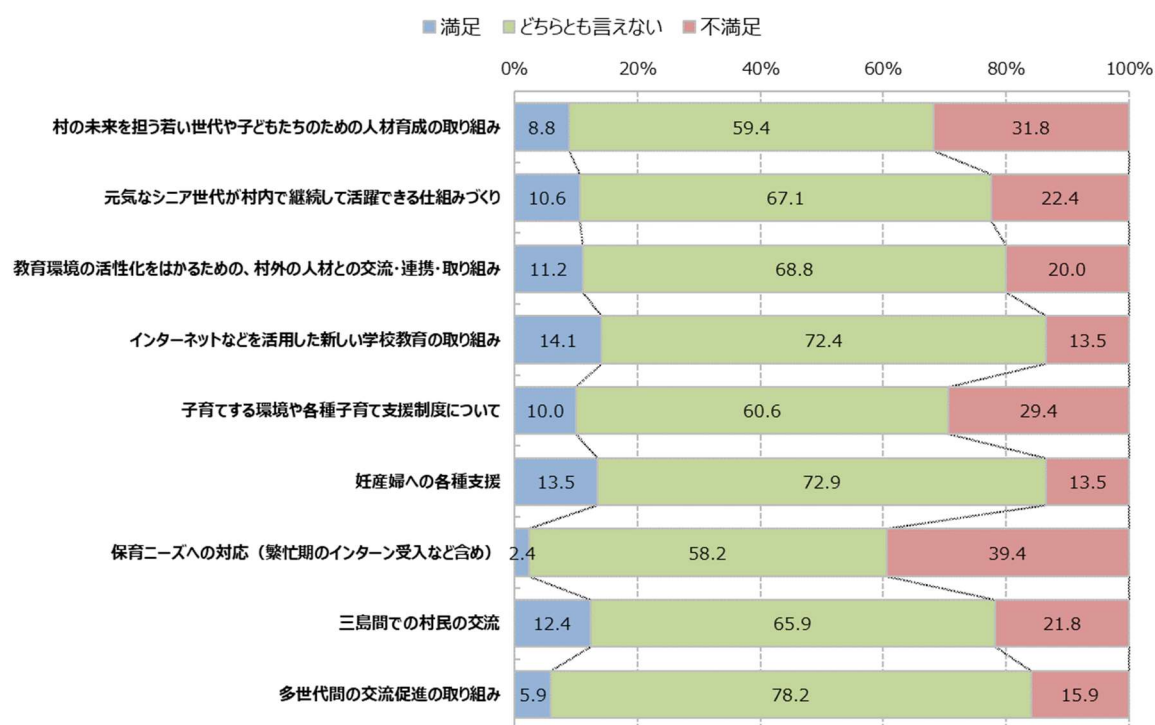
「むら」に関する取組の重要度について、「力を入れてほしい」と回答した割合が最も高い項目は【村としての災害への取組（76.5%）】となっており、次いで【座間味村で生活するための医療や生活環境への支援（74.7%）】、【村政の取組について、村民への周知（68.2%）】などと続いています。

図 34：「むら」の取組状況に関する重要度（n＝170）



「ひと」（子育てや教育等）に関する取組では、【保育ニーズへの対応（繁忙期のインターン受入など含め）（39.4%）】の項目において、不満足という回答割合が高くなっている。次に、【村の未来を担う若い世代や子どもたちのための人材育成の取組（31.8%）】、【子育てする環境や各種子育て支援制度について（29.4%）】と続いています。

図 35：「ひと」の取組状況に関する満足度（n＝170）



【保育ニーズへの対応（繁忙期のインターン受入など含め）】の項目（満足度）について地区別にみると、【座間味】において不満足との回答割合が高くなっています。

図 36：地区×「ひと」の取組状況に関する満足度（保育ニーズへの対応）（n＝170）

[ランキング] ● 1位 ● 2位 ● 3位				
	全体	満足	どちらとも言えない	不満足
全体	(170)	● 4	● 99	● 67
阿嘉	(49)	● 2	● 35	● 12
阿佐	(16)	0	● 10	● 6
阿真	(25)	● 1	● 16	● 8
慶留間	(12)	0	● 8	● 4
座間味	(67)	● 1	● 29	● 37
村内で生活しているが住民票を移していない方	(1)	0	1	0

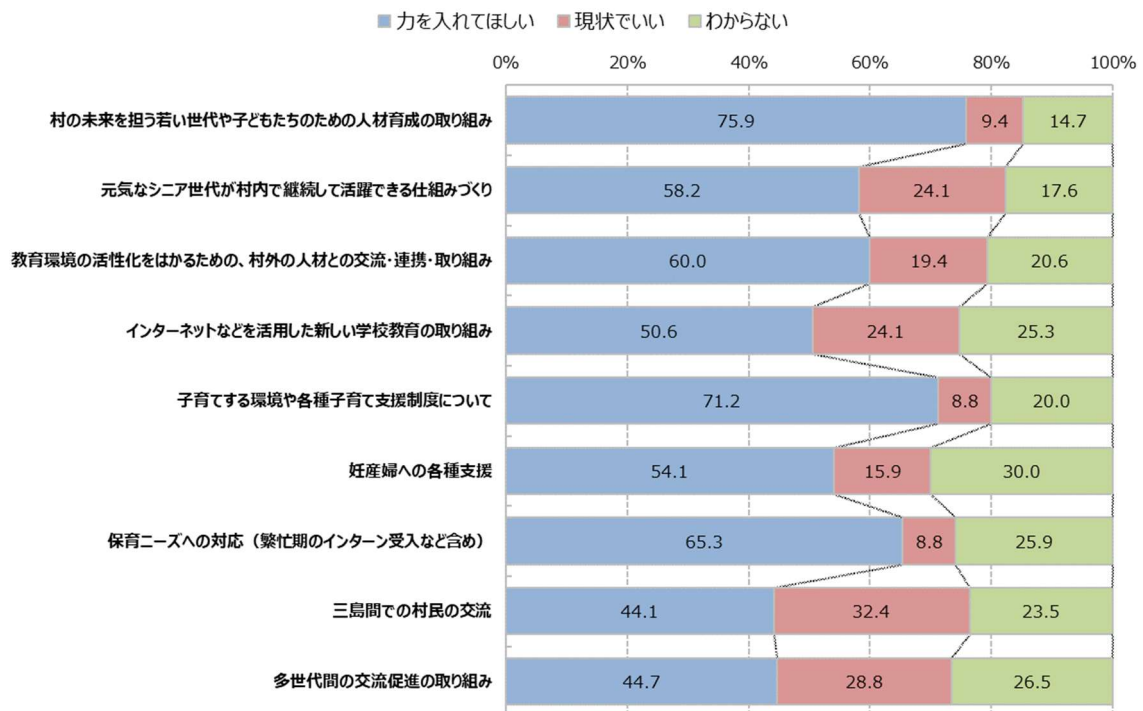
また、【保育ニーズへの対応】の項目（満足度）について年代別にみると、【30代】や【40代】において不満足と回答した割合が高くなっています。

図 37：年代×「ひと」の取組状況に関する満足度（保育ニーズへの対応）（n＝170）

	全体	満足	どちらとも言えない	不満足
全体	(170)	● 4	● 99	● 67
10代	(0)	0	0	0
20代	(16)	● 2	● 9	● 5
30代	(35)	● 1	● 13	● 21
40代	(36)	0	● 16	● 20
50代	(41)	● 1	● 25	● 15
60代	(24)	0	● 18	● 6
70代	(15)	0	● 15	0
80代	(2)	0	2	0
90代以上	(1)	0	1	0

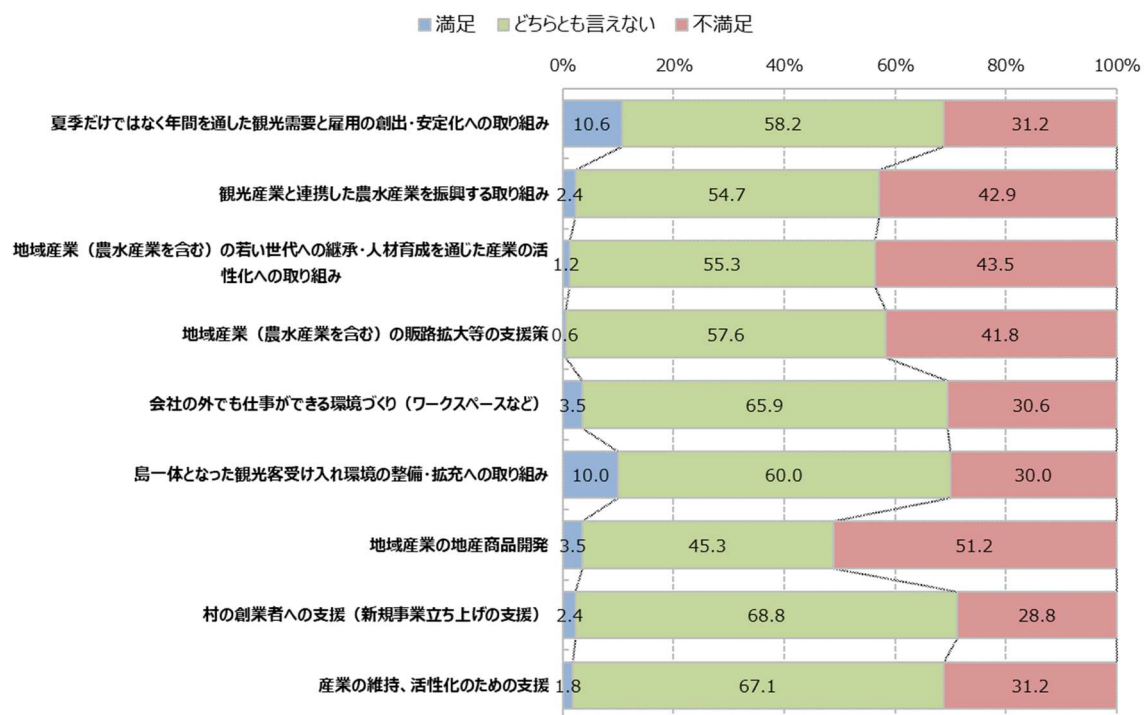
「ひと」に関する取組の重要度について、「力を入れてほしい」と回答した割合が最も高い項目は【村の未来を担う若い世代や子どもたちのための人材育成の取組（75.9%）】となっており、次いで【子育てする環境や各種子育て支援制度について（71.2%）】、【保育ニーズへの対応（繁忙期のインターン受入など含め）（65.3%）】などと続いています。

図 38：「ひと」の取組状況に関する重要度（n＝170）



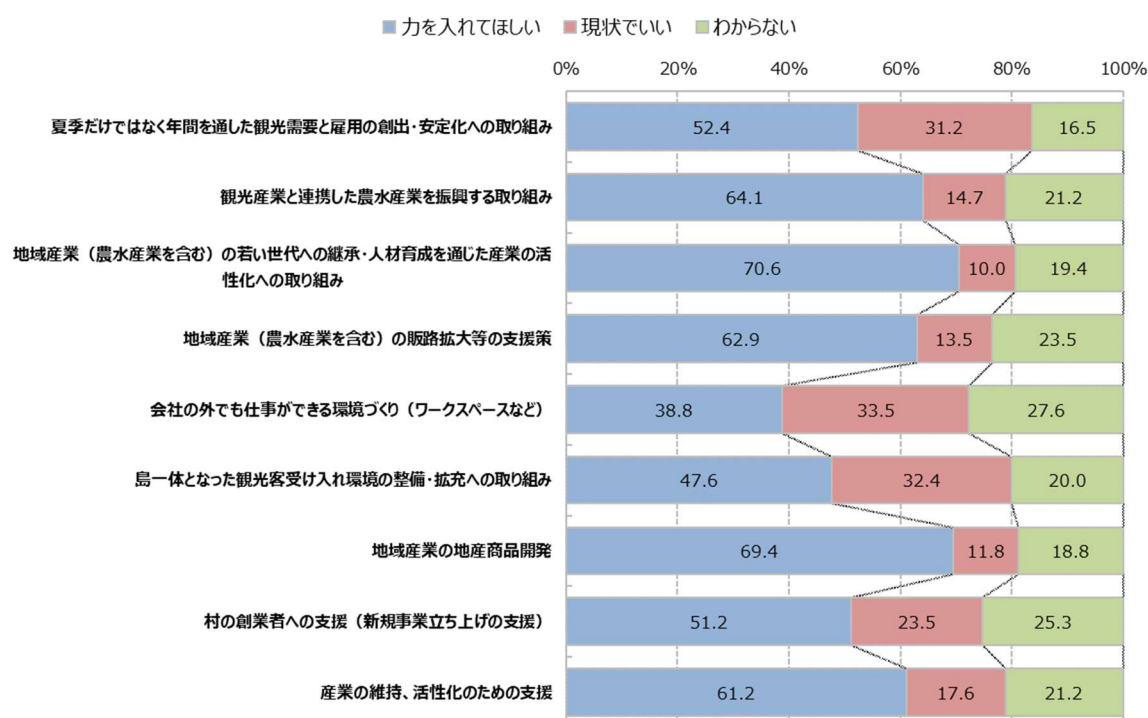
「しごと」（産業振興や産業人材育成等）に関する取組では、「むら」や「ひと」の取組と比較して、全体的に多くの項目で満足度が低い（不満足と回答した割合が高い）結果となりました。不満足という回答割合が最も高かった項目は【地域産業の地産商品開発（51.2%）】であり、次いで【地域産業（農水産業を含む）の若い世代への継承・人材育成を通じた産業の活性化への取組（43.5%）】、【観光産業と連携した農水産業を振興する取組（42.9%）】と続いています。

図 39：「しごと」の取組状況に関する満足度（n=170）



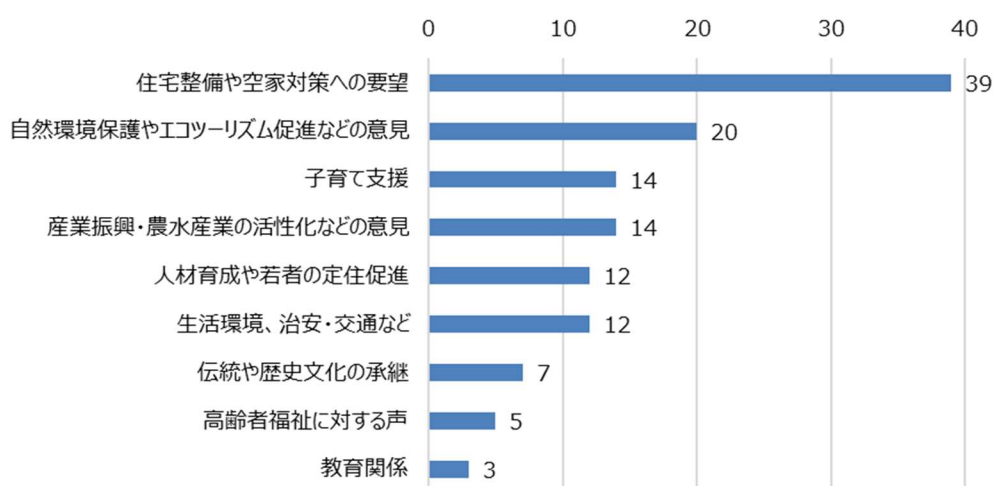
「しごと」に関する取組の重要度について、「力を入れてほしい」という回答割合が最も高かった項目は【地域産業（農水産業を含む）の若い世代への継承・人材育成を通じた産業の活性化への取組（70.6%）】であり、次に【地域産業の地産商品開発（69.4%）】、【観光産業と連携した農水産業を進行する取組（64.1%）】などと続いています。

図 40：「しごと」の取組状況に関する重要度（n＝170）



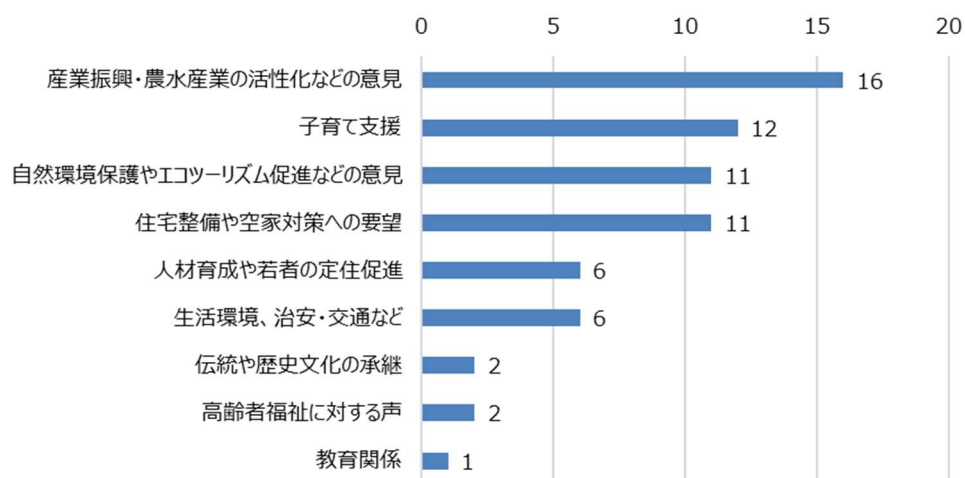
座間味村で暮らすために必要と考える具体的な取り組みについて、意見・要望等の自由意見を募った結果、【住宅整備や空き家対策への要望（39件）】についての回答が最も多く見られ、次に【自然環境保護やエコツーリズム促進などの意見（20件）】、【子育て支援（14件）】・【産業振興・農水産業の活性化などの意見（14件）】などの回答が続いています。

図 41：座間味村で暮らすために必要と考える、具体的な取り組みのご意見・要望等



座間味村のむらづくり（施策）に関する自由意見を募った結果、件数が多い順から【産業振興・農水産業の活性化などの意見（16件）】、【子育て支援（12件）】、【自然環境保護やエコツーリズム促進などの意見（11件）】、【住宅整備や空き家対策への要望（11件）】となっています。

図 42：座間味村のむらづくりに関するご意見・要望等



3. 第3期座間味村総合戦略

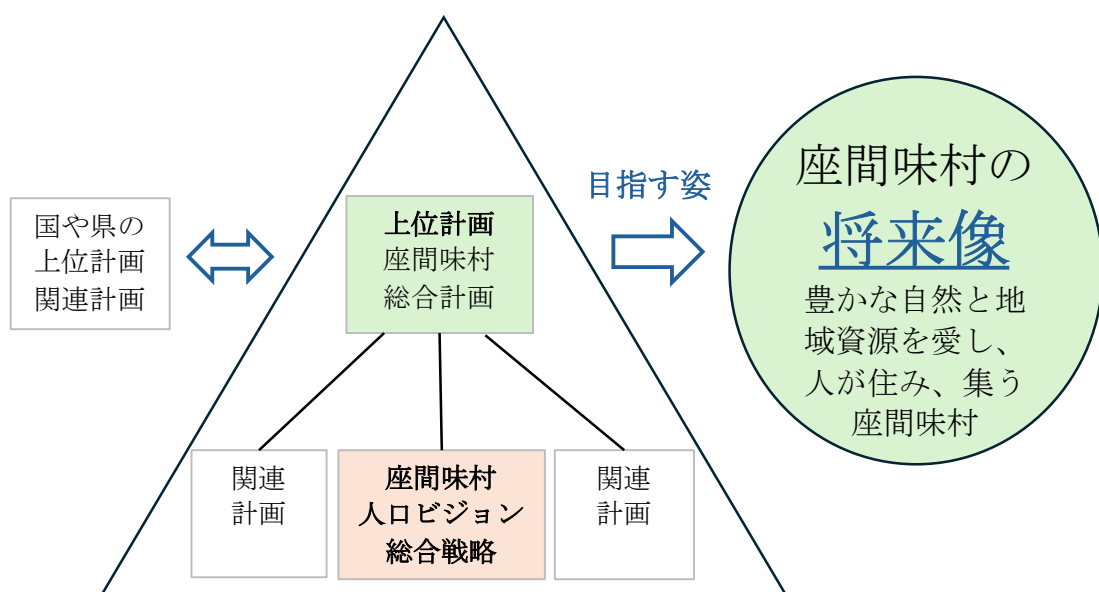


写真：座間味村の概要（R6.11月）資料より転載

(1) 座間味村総合戦略の位置づけ

本総合戦略は、上位計画である「座間味村総合計画」に基づき、各基本施策の中でも特に重要な取組内容を中心に構成しています。また、総合計画および関連計画との整合性を確保しながら策定を行っています。

図 43：座間味村総合戦略の位置づけ



(2) 第3期座間味村総合戦略における基本目標に向けた取組及び新たな視点

① 官民連携によるむらづくり

○行政・事業者・村民での連携を深め、むらの魅力を官民連携で守る地域をつくる。

② 若い世代が活躍できる地域社会をつくる

○子育て世代が安心して暮らし、活躍できる地域社会を実現し、関係人口を拡大する。

○生涯にわたり学び続けることができる教育環境を整備する。

③ 定住をかなえるむらづくり

○座間味村最大の魅力である自然環境をむら一体で保全し、持続発展可能な地域づくりを行う。

○むらの文化を将来にわたり承継できる取り組みを推進する。

○デジタル技術の活用を重要分野に位置づけ、最大限活用する。

○地域の防災力を強化し、安心・安全な暮らしを守る。

○農水観連携により、魅力ある産業の創出を実現する。

(3) 第3期座間味村総合戦略の計画期間

第3期の計画期間は、2026年度から2031年度までの6か年を計画期間とします。

(4) 第3期座間味村総合戦略の基本目標と方向性

基本目標「ざ」 むらづくり
「座間味村ならではの」の個性を活かした取組みで地域の活力を増大
基本目標「ま」 しごと
「また訪れたい」「ここに住みたい」と思える村づくりを進め、賑わいを将来に渡って続けていく
基本目標「み」 出産・子育て・教育
みんなで子育てを支え、若い世代の出産・子育て・教育の希望をかなえるとともに、生涯にわたり学びの機会を提供し、地域文化の理解を深め、むらの未来を支える”人”の育成をむら一体で行う

第3期座間味村総合戦略の基本目標と基本的方向を下記に示します。

基本目標については、「み」へ教育、地域人材育成の視点を追加しました。また、基本的方向と施策体系は、前述した新たな視点を追加し、今後の座間味村のむらづくりを叶えるための方向を示すよう追加・修正しています。

【第3期座間味村総合戦略の基本目標及び基本的方向】

基本目標		基本的方向	施策	
ざ	「座間味村ならではの」の個性を活かした取り組みで地域の活力を増大	○座間味村に関りのある方との関係性を強化し、関係人口の増大を図る。 ○多世代交流を通じ、地域コミュニティ強化により村民の結束力を高め、定住を促進する。 ○座間味村の個性や文化を理解・尊重する移住者を増加・定住させるため、座間味村特有の取組や魅力を発信するとともに、受け入れ態勢を強化し、U・Iターン増加を図る。	1	関係人口増加に向けた情報発信の推進
			2	しま「暮らし」体験の推進
			3	定住促進に向けた医療や福祉、交通、住居などの「暮らし」の支援
			4	三島交流による、村民のつながり強化
			5	住宅整備
			6	空き家の利活用促進
			7	GXによる持続可能な地域づくり
			8	DX促進による地域の活性化
			9	ふるさと納税や企業版ふるさと納税制度の活用による資金調達強化
			10	地域防災力の向上
ま	「また訪れたい」「ここに住みたい」と思える村づくりを進め、賑わいを将来に渡って続けていく	○主要産業である観光を官民一体となって強化するとともに、座間味村の自然・文化等を活かして「新たな魅力」を提供することで、通年の観光需要と雇用の創出・安定化を図る。 ○農水産業の振興を図るとともに、新たな産業を創出し、地域産業の活性化を図る。	11	観光産業の持続的発展に向けた受入体制の強化
			12	通年での観光需要の拡大に向けた座間味村観光の「新たな魅力」創出
			13	産業振興と担い手確保
			14	農水観連携による「新たな産業」の創出
み	みんなで子育てを支え、若い世代の出産・子育て・教育の希望をかなえるとともに、生涯にわたり学びの機会を提供し、地域文化の理解を深め、むらの未来を支える”人”の育成をむら一体で行う	○「繁忙期である夏季を中心とした保育ニーズ」など、座間味村ならではの希望に沿った子育て環境をむら一体で整備し、座間味村を出産・子育て・教育の場を選んでもらう。 ○むらの未来を支える“人”の育成をむら一体で行い、若い世代が活躍できるむらをつくる。	15	妊娠・出産環境の整備
			16	島の子育て環境の整備
			17	魅力ある教育環境の創出
			18	地域人材の育成

※第2期総合戦略から追加・修正のあった項目については赤字記載としている

(5) 本総合戦略におけるむらの将来イメージ図（U・Iターン、定住）



イラスト画像は生成 AI ツール「Microsoft Copilot」により作成

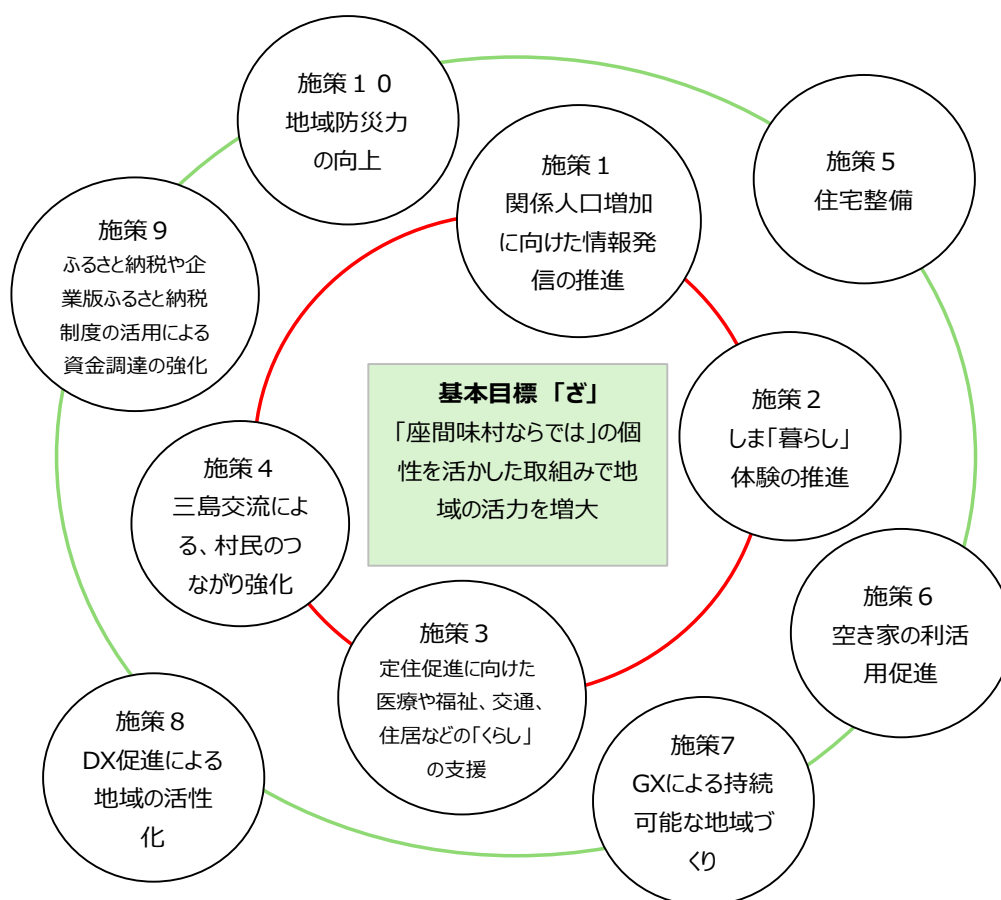
4. 第3期座間味村総合戦略の各施策の基本的方向とKPI目標

ざ：「座間味村ならではの」個性を活かした取り組みで地域の活力を増大

【数値目標と基本的方向】

数値目標と基本的方向「ざ」	
数値目標	<p>地域の魅力向上による生産年齢人口の社会増を目指す</p> <p>◎生産年齢人口の社会増（年間 +6 人）</p> <p>R3～R6 年平均実績（年間 5.5 人）</p>
基本的方向	<p>○座間味村と関わりのある方との関係性を強化することで関係人口増加を図っていきます。</p> <p>○多世代交流や地域コミュニティ強化により村民の結束力を高めることを大切にします。</p> <p>○官民一体となり、自然環境保全や文化の理解により、地域の魅力を高め、発信することで、定住したいと考える人口を増やし、人口の社会増加につなげます。</p>

「ざ」むらづくり分野の施策



【各施策及び重要業績評価指標（KPI）】

No	施策内容	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 2025 年	目標値 2031 年	主担当課
1	関係人口増加に向けた情報発信の推進	関係コンテンツ 登録者数 (アイランダーズ LINE Facebook ふるさと納税)	10,012 人	16,400 人	総務課 船舶・観光課
2	しま「暮らし」体験の推進	体験プログラム 実施数	－	年 2 件	総務課
3	定住促進に向けた医療や福祉、交通、住居などの「暮らし」の支援	村民の生活に対する 満足度 (村民アンケート)	62.3%	75%	住民課
4	三島交流による村民のつながり強化	イベント開催数	年 3 件	年 5 件	総務課
5	住宅整備	住宅整備棟数	－	1 棟以上	総務課
6	空き家の利活用促進	空き家の再活用数	－	計画期間 計 15 戸	総務課
7	GX による持続可能な地域づくり	座間味村温暖化対策 実行計画に基づく 事業実施	－	2030 年までに温室効果ガス 26%削減	住民課
8	DX 促進による地域の活性化	行政オンライン 手続き業務数	34 業務	100 業務	総務課
9	ふるさと納税や企業版ふるさと納税制度の活用による資金調達の強化	寄付金額	18 百万円	100 百万円	総務課
10	地域防災力の向上	自主防災組織設置	－	設置完了	総務課

※第 2 期総合戦略から追加・修正のあった項目については赤字記載としている

【各施策における事業内容一覧】

施策		事業内容		担当課
1	関係人口増加に向けた情報発信の推進	(1)	村・島の魅力発信	総務課 船舶・観光課
2	しま「暮らし」体験の推進	(2)	暮らし体験ツアー	総務課
		(3)	移住検討者向け PR 動画の作成・配信	総務課
3	定住促進に向けた医療や福祉、交通、住居などの「暮らし」の支援	(4)	移住者向け支援事業	総務課
		(5)	通院等支援事業	住民課
		(6)	公共交通の拡充	船舶・観光課
		(7)	健康推進事業	住民課
4	三島交流による、村民のつながり強化	(8)	みつしま交流事業	総務課
5	住宅整備	(9)	U・I ターン向け住宅整備	総務課 産業振興課
6	空き家の利活用促進	(10)	空き家の利活用促進事業	総務課
7	GX による持続可能な地域づくり	(11)	自然体験学習	教育委員会
		(12)	村民・事業者向け GX セミナーの開催	住民課
		(13)	サンゴ保全・海浜環境保全事業	船舶・観光課 住民課
		(14)	省エネ・新エネの導入	住民課
8	DX 促進による地域の活性化	(15)	那覇支所の開設検討	総務課
		(16)	行政オンライン手続きの拡充	総務課
9	ふるさと納税や企業版ふるさと納税制度の活用による資金調達の強化	(17)	ふるさと納税の返礼品開発事業	総務課
		(18)	企業版ふるさと納税の強化	総務課
10	地域防災力の向上	(19)	自主防災組織の設立	総務課
		(20)	避難所・避難経路の整備	総務課 産業振興課
		(21)	備蓄品の充実	総務課

※第2期総合戦略から追加・修正のあった項目については赤字記載としている

【各施策内容及び具体的事業内容・協力団体】

1. 関係人口増加に向けた情報発信の推進 【目標値：登録者数 16,400 人】

むらの人口維持を図るため、座間味村と関わりのある方に向け、継続的にむらの魅力を発信することで、関係人口の増加を促進し、将来的な移住希望者の増加に繋げる取り組みを推進します。主に関係コンテンツ（アイランダーズやLINE等）を活用し、情報を発信します。

事業内容	協力団体
(1) 村・島の魅力発信事業 座間味村と関わりのある方、興味を持つ方へ、デジタルコンテンツの活用を中心とした「むらの魅力」の発信を行います。	観光協会

2. しま「暮らし」体験の推進 【目標値：プログラム実施数 年2件】

座間味村への移住検討者に向けて、しまの暮らし体験できるプログラムを実施します。しまでの生活や仕事、自然・地域文化・コミュニティなどの魅力を実際に感じてもらうことで、将来的な移住者の増加へ繋げる取組を推進します。

事業内容	協力団体
(2) 暮らし体験ツアー 観光協会との連携により、座間味村への移住希望者向けに仕事体験やコミュニティ参加体験などを実施します。	観光協会
(3) 移住検討者向けPR動画の作成・配信事業 移住検討者への訴求を行うことで、U・Iターン増加へ繋がる取り組みを行います。	観光協会

3. 定住促進に向けた医療や福祉、交通、住居などの「暮らし」の支援

【目標値：「暮らし」生活に関する満足度 75%（アンケート）】

村民の生活環境を守ることが定住促進への重要な取り組みです。医療や福祉、交通、住居など「暮らし」の支援を充実させ、村民の満足度を高めることで、将来にわたり安心して住み続けられるむらづくりを推進します。

事業内容	協力団体
(4) 移住者向け支援事業 移住に伴う経済的負担の軽減を図るため、移住者への支援を行います。	-
(5) 通院等支援事業 渡航が必要な専門医療に対する支援を継続、拡充して行い、村民の経済的負担の軽減を図ります。	-

(6) 公共交通の拡充 阿嘉・慶留間で村営バスの運行を行い、交通利便性の向上を図ります。	-
(7) 健康推進事業 村民の健康支援のため、検診費用の負担額軽減、及び健康教室を開催します。	-

4. 三島交流による、村民のつながり強化 【目標値：イベント開催数 年5件】

三島の村民のつながりを強化し、地域コミュニティを維持・強化していくことで、安心・安全な暮らしを実現し、幅広い世代の定住促進を図ります。また、交流イベントを通じて、むらの文化を継承する取り組みも推進します。

事業内容	協力団体
(8) みつしま交流事業 三島の交流を目的としたイベントを継続実施し、村民のつながり強化を図ります。	社会福祉 協議会 体育協会

5. 住宅整備 【目標値：住宅整備棟数 1棟以上】

これまでに多くの公営住宅の整備を進め、定住促進の成果に繋がっているが、引き続き移住希望のニーズが高いことから、継続した住宅整備を進めます。

事業内容	協力団体
(9) U・I ターン向け住宅取得整備事業 U・I ターン増加のための新たな住宅整備、並びに土地の確保を進めます。	-

6. 空き家の利活用促進 【目標値：空き家再活用数 15戸（計画期間計）】

限られた村内の土地資源を有効活用するため、村内の空き家の調査と利活用促進を進め、U・I ターン希望者の住居確保を支援し人口の維持と定住促進を図ります。

事業内容	協力団体
(10) 空き家の利活用促進事業 2025年に実施している調査に基づき、空き家の利活用に向けた支援を行います。	各区

7. GX による持続可能な地域づくり 【目標値：温室効果ガス 26%削減（2030 年）】

座間味村の最大の魅力である自然をむら一体となって守ることで、むらの持続的発展に繋がります。また、自然体験やセミナー、保全活動などを通じ、自然環境保全への意識を高め、将来にわたり持続可能な地域づくりを目指します。

事業内容	協力団体
(11) 自然体験学習事業 教育プログラムに座間味村の自然体験の機会を提供し、地域資源の関心を高める取組を行います。	学校
(12) 村民・事業者向け GX セミナーの開催 村民、事業者一体で自然環境への関心を高めるため、GX セミナーを開催します。	-
(13) サンゴ保全・海浜環境保全事業 自然環境保護のため、事業者と連携した保全活動を実施します。	ダイビング 協会 観光協会
(14) 省エネ・新エネ設備の導入事業 公共施設をはじめとした省エネ・新エネ設備の導入及び村民向け事業を実施します。	-

8. DX 促進による地域の活性化 【目標値：那覇支所の開設】

行政サービス、地域産業の維持・活性化を目的に、デジタル技術を活用した継続的な取り組みを推進します。また、各種申請手続きなどにおける村民の地域格差を解消するため、行政のオンライン手続きを拡充し、村民の利便性向上を図ります。

事業内容	協力団体
(15) 那覇支所開設の検討 行政サービスの維持向上に向け、那覇支所の開設を検討します。	-
(16) 行政オンライン手続きの拡充 行政オンライン手続きの機能拡充により、村民の利便性向上を図ります。	-

9. ふるさと納税や企業版ふるさと納税制度の活用による資金調達の強化

【目標値：寄付金額 100,000,000 円】

ふるさと納税及び企業版ふるさと納税制度を活用し、資金調達の強化を図るとともに座間味村のむらづくりを応援する関係人口の増加に取り組みます。また、新たな返礼品開拓を進め、魅力発信を強化します。

事業内容	協力団体
(17) ふるさと納税の返礼品開発事業 事業者との連携により、新たな返礼品の開発に取り組みます。	観光協会 商工会
(18) 企業版ふるさと納税の強化 企業版ふるさと納税の寄付件数増加に向け、応援してくれる企業の募集を行います。	-

10. 地域防災力の向上 【目標値：自主防災組織の設置完了】

安心・安全に生活できる環境維持に向け、各種団体と連携し地域防災力の強化を図り、防災対策に向けた取組を実施します。災害時に迅速かつ的確に対応できる体制を整備し、防災対策の充実を図ります。

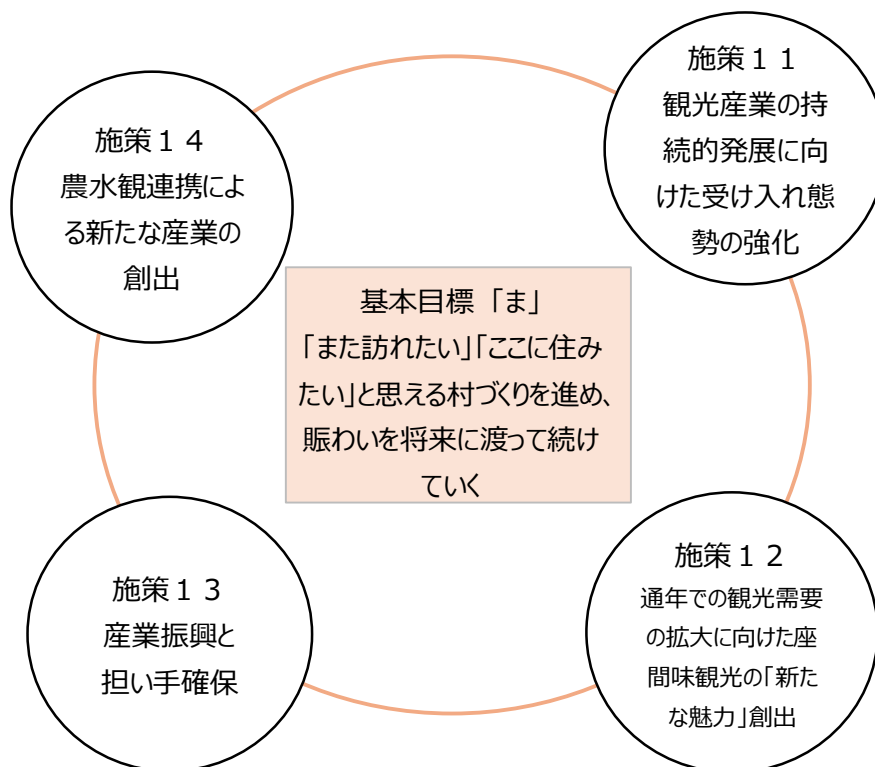
事業内容	協力団体
(19) 自主防災組織の設立 むらの防災力強化に向け、自主防災組織の設立支援を行います。	-
(20) 避難所・避難経路の整備事業 災害対策に向け、避難所・避難経路・避難道の整備を実施します。	-
(21) 備蓄品の充実 避難拠点ごとに必要な備蓄品を確保し、備え付けを行います。	-

ま：「座間味村ならではの」の個性を活かした取り組みで地域の活力を増大

【数値目標と基本的方向】

数値目標と基本的方向「ま」	
数値目標	<p>農水観連携による、座間味村観光の新たな魅力創出</p> <p>◎観光客数 年間 130,000 人（閑散期 12 月～3 月 約 7,000 人増） （R7 年実績 122,256 人）</p>
基本的方向	<p>○主要産業である観光産業を官民一体となって強化するとともに、座間味村の自然・文化等を活かした「新たな魅力」を提供することで、通年での観光需要と雇用の創出・安定化を図っていきます。</p> <p>○農水産業の振興を図るとともに、新たな産業を創出し、地域産業の活性化を図っていきます。</p>

「ま」しごと分野の施策



【各施策及び重要業績評価指標（KPI）】

No	施策内容	重要業績評価指標（KPI）	基準値 2025 年	目標値 2031 年	主担当課
11	観光産業の持続的発展に向けた受入体制の強化	観光客の満足度（アンケート）	－	75%	船舶・観光課
12	通年での観光需要の拡大に向けた座間味村観光の「新たな魅力」創出	閑散期（12～3月）の観光客数	18,390 人	25,700 人	船舶・観光課
13	農業振興と担い手確保	農地法に基づき活用できる耕作地数	－	50 筆	産業振興課
14	農水観連携による新たな産業の創出	新たな産業の創出	－	新規産業立上 1 件	産業振興課

【各施策における事業内容一覧】

施策	事業内容		担当課
11 観光産業の持続的発展に向けた受入体制の強化	(22)	観光産業の持続的発展に向けた取組	船舶・観光課
	(23)	船舶手続きの利便性向上	船舶・観光課
	(24)	観光客向けアンケート調査の実施	船舶・観光課
	(25)	観光客向け防災対策	船舶・観光課 総務課
	(26)	観光地・公共施設への Wi-Fi 設置	船舶・観光課
	(27)	公共施設の指定管理移行	船舶・観光課 教育委員会
	(28)	就労ポータルサイト構築、特定地域づくり事業協同組合制度の検討	総務課
12 通年での観光需要拡大に向けた座間味村観光の「新たな魅力」創出	(29)	冬ならではの絶景と自然体験を届ける情報発信	船舶・観光課
13 農業振興と担い手確保	(30)	農地活用調査	産業振興課
	(31)	農地活用の促進	産業振興課
	(32)	販売所の整備	産業振興課
14 農水観連携による新たな産業の創出	(33)	地元製品の活用促進	産業振興課
	(34)	特産品開発事業	産業振興課
	(35)	農水産業基盤強化事業	産業振興課
	(36)	農水観連携による新たな産業創出	産業振興課

※第 2 期総合戦略から追加・修正のあった項目については赤字記載としている

【各施策内容及び具体的事業内容・協力団体】

1 1. 観光産業の持続的発展に向けた受入体制の強化

【目標値：観光客の満足度 75%（アンケート）】

農水観連携による持続可能な観光地づくりを進め、むらの魅力を高めることで来島者の満足度向上を図り、地域産業の活性化に繋がります。さらに、デジタルインフラの整備や労働力確保に向けた取組み、公共施設の指定管理移行などにより、観光受入体制強化と行政サービスの維持・向上を推進します。

事業内容	協力団体
(22) 観光産業の持続的発展に向けた取組み 観光産業の受入体制強化のため、観光協会と連携し、来島者の満足度向上につながる取組みを推進します。	観光協会 観光に関する 各種団体
(23) 船舶手続きの利便性向上 船舶利用の利便性向上に向け、船舶オンライン手続きの機能拡充を図ります（みつしま航路や、欠航時のオンライン手続き対応など）。	-
(24) 観光客向け満足度アンケート調査（定点調査） 来島者向けアンケート調査を実施し、声の拾い上げを行い、満足度向上に向けた取組みを行います。	-
(25) 観光客向け防災対策 ダイビング協会などの観光事業者と連携し、観光客向け防災対策を行います。	観光に関する 各種団体
(26) 観光主要地・公共施設への Wi-Fi 設置 デジタルインフラの整備に向け、設置場所の選定を行い、Wi-Fi 環境整備を進めます。	-
(27) 公共施設の指定管理移行 阿真キャンプ場、艇庫、交流センター等の公共施設の指定管理移行に向けた取組みを検討します。	-
(28) 就労ポータルサイトの構築、特定地域づくり事業協同組合制度の検討 事業者の人材確保に向け、一元管理の仕組み構築に向けた取組みを行います。	-

1 2. 通年での観光需要の拡大に向けた座間味村観光の「新たな魅力」創出

【目標値：閑散期(12～3月)の観光客数 25,700人】

むらの魅力である自然景観を感じる陸・星空などの情報発信を強化します。座間味村観光の「新たな魅力」を創出することで、閑散期の来島者増加に繋げる取り組みを推進します。

事業内容	協力団体
(29) 冬ならではの絶景と自然体験を届ける情報発信 ホエールウォッチングに加え、新たな座間味村の魅力（陸・星空など）を活用した情報発信を行います。	観光協会 ホエールウォッチング 協会

1 3. 農業振興と担い手確保 【目標値：農地法に基づき活動できる耕作地 50筆】

農業はむらの産業振興において重要な基幹産業です。策定済みの農地プランに基づき、エリア内の耕作筆数の増加を目指し、必要な支援を実施します。あわせて、農業振興に向けた課題解決に取り組み、担い手の確保と持続可能な農業の推進を図ります。

事業内容	協力団体
(30) 農地活用調査 策定した地域計画のエリア指定地における、農地活用状況の調査を実施します。	農業委員会
(31) 農地活用の促進 耕作放棄地の所有者を特定し、農地活用に向けた支援を行います。	農業委員会
(32) 販売所の整備 農産物の販売拠点の整備に向けた支援を行います。	-

14. 農水観連携による新たな産業の創出 【目標値：新規産業立ち上げ 1件】

安定した雇用環境の確保による定住促進を図るため、農水観連携による新たな産業の創出に取り組みます。地域資源を活用した付加価値の高い事業を推進し、持続可能な産業の創出を目指します。

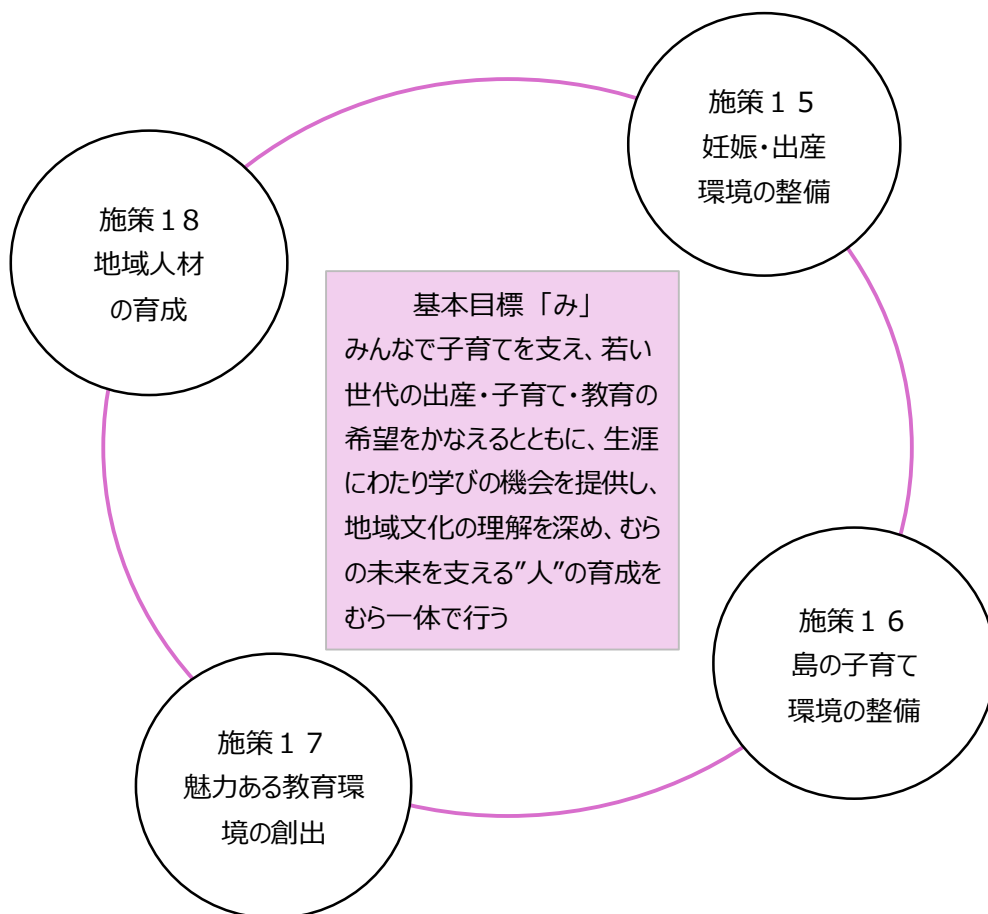
事業内容	協力団体
(33) 地元産品の活用促進事業（地産地消） 地元食材の地産地消に向け、事業者間連携を推進します。	観光協会 商工会 漁業協同組合 農業委員会
(34) 特産品開発事業 特産品となる商材を選定し、新たな事業開始に向けた取り組みを推進します。	商工会 漁業協同組合 農業委員会
(35) 農水産業基盤強化事業 農水産業の事業環境整備や、仕入補助などの実施を通じて、一次産業事業者への支援を行います。	農業委員会 漁業協同組合 商工会
(36) 農水観連携による新たな産業の創出 農水観連携による新たな産業の創出に取り組みます。地域資源を活用した付加価値の高い事業を推進し、持続可能な産業の創出を目指します。	各種団体

み：みんなで子育てを支え、若い世代の出産・子育て・教育の希望をかなえとともに、生涯にわたり学びの機会を提供し、地域文化の理解を深め、むらの未来を支える”人”の育成をむら一体で行う

【数値目標と基本的方向】

数値目標と基本的方向「み」	
数値目標	安心して出産・子育てできる環境 ◎子育て支援の満足度 50%（村民アンケート） （R6 年度実績 26%）
基本的方向	○「繁忙期である夏季を中心とした保育ニーズ」など、座間味村ならではの希望に沿った子育て環境をむら一体で整備し、座間味村を出産・子育て・教育の場を選んでもらえる取り組みを行います ○むらの未来を支える“人”の育成をむら一体で行い、若い世代が活躍できるむらづくりを行います。

「み」出産・子育て・教育分野の施策



【各施策及び重要業績評価指標（KPI）】

No	施策内容	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 2025 年	目標値 2031 年	主担当課
15	妊娠・出産環境の整備	妊産婦の交流イベント開催数	-	年 3 件	住民課
16	島の子育て環境の整備	保育事業の充実	-	村全体に保育事業を実施	住民課
17	魅力ある教育環境の創出	教育環境に対する保護者満足度（アンケート）	26%	50%	教育委員会
18	地域人材の育成	地域リーダー育成に係る研修会等の支援実施数	-	年 2 回以上	教育委員会 総務課

【各施策における事業内容一覧】

施策		事業内容		担当課
15	妊娠・出産環境の整備	(37)	沖縄県と連携した医療環境の整備	住民課
		(38)	妊産婦が集える場の設置	住民課
		(39)	出産祝い金事業	住民課
16	島の子育て環境の整備	(40)	阿嘉・慶留間での保育事業の実施	住民課
		(41)	預かり保育事業の実施	教育委員会
		(42)	SNS を活用した支援情報発信	住民課
17	魅力ある教育環境の創出	(43)	留学制度及び里親留学等への支援	教育委員会
		(44)	恒久平和の発信	住民課 教育委員会
		(45)	外国人指導助手（ALT）配置事業	教育委員会
		(46)	婦恋村交流事業	教育委員会
		(47)	地域国際交流事業	教育委員会
		(48)	小中学校教育活性化事業	教育委員会
		(49)	離島高校生支援事業	教育委員会
		(50)	スポーツ大会等派遣事業	教育委員会
		(51)	奨学金制度の活用促進	教育委員会
18	地域人材の育成	(52)	地域人材育成事業	教育委員会 総務課
		(53)	生涯学習の充実	総務課

※第 2 期総合戦略から追加・修正のあった項目については赤字記載としている

【各施策内容及び具体的事業内容・協力団体】

15. 妊娠・出産環境の整備 【目標値：妊産婦の交流イベント開催数 年3件】

妊産婦が安心して出産・子育てできる環境を整えるため、オンライン診療の利用促進や、妊産婦同志の交流イベントを開催し支援体制を強化します。また、出産祝い金を支給することで、子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てできる地域づくりを推進します。

事業内容	協力団体
(37) 沖縄県と連携した医療環境整備 オンライン診療の利用促進により、受診しやすい環境づくりを行います。	－
(38) 妊産婦が集える場の設置 妊産婦が集える場の整備を行い、妊産婦が安心できる環境づくりを進めます。	－
(39) 出産祝い金事業 村内の新生児に対する出産祝い金の拡充検討を行います。	－

16. 島の子育て環境整備 【目標値：村全体に保育事業を実施する】

村民の出産・子育ての希望をかなえるため、保育事業の充実と各種子育て支援を推進し、子育て世代が安心して暮らせる地域づくりを目指します。

事業内容	協力団体
(40) 阿嘉・慶留間での保育事業の実施 阿嘉・慶留間における保育事業の開始により、地域による育児格差を解消することで子育て支援の充実を図ります。	－
(41) 預かり保育事業の実施 座間味での預かり保育の継続に必要な人員の確保や、阿嘉・慶留間での預かり保育の実施に向けた支援を行います。	－
(42) SNS を活用した支援情報の発信 妊産婦・子育て世帯向けに SNS を活用した支援情報発信を行います。	－

1.7. 魅力ある教育環境の創出

【目標値：教育環境に関する保護者満足度 50%（アンケート）】

魅力ある教育環境の整備に向け、国際交流や他自治体との交流を通じて、子どもたちが将来グローバルに活躍できる人材の育成に取り組みます。地域の特色を活かした学びと多様な交流機会を提供し、学びの質を高めることで、定住促進につなげます。

事業内容	協力団体
(43) 留学制度及び里親留学等への支援 村内での留学に関わる運営事業者への支援を行う	-
(44) 恒久平和の発信 平和学習を実施し、恒久平和の情報発信を行います。	-
(45) 外国人指導助手（ALT）配置事業 外国人指導助手（ALT）の継続配置を行い外国語教育の充実を図ります。	-
(46) 婦恋村交流事業 群馬県婦恋村との中学生交流を継続し主体的に行動できる人材の育成を行います。	群馬県 婦恋村
(47) 地域国際交流事業 海外ホームステイを継続実施し、グローバル人材の育成を行います。	-
(48) 小中学校教育活性化事業 ICTを活用した教育の促進を行います。また、子供向けパソコン教室を開催します。	-
(49) 離島高校生支援事業 教育費の支援を継続実施します。	-
(50) スポーツ大会等派遣事業 派遣費用の支援を継続実施し、子育て世代の家計負担の軽減を図ります。	-
(51) 奨学金制度の活用促進 奨学金制度の活用促進に向けた情報発信を行います。	-

18. 地域人材の育成

【目標値： 地域リーダー育成に係る研修会等の支援実施数 年2件以上】

生涯にわたる学びの機会を提供し、むらの未来を担う人材をむら全体で育成します。地域リーダーの育成や若い世代が活躍できる環境づくりを推進し、持続可能な地域づくりを推進します。

事業内容	協力団体
(52) 地域人材育成事業 将来の地域リーダー育成に向け、各種研修会（ワークショップ等）の派遣支援などを行います。	-
(53) 生涯学習の充実 生涯にわたり、地域や社会とつながりながら学び続けられる機会を提供します。	-

5. 第3期総合戦略におけるSDGsの視点

(1) 持続可能な開発目標（SDGs）とは

持続可能な開発目標（SDG s Sustainable Development Goals ）は、2015 年 9 月の国連で採択されたもので、国連加盟 193 カ国が 2016 年から 2030 年までの 15 年間で達成するために掲げた目標であり、環境、経済、社会それぞれの側面を統合的に向上させるため、17 の目標と 169 のターゲットから構成されています。この目標の達成に向け、政府だけでなく、自治体や企業、諸団体、村民にも役割があり、それぞれが協力・連携しあうことが求められています。



※SDGs ロゴは国連のガイドラインに基づき使用

(2) 持続可能な開発目標（SDGs）17 の目標一覧

SDGs 持続可能な 17 の目標		
1	貧困をなくそう	あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困を終わらせる
2	飢餓をゼロに	飢餓を終わらせ、食料安全保障と栄養改善を達成し、持続可能な農業を促進する
3	すべての人に健康と福祉を	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する
4	質の高い教育をみんなに	すべての人に包摂的かつ公平な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
5	ジェンダー平等を実現しよう	ジェンダー平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る
6	安全な水とトイレを世界中に	すべての人に水と衛生へのアクセスを確保し、持続可能な管理を推進する
7	エネルギーをみんなに そしてクリーンに	すべての人に安価で信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
8	働きがいも経済成長も	包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な雇用、働きがいのある仕事を促進する
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	強靱なインフラを整備し、持続可能な産業化を促進し、イノベーションを推進する
10	人や国の不平等をなくそう	国内および国家間の不平等を是正する
11	住み続けられるまちづくりを	包摂的、安全、強靱かつ持続可能な都市と人間居住を実現する
12	つくる責任 つかう責任	持続可能な消費と生産のパターンを確保する
13	気候変動に具体的な対策を	気候変動とその影響に対して緊急に行動する
14	海の豊かさを守ろう	持続可能な開発のために海洋と海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
15	陸の豊かさも守ろう	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用を促進し、森林の持続可能な管理、砂漠化の防止、生物多様性の損失を阻止する
16	平和と公正をすべての人に	持続可能な開発のために平和的で包摂的な社会を促進し、すべての人に司法へのアクセスを提供し、効果的で責任ある制度を構築する
17	パートナーシップで目標を達成しよう	実施手段を強化し、持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップを活性化する

(3) 第3期総合戦略の主な事業とSDGs目標との関連一覧

事業内容	SDGs目標															
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	貧困をなくそう	飢餓をゼロに	すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに	ジェンダー平等を実現しよう	安全な水とトイレを世界中に	エネルギーをみんなに そしてクリーンに	働きがいも経済成長も	産業と技術革新の基盤をつくろう	人や国の不平等をなくそう	住み続けられるまちづくりを	つくる責任 つかう責任	気候変動に具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさを守ろう	平和と公正をすべての人に
(1) 村・島の魅力発信								●			●					
(2) 暮らし体験ツアー								●			●					
(3) 移住検討者向けPR動画の作成・配信								●	●		●					
(4) 移住者向け支援										●	●					●
(5) 通院等支援事業	●		●							●	●					
(6) 公共交通の拡充									●		●					
(7) 健康推進事業			●								●					
(8) みつしま交流事業										●	●					
(9) U・Iターン向け住宅整備											●					
(10) 空き家の利活用促進事業											●					
(11) 自然体験学習				●							●			●	●	
(12) 村民・事業者向けGXセミナーの開催							●					●	●			
(13) サング保全・海浜環境保全事業											●					
(14) 省エネ・新エネの導入							●					●	●			
(15) 那覇支所の開設検討								●	●		●					
(16) 行政オンライン手続きの拡充											●					
(17) ふるさと納税の返礼品開発事業								●	●		●					
(18) 企業版ふるさと納税の強化											●					●
(19) 自主防災組織の設立											●		●			
(20) 避難所・避難経路の整備											●		●			
(21) 備蓄品の充実											●	●				
(22) 観光産業の持続的発展に向けた取り組み								●			●					
(23) 船舶手続きの利便性向上									●		●					
(24) 観光客向けアンケート調査								●			●					
(25) 観光客向け防災対策								●			●		●			
(26) 観光主要地・公共施設へのWi-Fi設置									●							

SDG s 目標 事業内容		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		貧困をなくそう	飢餓をゼロに	すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに	ジェンダー平等を実現しよう	安全な水とトイレを世界中に	エネルギーをみんなに そしてクリーンに	働きがいも経済成長も	産業と技術革新の基盤をつくろう	人や国の不平等をなくそう	住み続けられるまちづくりを	つくる責任 つかう責任	気候変動に具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさを守ろう	平和と公正をすべての人に	パートナーシップで目標を達成しよう
(27)	公共施設の指定管理移行											●	●				●	
(28)	就労ポータルサイトの構築、特定地域づくり事業協同組合制度の検討								●	●								
(29)	自然景観を感じる情報発信											●	●			●		
(30)	農地活用調査		●						●				●					
(31)	農地活用の促進		●							●			●			●		
(32)	販売所の整備		●						●	●		●	●					
(33)	地元産品の活用促進（地産地消）		●						●			●	●					
(34)	特産品開発事業		●						●	●		●	●					
(35)	農水産業基盤強化事業		●						●						●	●		
(36)	農水親連携による新たな産業の創出								●	●		●	●					
(37)	沖縄県と連携した医療環境整備			●						●		●						
(38)	妊産婦が集える場の設置			●		●					●	●						
(39)	出産祝い金事業	●		●		●						●						
(40)	阿嘉・慶留間での保育事業の実施			●	●	●						●						
(41)	預かり保育事業の実施			●	●	●						●						
(42)	SNSを活用した支援情報発信			●		●				●								
(43)	留学制度及び里親留学等への支援				●													
(44)	恒久平和の発信				●												●	●
(45)	外国人指導助手（ALT）配置事業				●													●
(46)	婦恋村交流事業				●							●						●
(47)	地域国際交流事業				●						●	●						●
(48)	小中学校教育活性化事業				●					●								
(49)	離島高校生支援事業	●			●						●							
(50)	スポーツ大会等派遣事業			●	●							●						
(51)	奨学金制度の活用促進				●				●		●							
(52)	地域人財育成事業				●				●			●						
(53)	生涯学習の充実				●						●							

6. PDCA サイクルに基づく継続的改善に向けた取組み

- (1) 基本的な考え方
- (2) 進行管理の実施方法
- (3) 考慮事項

2026 年 1 月以降に協議し作成予定

【事業管理シート作成案】

施策1	関係人口増加に向けた情報発信の推進				総合計画	4- (3)
事業(1)	村・島の魅力発信					
事業概要	デジタルコンテンツの活用を中心としたむらの魅力発信を行う。					
目的	座間味村と関わりのある方へむらの「魅力」発信による訴求を行うことで、関係人口増加を図る					
期間	2026年～2031年		担当課	総務課/船舶観光課	協力先	観光協会
年度別計画	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度
①企画、編集	●		●	●	●	●
②情報発信		●	●	●	●	●
③結果確認		●	●	●	●	●
④-						

項目	取り組み内容
①企画、編集	情報発信に必要な素材の選定及び編集作業を行います
②情報発信	各コンテンツを活用した発信を行います
③結果確認	閲覧数やコメントなどを確認し、情報発信の成果結果を確認します。
④-	

振返り	実績評価	上段（事業実績評価コメント「良かった点・反省点」）	下段（次年度課題）
2026年度	△		
2027年度			
2028年度			
2029年度			
2030年度			
2031年度			

※事業実績評価（◎計画通り達成し、かつ十分な実績があった ○達成できた △一部未達であった ✖できなかった）

資料編

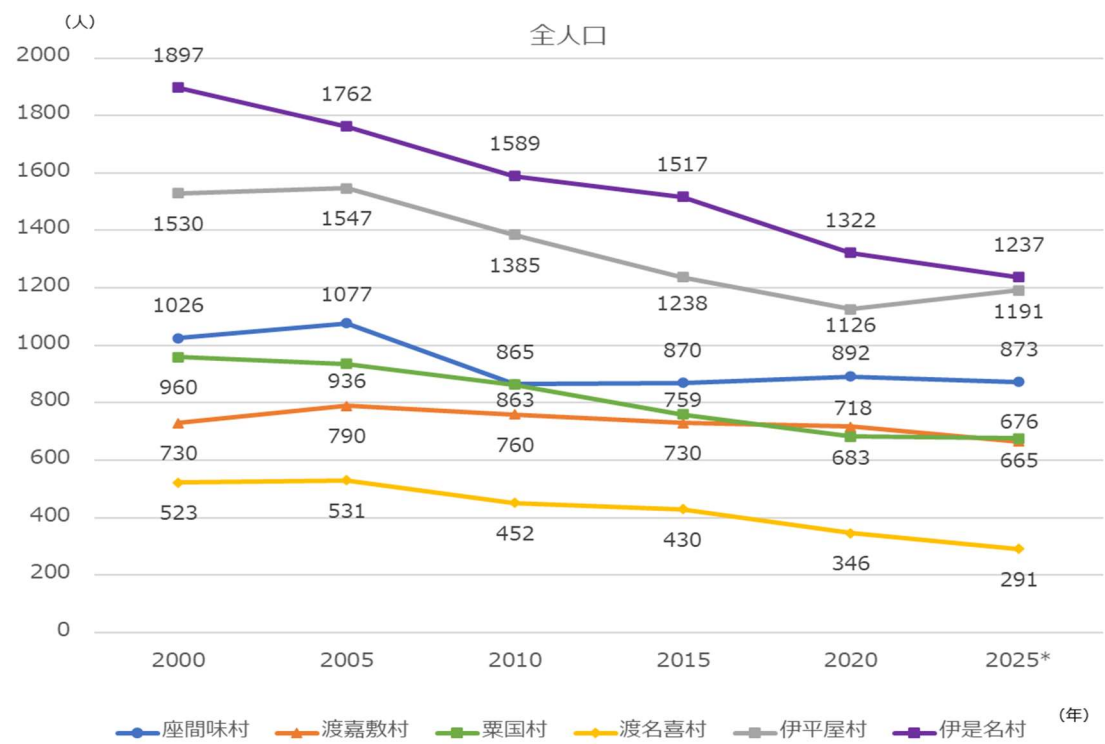
1. 人口推移調査資料（参考）

(1) 県内離島町村との人口推移比較

2000 年～2025 年までにおける、座間味村の近隣離島、及び人口規模の近い県内離島（※）の人口推移について比較を行った。座間味村、渡嘉敷村においては、人口減少率は他の離島と比較し緩やかではあるものの、全体では減少傾向が続いています。

※比較対象の選定については、座間味村から距離が近い離島、及び人口が近似している離島町村を選定し比較しています。

図 44：沖縄県内の他離島町村との人口推移比較（全人口）

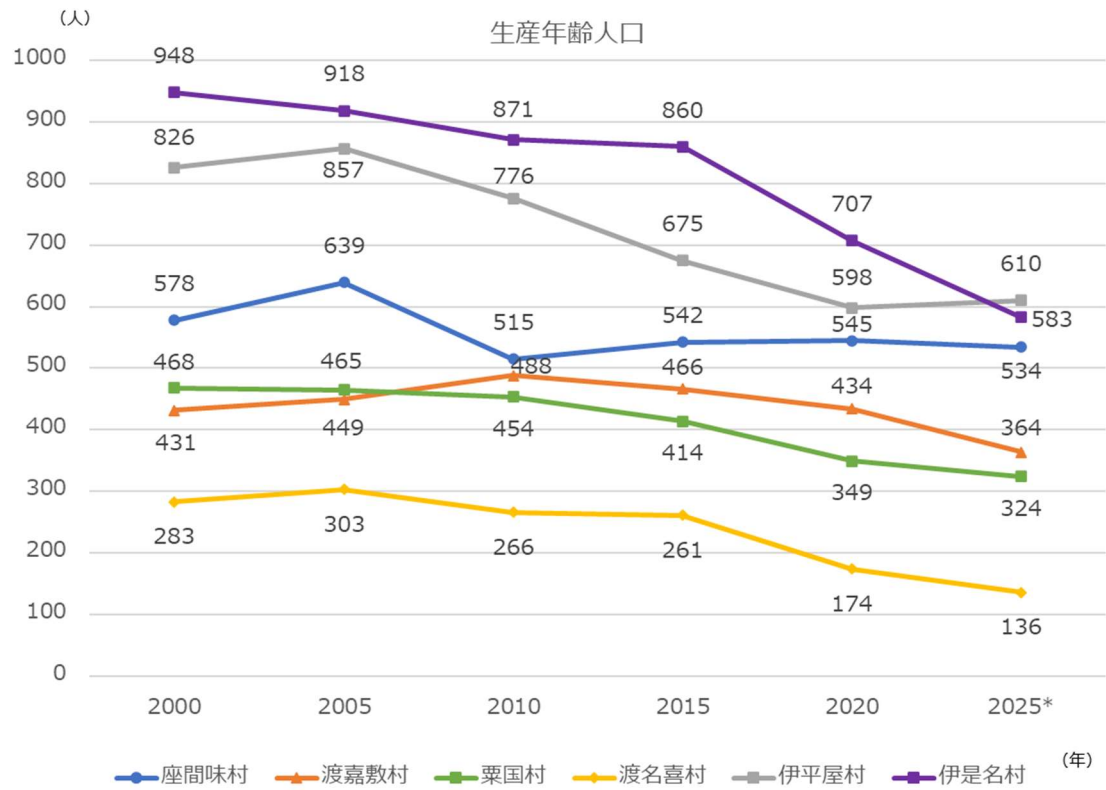


(人) \ (年)	2000	2005	2010	2015	2020	2025*
座間味村	1026	1077	865	870	892	873
渡嘉敷村	730	790	760	730	718	665
粟国村	960	936	863	759	683	676
渡名喜村	523	531	452	430	346	291
伊平屋村	1530	1547	1385	1238	1126	1191
伊是名村	1897	1762	1589	1517	1322	1237

資料：国立社会保障・人口問題研究所及び、沖縄県統計データより作成

*2025 年の人口については、沖縄県(2025)「2025.1 月現在階級別人口」より記載。

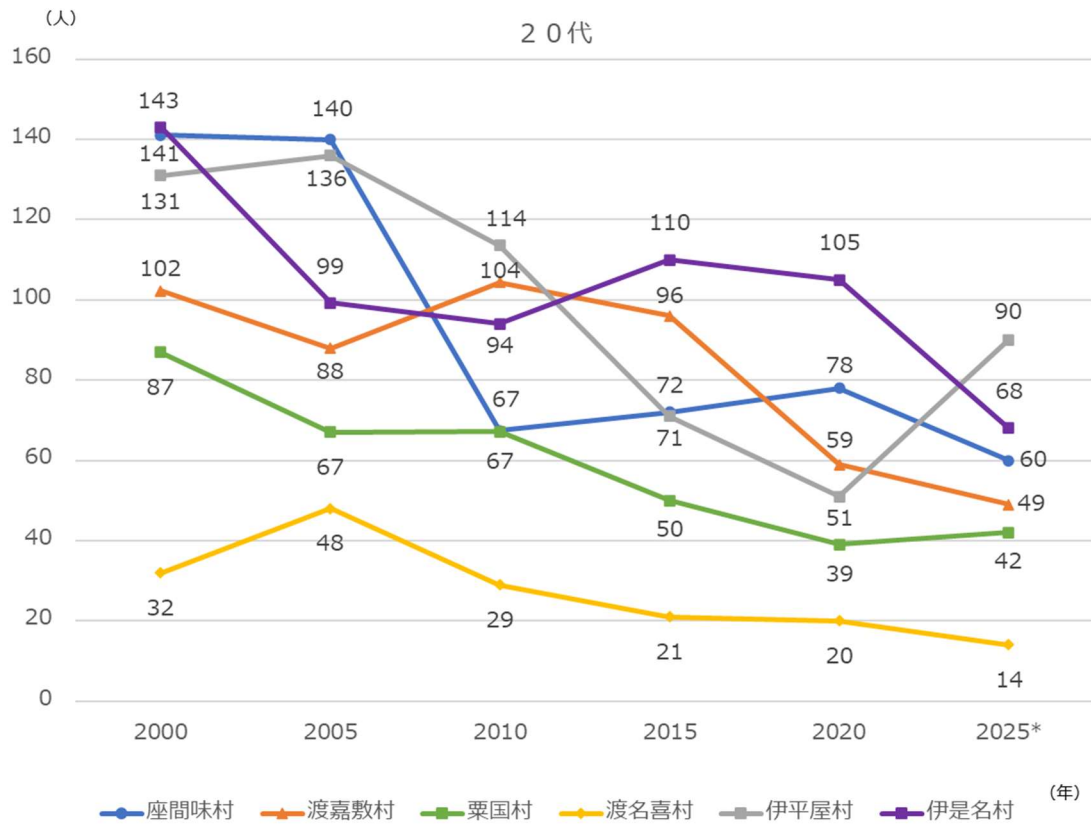
図 45：沖縄県内の他離島町村との人口推移比較（生産年齢人口）



(人) \ (年)	2000	2005	2010	2015	2020	2025*
座間味村	578	639	515	542	545	534
渡嘉敷村	431	449	488	466	434	364
粟国村	468	465	454	414	349	324
渡名喜村	283	303	266	261	174	136
伊平屋村	826	857	776	675	598	610
伊是名村	948	918	871	860	707	583

資料：国立社会保障・人口問題研究所及び、沖縄県統計データより作成

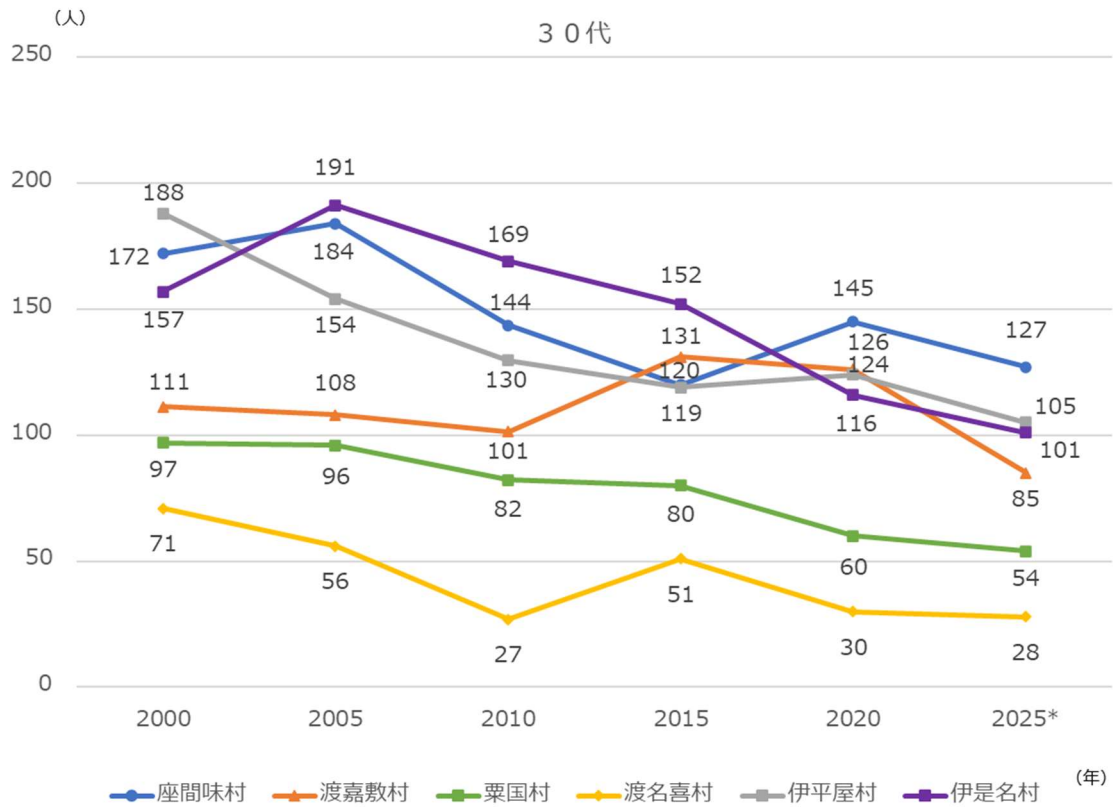
図 46：沖縄県内の他離島町村との人口推移比較（20 代）



(人) \ (年)	2000	2005	2010	2015	2020	2025*
座間味村	141	140	67	72	78	60
渡嘉敷村	102	88	104	96	59	49
粟国村	87	67	67	50	39	42
渡名喜村	32	48	29	21	20	14
伊平屋村	131	136	114	71	51	90
伊是名村	143	99	94	110	105	68

資料：国立社会保障・人口問題研究所及び、沖縄県統計データより作成

図 47：沖縄県内の他離島町村との人口推移比較（30 代）



(人) \ (年)	2000	2005	2010	2015	2020	2025*
座間味村	172	184	144	120	145	127
渡嘉敷村	111	108	101	131	126	85
粟国村	97	96	82	80	60	54
渡名喜村	71	56	27	51	30	28
伊平屋村	188	154	130	119	124	105
伊是名村	157	191	169	152	116	101

資料：国立社会保障・人口問題研究所及び、沖縄県統計データより作成

2. アンケート調査

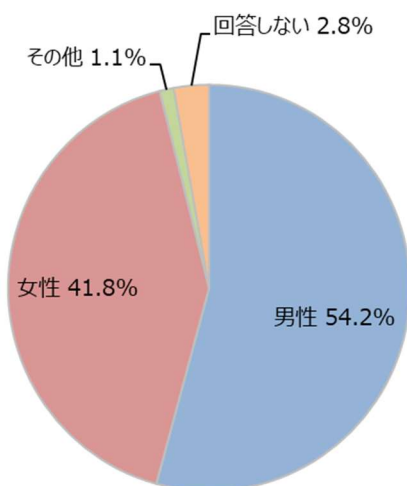
(1) アンケート調査の概要

調査期間	2025 年 8 月 25 日（月）～9 月 19 日（金）
調査対象	①村内居住者（16 歳以上の方） ②村出身者（村外居住者） ③中学生
調査方法	郵送による調査票の配布 郵送またはインターネットによる回答
回収状況	配布件数：456 件 有効回答件数：177 件 回答率：38.8% ※中学生 16 件は除く回答数を記載

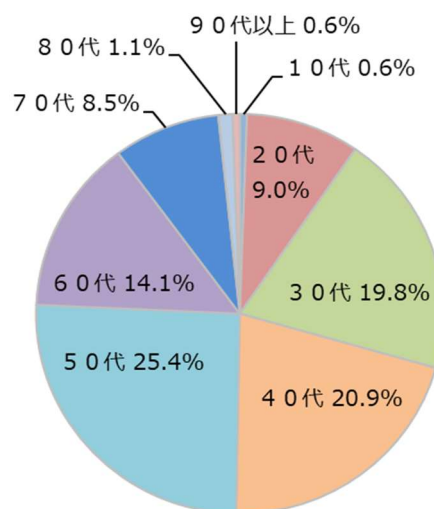
(2) アンケート結果（村民「中学生除く」）

① 基本属性

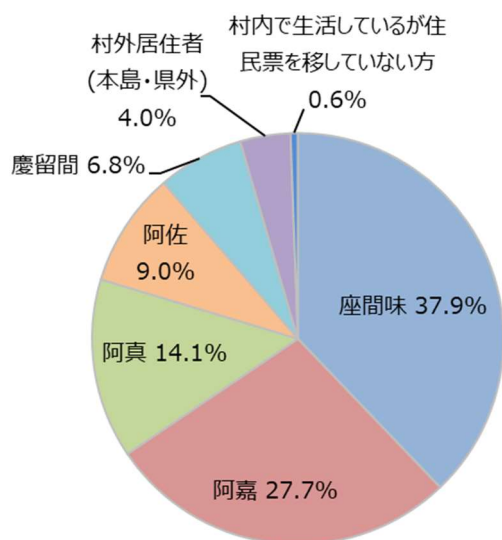
〔年齢（n=177）〕



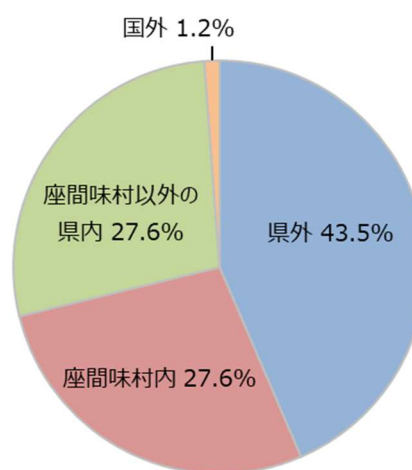
〔性別（n=177）〕



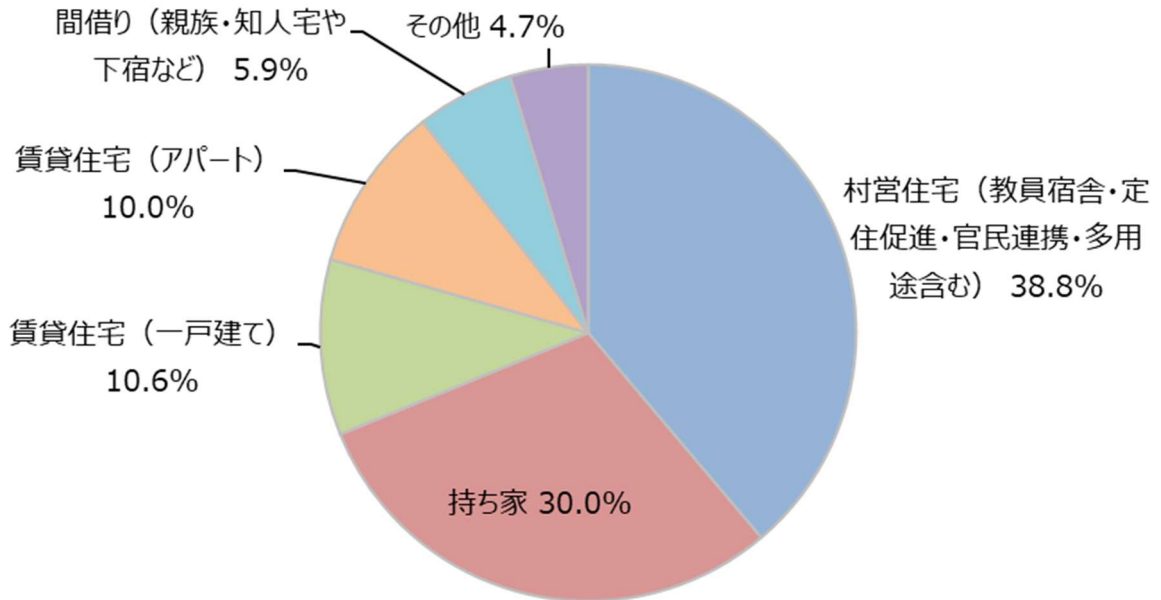
〔お住まいになっている地区（n=177）〕



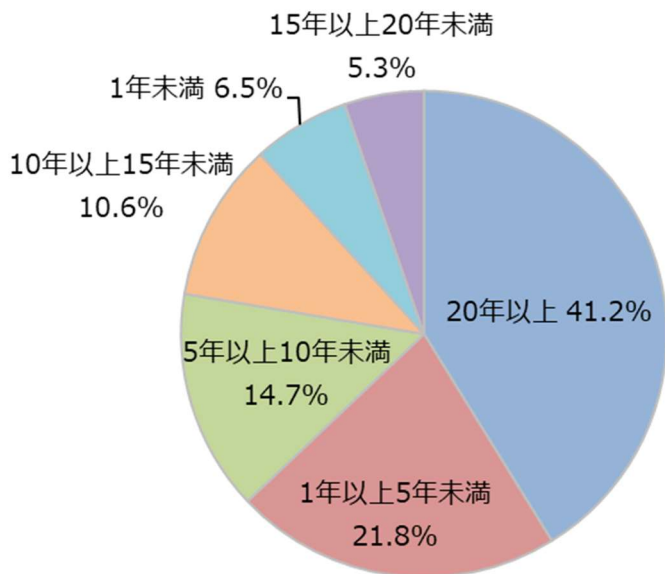
〔村内居住者の出身地（n=170）〕



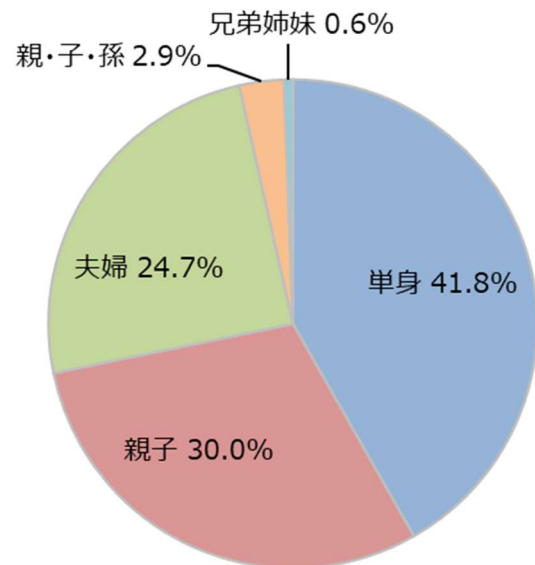
〔お住まいの居住形態（n＝170）〕



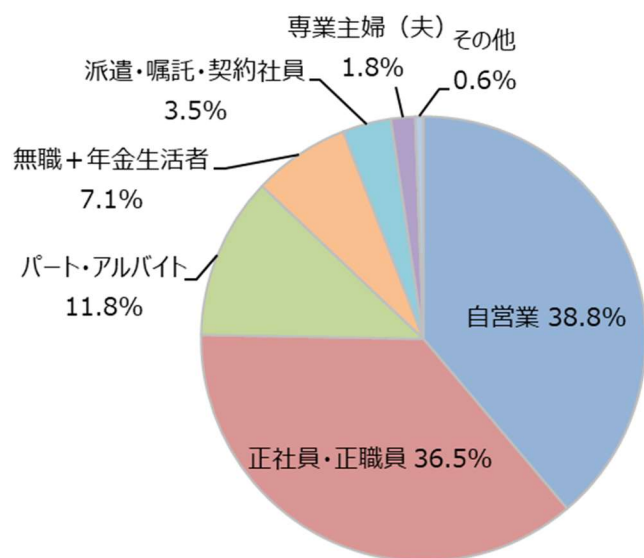
〔座間味村における居住年数（n＝170）〕



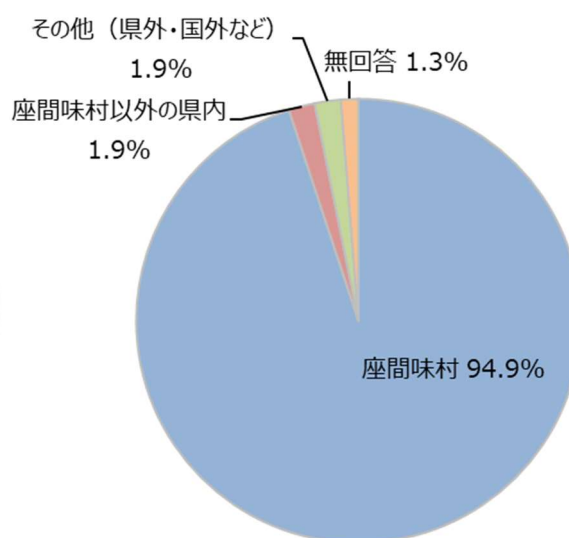
〔家族構成（同居形態）（n＝170）〕



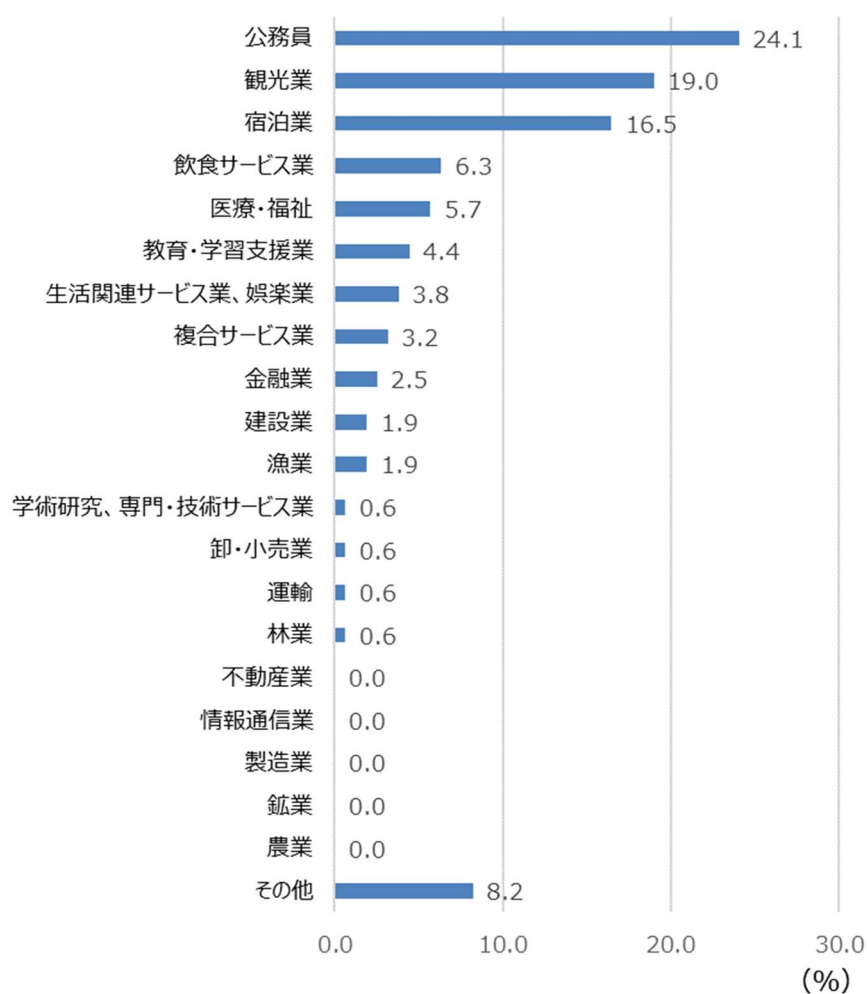
〔お勤め状況（n＝170）〕



〔お勤め先の所在地（n＝158）〕



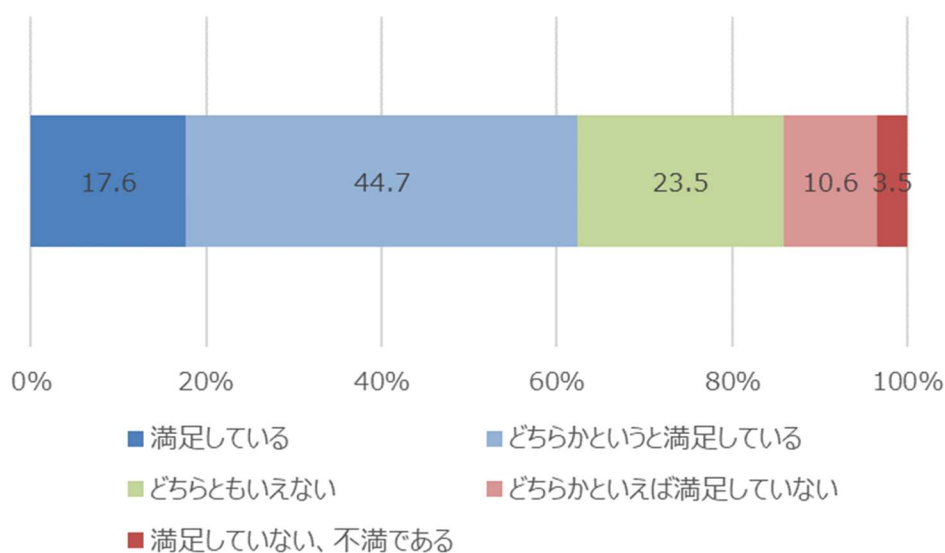
〔お勤めの業種（n＝158）〕



② 座間味村の生活について

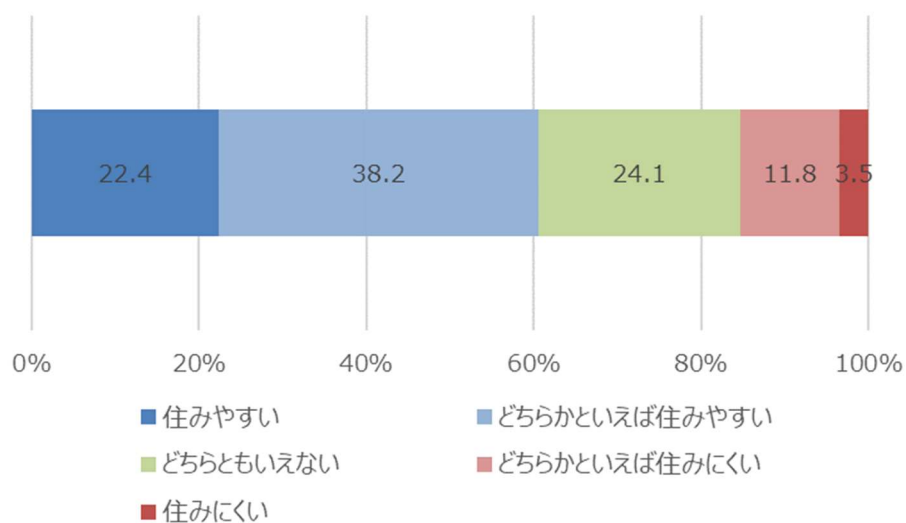
座間味村での生活に対する満足度について、満足している（満足している＋どちらかという満足している）と回答した割合が約6割（62.3%）を占めています。

〔座間味村での生活に対する満足度（n＝170）〕



“あなたは、座間味村は住みやすいところだと感じていますか。”という設問について、住みやすい（住みやすい＋どちらかといえば住みやすい）と回答した割合は、全体の約6割（60.6%）となっています。

〔住みやすさに対する評価（n＝170）〕



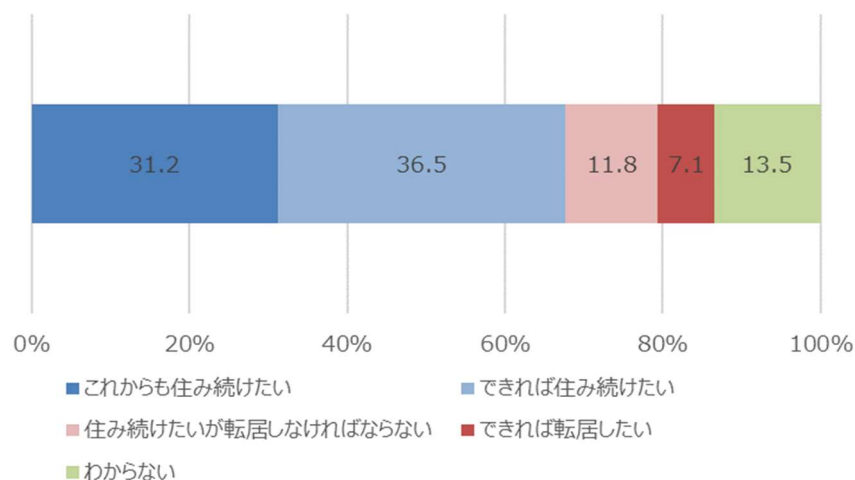
地区別にみると、【阿嘉】・【慶留間】では、住みやすい（住みやすい＋どちらかといえば住みやすい）との回答割合が高くなっています。一方、【座間味】では、他地区と比較して住みにくい（住みにくい＋どちらかといえば住みにくい）との回答が多くなっています。

〔お住まいの地区×住みやすさに対する評価（n＝170）〕

[ランキング]	全体		住みやすい		どちらかとい えば住 みやすい		どちらともい えない		どちらかとい えば住 みにくい		住みにくい	
● 1位 ● 2位 ● 3位												
全体	(170)	●	38	●	65	●	41		20			6
阿嘉	(49)	●	12	●	23	●	13		1			0
阿佐	(16)	●	6	●	4	●	3	●	3			0
阿真	(25)	●	8	●	8	●	7	●	2			0
慶留間	(12)	●	4	●	3	●	5		0			0
座間味	(67)		8	●	26	●	13	●	14			6
村内で生活しているが住民票を 移していない方	(1)		0		1		0		0			0

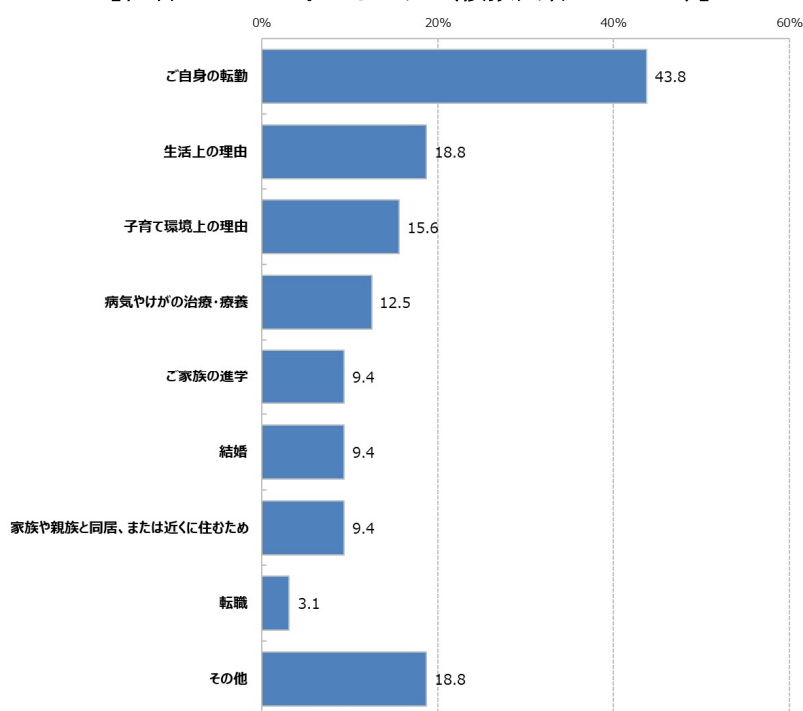
“あなたは、今後も座間味村で住みたいですか。”という設問では、住みたい（これからも住みたい＋できれば住みたい）と回答した割合が67.7%を占めています。一方、転居したい（住みたいが転居しなければならない＋できれば転居したい）と回答した割合は18.9%となっています。

〔今後の居住意向（n=170）〕



転居したい（住みたいが転居しなければならない＋できれば転居したい）と回答した理由として、【ご自身の転勤】が最も回答の多い結果となりました。次に、【生活上の理由】、【子育て環境上の理由】と続いています。

〔転居したいと考える理由（複数回答 n=32）〕



今後の居住意向について居住年数別にみると、全体として住みたい（これから住みたい＋できれば住みたい）との回答が多く見られます。一方、居住年数が少ない【1年未満】や【1年以上5年未満】においては、転居したい（住みたいが転居しなければならない＋できれば転居したい）との回答が多くなっています。

〔居住年数×今後の居住意向（n＝170）〕

[ランキング] ● 1位 ● 2位 ● 3位	全体	これから住みたい		できれば住みたい		住みたいが転居しなければならない		できれば転居したい		わからない	
全体	(170)	●	53	●	62		20		12	●	23
1年未満	(11)	●	1	●	3	●	6		0	●	1
1年以上5年未満	(37)	●	6	●	12	●	8		5	●	6
5年以上10年未満	(25)	●	8	●	8	●	3		2	●	4
10年以上15年未満	(18)	●	4	●	10		1	●	2		1
15年以上20年未満	(9)		4		2		1		1		1
20年以上	(70)	●	30	●	27		1		2	●	10

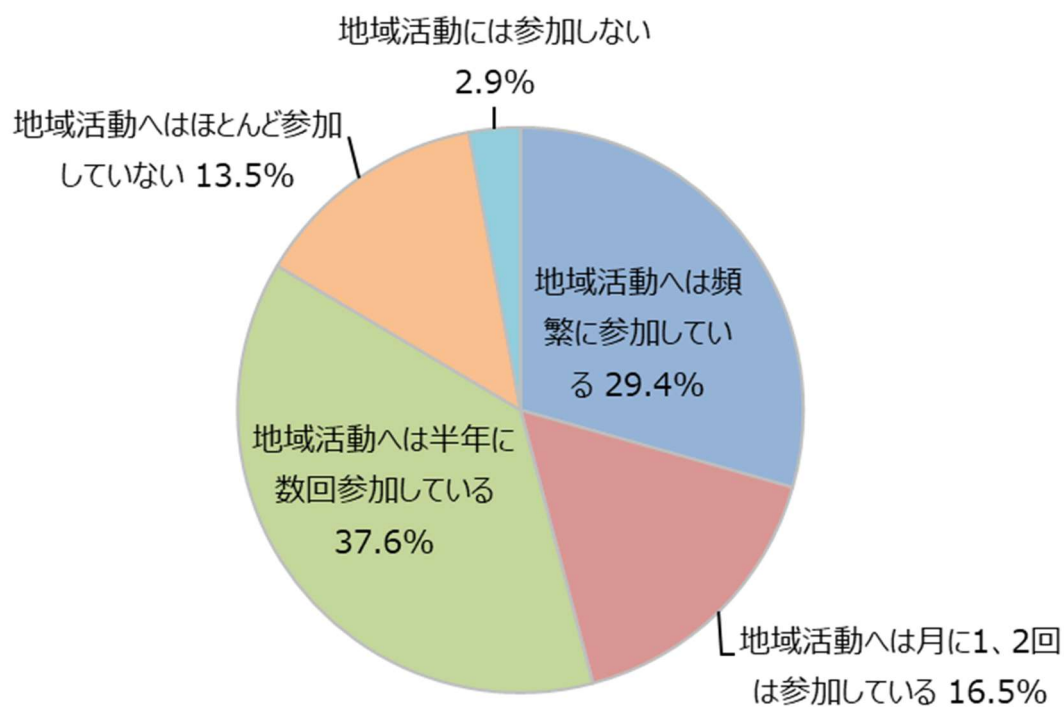
地区別にみると、【座間味】では、他地区と比較して【できれば転居したい】との回答が多く見られました。

〔お住まいの地区×今後の居住意向（n＝170）〕

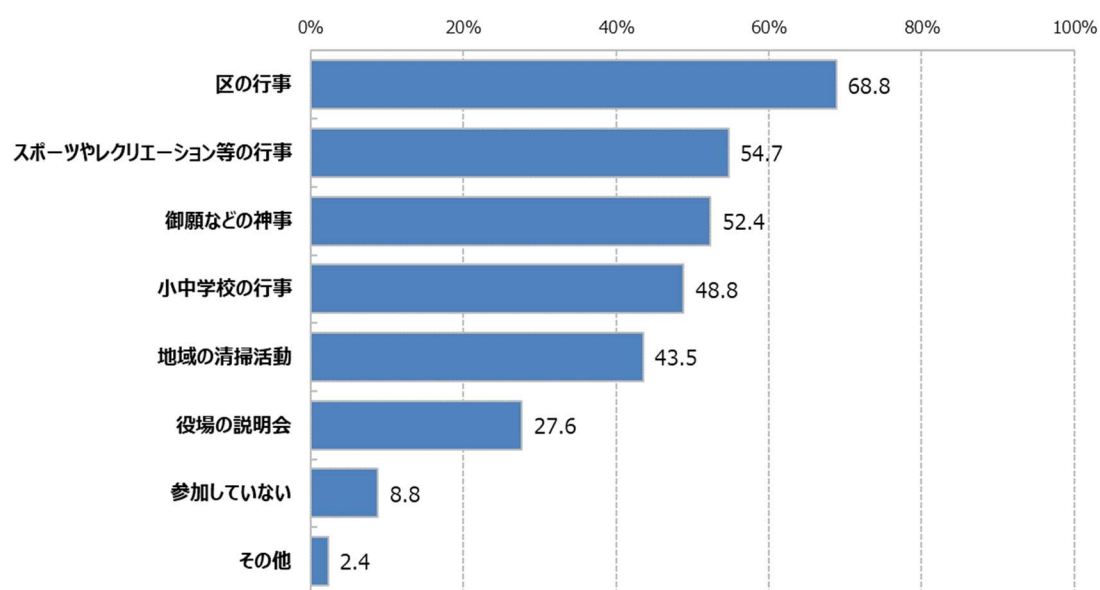
[ランキング] ● 1位 ● 2位 ● 3位	全体	これから住みたい		できれば住みたい		住みたいが転居しなければならない		できれば転居したい		わからない	
全体	(170)	●	53	●	62		20		12	●	23
阿嘉	(49)	●	16	●	21	●	6		1		5
阿佐	(16)	●	8	●	4		1		1	●	2
阿真	(25)	●	9	●	8		3		1	●	4
慶留間	(12)	●	4	●	3	●	4		0	●	1
座間味	(67)	●	16	●	26		6		9	●	10
村内で生活しているが住民票を移していない方	(1)		0		0		0		0		1
村外居住者（本島・県外）	(0)		0		0		0		0		0

地域活動への参加について、参加していると回答した割合は 83.5 となり、区やレクリエーション等の参加が多く、地域コミュニティの魅力の高さがうかがえます。

〔地域活動への参加頻度（n = 170）〕



〔参加している地域活動の内容（複数回答 n = 170）〕



居住年数が比較的長い【阿嘉】においては、地域活動への参加頻度が高い傾向にあります。【座間味】では、他地区と比較して地域活動への参加頻度が低くなっています。

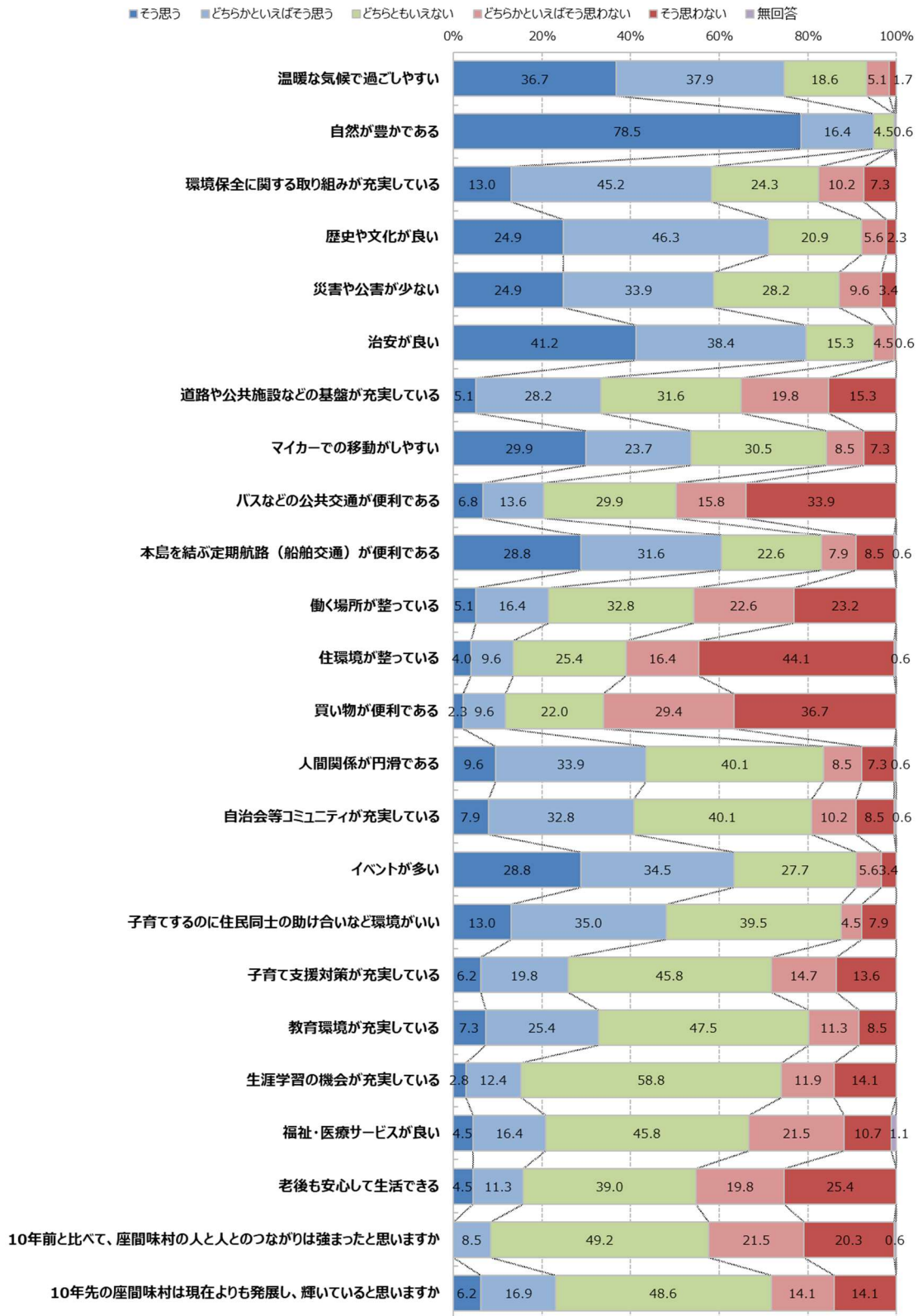
[お住まいの地区×居住年数 (n=170)]

[ランキング] ● 1位 ● 2位 ● 3位	全体	1年未満	1年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上
	(170)	11 ●	37 ●	25	18	9 ●	70
全体	(170)	11 ●	37 ●	25	18	9 ●	70
阿嘉	(49)	● 3	● 6	● 3	6	● 1	30
阿佐	(16)	0 ●	3 ●	4 ●	3	0 ●	6
阿真	(25)	3 ●	9 ●	4	0	1 ●	8
慶留間	(12)	● 3	● 3	● 3	● 1	● 1	1
座間味	(67)	2 ●	16 ●	10	8	6 ●	25
村内で生活しているが住民票を移していない方	(1)	0	0	1	0	0	0

[お住まいの地区×地域活動への参加頻度 (n=170)]

[ランキング] ● 1位 ● 2位 ● 3位	全体	地域活動へは頻繁に参加している	地域活動へは月に1、2回は参加している	地域活動へは半年に数回参加している	地域活動へはほとんど参加していない	地域活動には参加しない
	(170)	● 50	● 28	● 64	23	5
全体	(170)	● 50	● 28	● 64	23	5
阿嘉	(49)	● 23	● 7	● 15	4	0
阿佐	(16)	● 4	0	● 10	● 2	0
阿真	(25)	● 5	● 7	● 9	3	1
慶留間	(12)	● 4	● 6	● 2	0	0
座間味	(67)	● 14	8	● 28	● 13	4
村内で生活しているが住民票を移していない方	(1)	0	0	0	1	0

[座間味村の現状についてどう感じているか (n=177)]



座間味村の現状についてどう感じているか(p67)の設問では、そう思う(そう思う+どちらかといえばそう思う)と回答した割合が最も高かった項目は【自然が豊かである(94.9%)】であり、次に【治安が良い(79.6%)】、【温暖な気候で過ごしやすい(74.6%)】と続いています。

一方、そう思わない(そう思わない+どちらかといえばそう思わない)と回答した割合が高かった項目は、高い順から【買い物が便利である(66.1%)】、【住環境が整っている(60.5%)】、【バスなどの公共交通が便利である(49.7%)】となっています。

また、これら項目について地区別にみると、【買い物が便利である】、【住環境が整っている】の項目については全地区において否定的な意見が窺えます。【バスなどの公共交通が便利である】、【道路や公共施設などの基盤が充実している】の項目では、【阿嘉】・【慶留間】地区においてそう思わないとの回答が多く見られます。

【お住まいの地区×座間味村の現状についてどう感じているか

【バスなどの公共交通が便利である】(n=177)

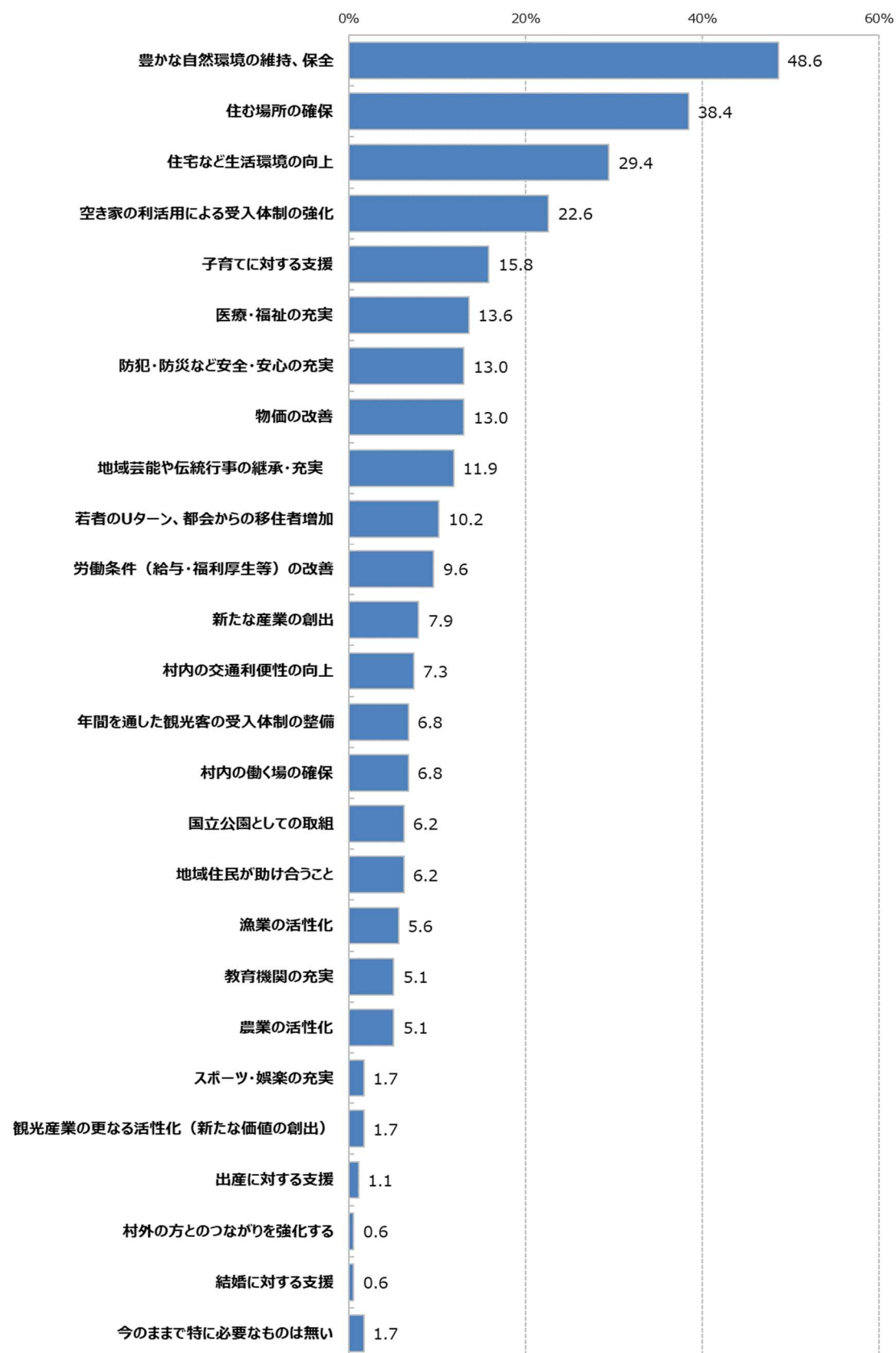
[ランキング]		全体	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらともい えない	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わ ない		
● 1位									
● 2位									
● 3位									
全体	(177)	12	24	●	53	●	28	●	60
阿嘉	(49)	0	2	●	12	●	8	●	27
阿佐	(16)	●	3	1	●	7	●	2	●
阿真	(25)	●	5	●	4	●	9	●	2
慶留間	(12)	●	1	0	●	1	●	2	●
座間味	(67)	3	●	16	●	23	10	●	15
村内で生活しているが住民票を移していない方	(1)	0	0	0	0	0	0	1	
村外居住者(本島・県外)	(7)	0	1	1	1	1	1	4	

【お住まいの地区×座間味村の現状についてどう感じているか

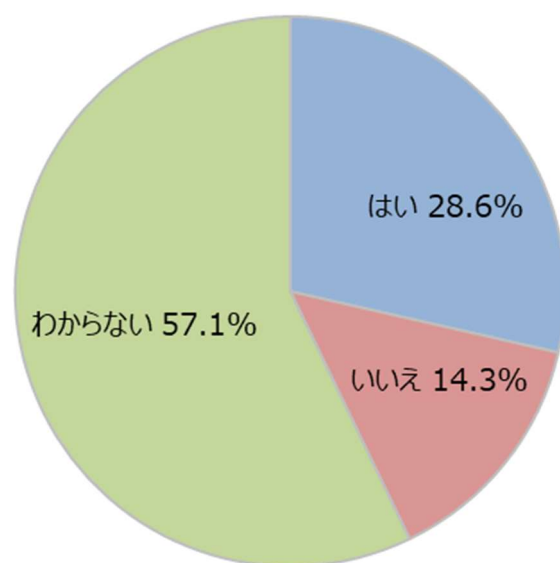
【道路や公共施設などの基盤が充実している】(n=177)

[ランキング]		全体	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらともい えない	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わ ない		
● 1位									
● 2位									
● 3位									
全体	(177)	9	●	50	●	56	●	35	27
阿嘉	(49)	2	8	●	18	●	12	●	9
阿佐	(16)	2	●	3	●	5	2	●	4
阿真	(25)	2	●	10	●	9	3	1	
慶留間	(12)	1	●	6	●	3	2	0	
座間味	(67)	2	●	21	●	18	15	11	
村内で生活しているが住民票を移していない方	(1)	0	0	1	0	0	0		
村外居住者(本島・県外)	(7)	0	2	2	1	2	2		

[座間味村で暮らすために特に必要なこと（「最大3つを選択」複数回答 n = 177）]



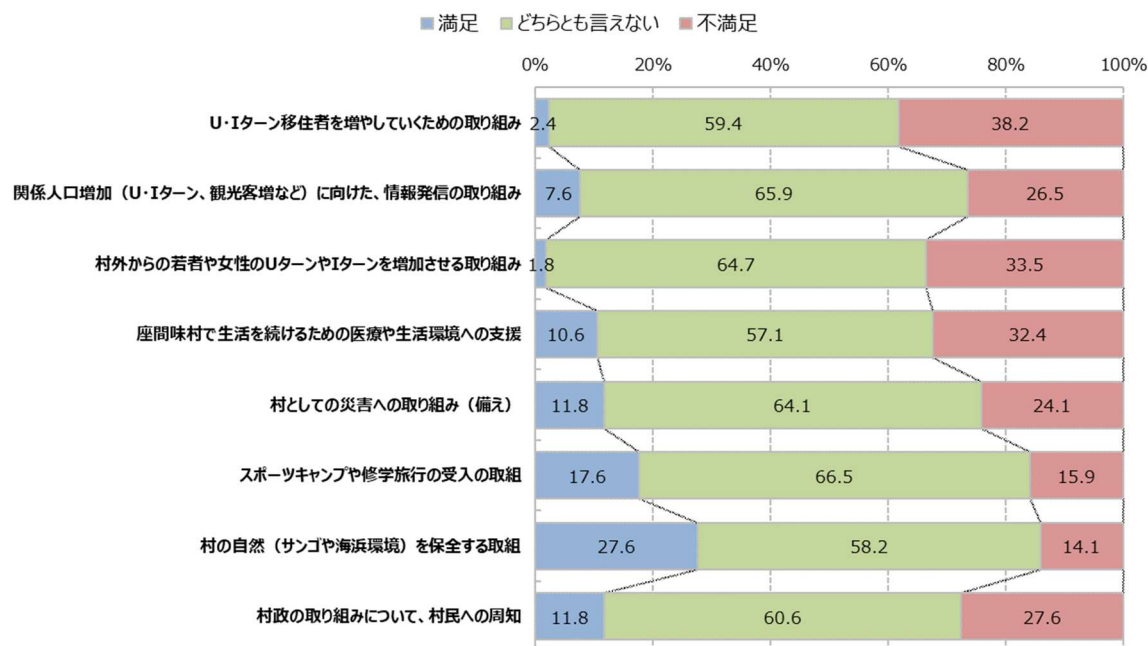
[[【参考】 座間味村へ戻り、生活したいと思うか（村外居住者のみ）（n=7）]]



③ むらづくり（むら・ひと・しごと）の取組に対する満足度・重要度

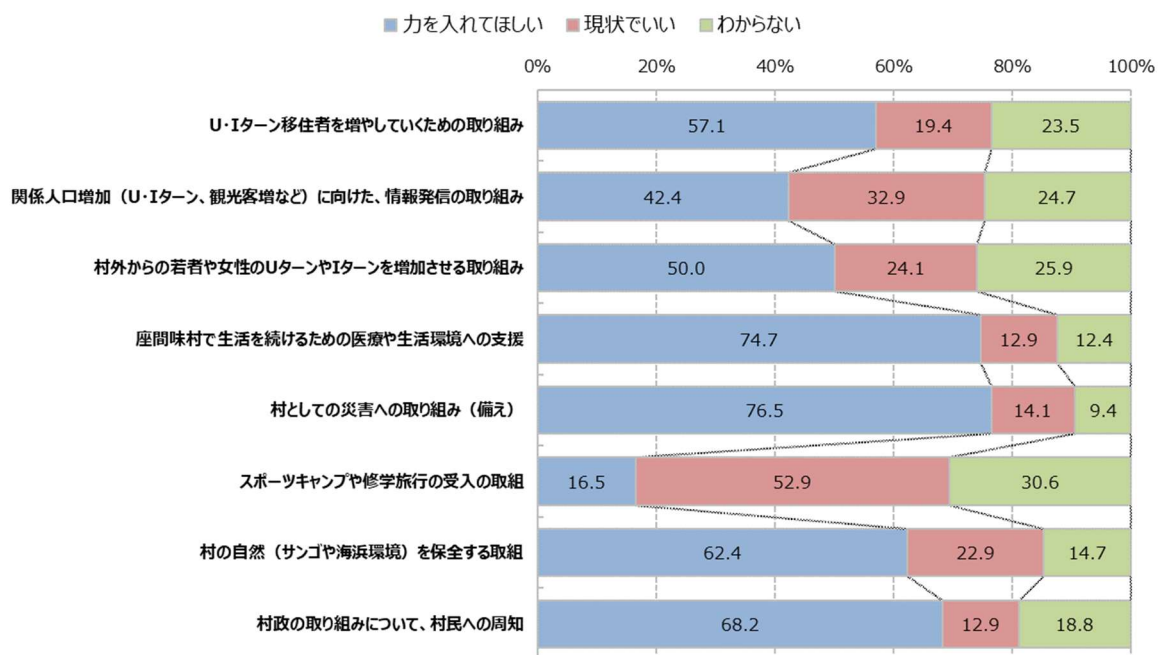
「むら」（U・I ターン促進や暮らしの支援等）に関する取組では、【U・I ターン移住者を増やしていくための取組（38.2%）】の項目において不満足という回答割合が高くなっています。次いで、【村外からの若者や女性のUターンやIターンを増加させる取組（33.5%）】、【座間味村で生活するための医療や生活環境への支援（32.4%）】などの項目で満足度が低い結果となりました。

〔「むらづくり」の取組状況に関する満足度（n＝170）〕



「むらづくり」に関する取組の重要度について、「力を入れてほしい」と回答した割合が最も高い項目は【村としての災害への取組（76.5%）】となっており、次いで【座間味村で生活するための医療や生活環境への支援（74.7%）】、【村政の取組について、村民への周知（68.2%）】などと続いています。

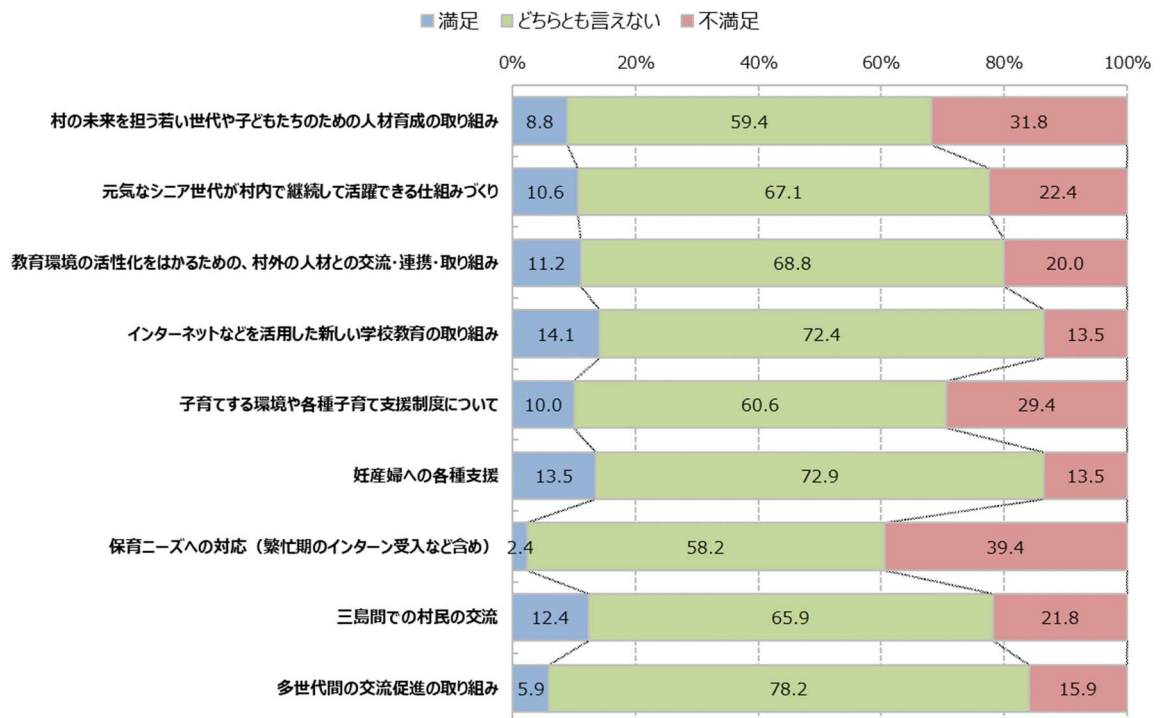
「むらづくり」の取組状況に関する重要度（n=170）



④ ひと（子育て・教育等）の取組に対する満足度・重要度

「ひと」（子育てや教育等）に関する取組では、【保育ニーズへの対応（繁忙期のインターン受入など含め）（39.4%）】の項目において、不満足という回答割合が高くなっています。次に、【村の未来を担う若い世代や子どもたちのための人材育成の取組（31.8%）】、【子育てする環境や各種子育て支援制度について（29.4%）】と続いています。

「ひと」の取組状況に関する満足度（n=170）



【保育ニーズへの対応（繁忙期のインターン受入など含め）】の項目（満足度）について地区別にみると、【座間味】において不満足との回答割合が高くなっています。

〔地区×「ひと」の取組状況に関する満足度（保育ニーズへの対応）（n=170）〕

[ランキング] ● 1位 ● 2位 ● 3位	全体	満足		どちらとも言えない		不満足	
全体	(170)	●	4	●	99	●	67
阿嘉	(49)	●	2	●	35	●	12
阿佐	(16)		0	●	10	●	6
阿真	(25)	●	1	●	16	●	8
慶留間	(12)		0	●	8	●	4
座間味	(67)	●	1	●	29	●	37
村内で生活しているが住民票を移していない方	(1)		0		1		0

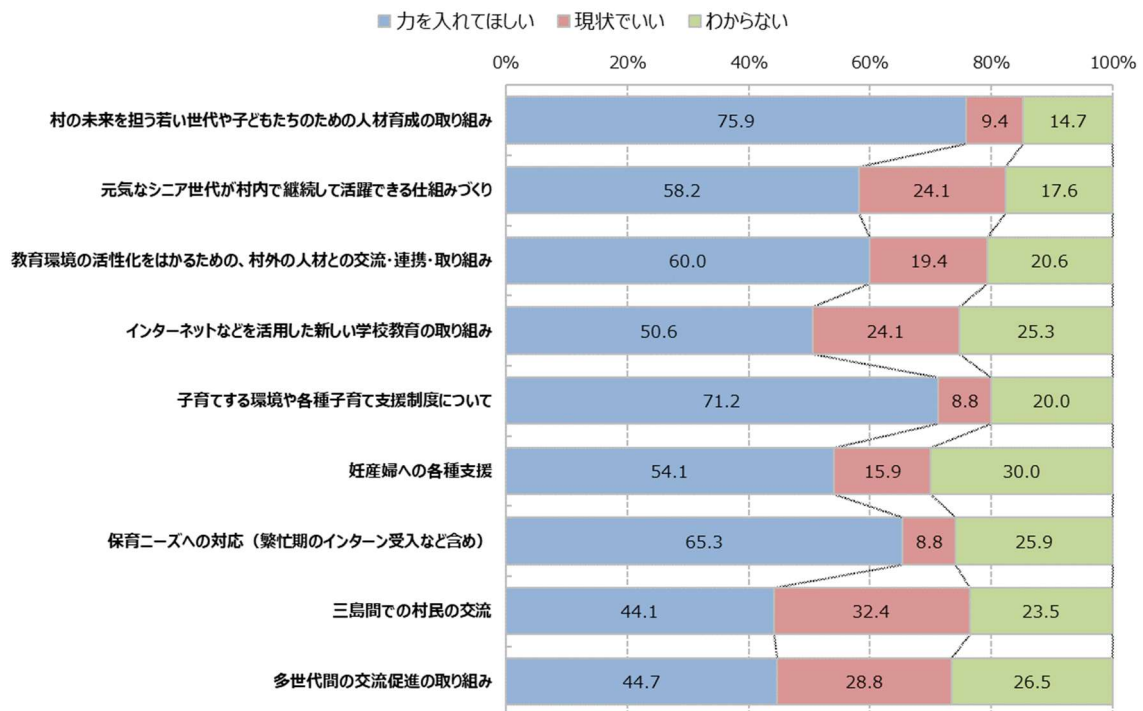
また、【保育ニーズへの対応】の項目（満足度）について年代別にみると、【30代】や【40代】において不満足と回答した割合が高くなっています。

〔年代×「ひと」の取組状況に関する満足度（保育ニーズへの対応）（n=170）〕

	全体	満足		どちらとも言えない		不満足	
全体	(170)	●	4	●	99	●	67
10代	(0)		0		0		0
20代	(16)	●	2	●	9	●	5
30代	(35)	●	1	●	13	●	21
40代	(36)		0	●	16	●	20
50代	(41)	●	1	●	25	●	15
60代	(24)		0	●	18	●	6
70代	(15)		0	●	15		0
80代	(2)		0		2		0
90代以上	(1)		0		1		0

「ひと」に関する取組の重要度について、「力を入れてほしい」と回答した割合が最も高い項目は村の未来を担う若い世代や子どもたちのための人材育成の取組（75.9%）】となっており、次いで【子育てする環境や各種子育て支援制度について（71.2%）】、【保育ニーズへの対応（繁忙期のインターン受入など含め）（65.3%）】などと続いています。

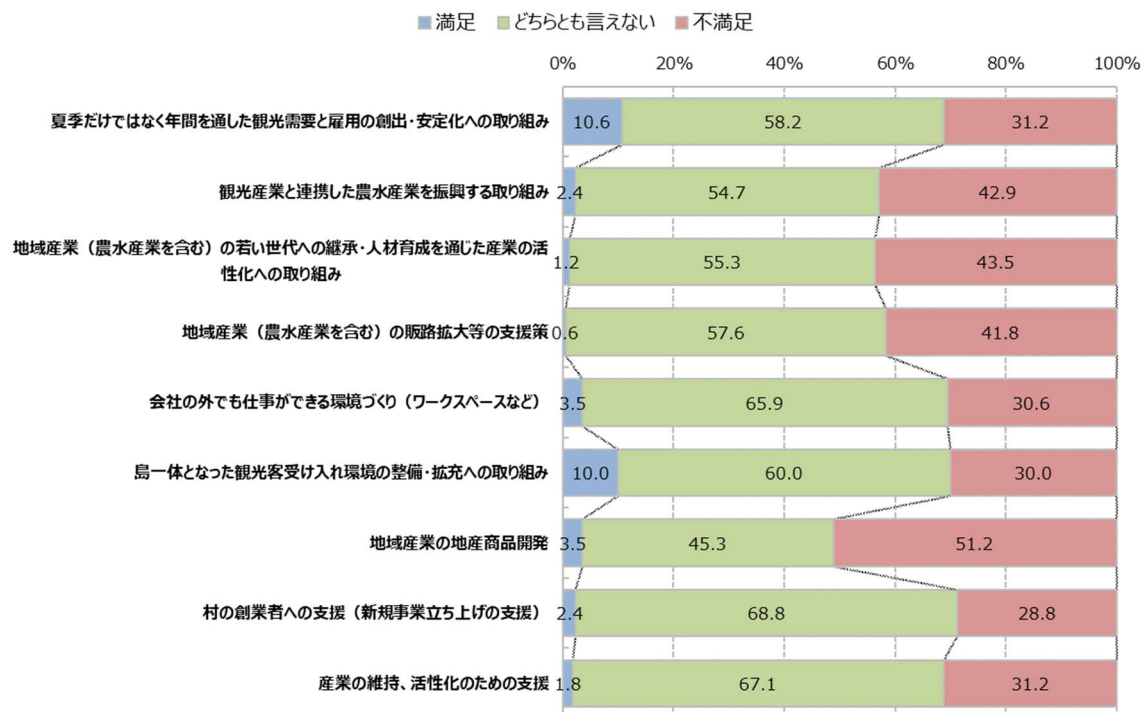
【「ひと」の取組状況に関する重要度（n=170）】



⑤ しごと（産業振興・人材育成等）の取組に対する満足度・重要度

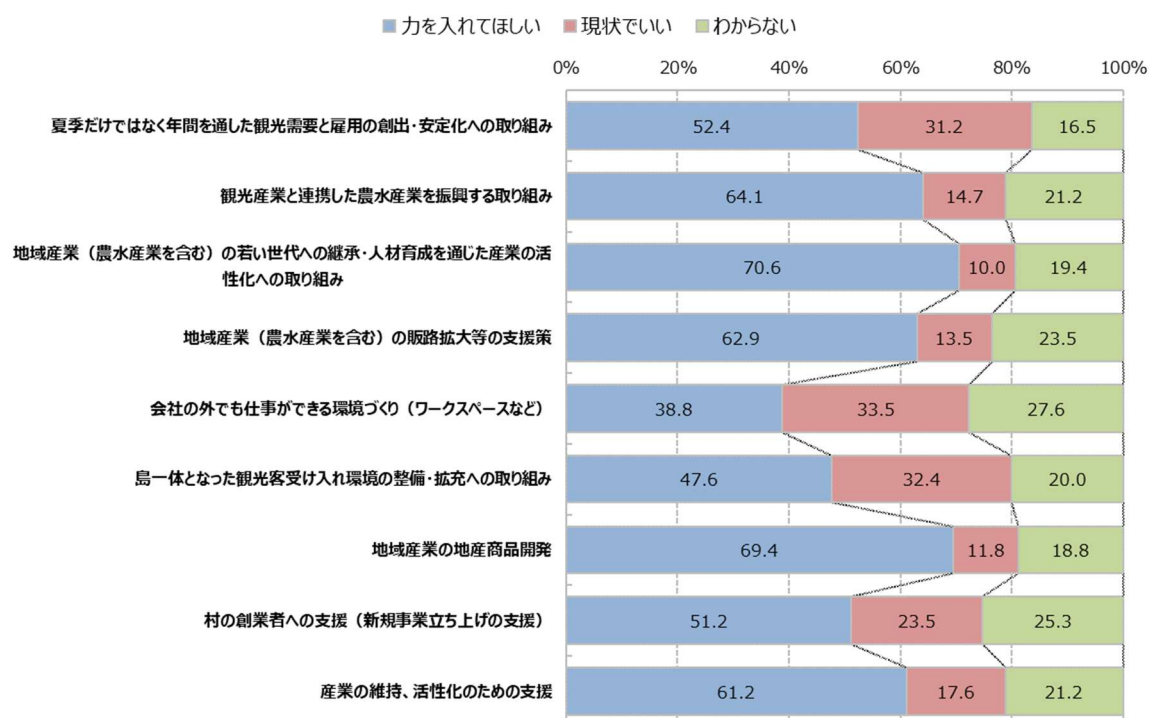
「しごと」（産業振興や産業人材育成等）に関する取組では、「むら」や「ひと」の取組と比較して、全体的に多くの項目で満足度が低い（不満足と回答した割合が高い）結果となりました。不満足という回答割合が最も高かった項目は【地域産業の地産商品開発（51.2%）】であり、次いで【地域産業（農水産業を含む）の若い世代への継承・人材育成を通じた産業の活性化への取組（43.5%）】、【観光産業と連携した農水産業を振興する取組（42.9%）】と続いています。

「しごと」の取組状況に関する満足度（n=170）



「しごと」に関する取組の重要度について、「力を入れてほしい」という回答割合が最も高かった項目は【地域産業（農水産業を含む）の若い世代への継承・人材育成を通じた産業の活性化への取組（70.6%）】であり、次に【地域産業の地産商品開発（69.4%）】、【観光産業と連携した農水産業を進行する取組（64.1%）】などと続いています。

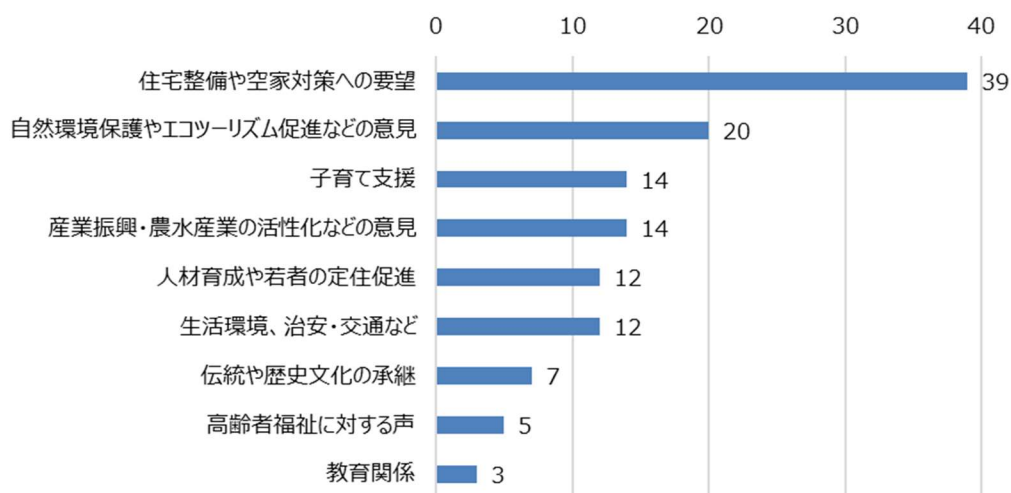
「しごと」の取組状況に関する重要度（n=170）



⑥ 主な自由意見の集計

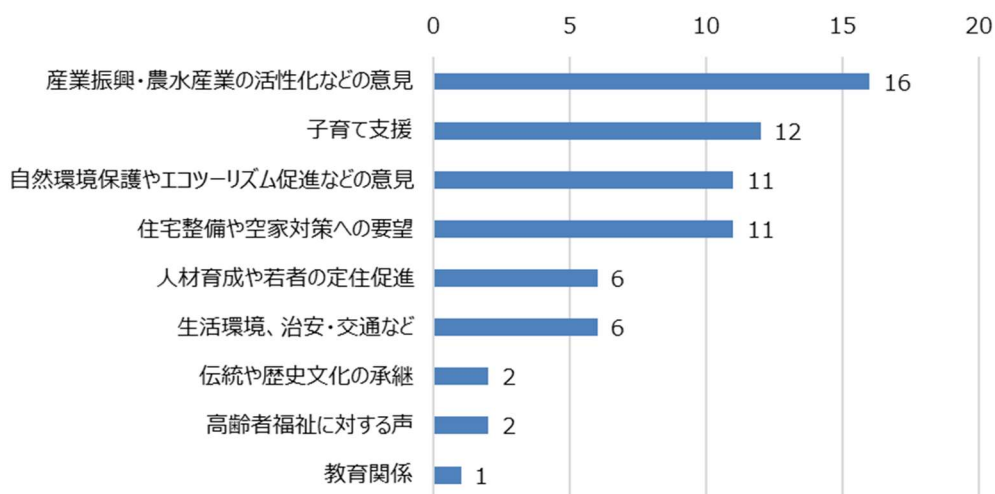
座間味村で暮らすために必要と考える具体的な取り組みについて、ご意見・ご要望等の自由意見を募った結果、【住宅整備や空き家対策への要望（39件）】についての回答が最も多く見られ、次に【自然環境保護やエコツーリズム促進などの意見（20件）】、【子育て支援（14件）】・【産業振興・農水産業の活性化などの意見（14件）】などの回答が続いています。

〔座間味村で暮らすために必要と考える、具体的な取り組みのご意見・要望等〕



座間味村のむらづくり（施策）に関する自由意見を募った結果、件数が多い順から【産業振興・農水産業の活性化などの意見（16件）】、【子育て支援（12件）】、【自然環境保護やエコツーリズム促進などの意見（11件）】、【住宅整備や空き家対策への要望（11件）】となっています。

〔座間味村のむらづくりに関するご意見・要望等〕



[座間味村で暮らすために必要と考える、具体的な取り組みのご意見・要望等（自由回答）]

30代	男性	<p>預かり保育が不安定で、子供を預けられない日があり安心して働けない状態。子どもは放置状態で、安全面も不安。働きながら子育てできる環境を整えるためにも、人員の確保のための待遇面の向上が必要だと思います。マリン業が金銭面で有利で、公務には魅力を感じていない方が多いし、実際に公務に就くために座間味に移住してくる人はほとんどいない。そういった島民もほとんどいない。島の未来を支える若者世代、子どもたちが、安心して定住できるような、戻ってきたいと思えるような島になってほしいと願っています。</p>
50代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・理髪は理髪師が個人的に2カ月に1回程度来島してくれて散髪してもらって大変助かっております。散髪する場所がコミュニティセンターで使用料が高額で来年からの来島を見合わせていると聞きました。ほとんど営利目的ではないので、どうにか場所提供を役場で確保してもらいたい。 ・座間味村は海の島なので、漁協、ダイビング、マリン関係者が連携し情報共有して自然保護に努めていただきたい。 ・総合病院は難しいと思いますので、出張歯科等がほしい。 ・おじー、おばーから伝統的な文化継承および戦争体験を伝えてほしい。
30代	男性	<p>幼児の受け入れについては、認定子ども園の設置要請についての声が出ていますが、それありきではなく、民間の活用や人材の確保などあらゆる策を考えながら持続可能な方法で取り組んでいただきたいです。</p>
30代	男性	<p>安定した観光客の受け入れ。欠航率の多さが渡嘉敷村と目に見えて分かる。船舶の運行基準の見直しをどうにかしてほしい。</p>
30代	男性	<p>空き家を利用したい事業者やそこに住みたい人間は沢山いる。仏壇への思い入れなどもわかるが、役場が間に入り有効活用へと転換できればと考える</p>
60代	男性	<p>村営住宅の建設 (村営は、収入に見合った家賃設定だから)</p>
70代	男性	<p>村内バスやタクシー等の交通の充実をはかる。 県外から来るものにとってとても不便である。</p>

30代	男性	<p>移住定住を目的とした空家活用。また定住促進住宅に住む住民においては青年会または消防団に加入し村行事や防災活動を率先して行うよう条件を付けた上で居住させる。</p> <p>大人の留学制度 リスキングや伝統行事、慶良間太鼓 慶留間島留学の拡充。(阿嘉、座間味)</p> <p>移住定住にもきっかけ作りが必要と思うので体験型イベントを実施する。</p> <p>また役場職員に頼らない島作りを行う必要がある。</p>
30代	男性	<p>放置空家が多いため、村営住宅として活用することができれば良いと思う。居住・仕事・教育を同時に発展させてほしい。</p>
30代	男性	<p>島で育った子どもたちが戻ってこられるような環境づくり(仕事、住宅)が重要だと感じる。</p>
40代	女性	<p>観光で成り立つ島であることは重々承知だが、生活者の立場を考え島外への移動手段が船しかない環境で、急遽船に乗らないといけない場合の対策が必要。</p> <p>例えば予約の際、目的が観光・その他(仕事・病院など)どの項目をつけ、割合を8:2などに振り分けして予約を受けるような体制づくりをして欲しい。</p>
40代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・エコツーリズム推進法の条例化 ・空き土地、空家の整理(条件などをつけて賃貸、売買ができるようにして欲しい) <p>※条件例→座間味村住民になって10年以上、各団体の推薦状(地域活動の貢献度合をはかる)、外国人は原則対象外など。</p>
50代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・若者へダイビング事業のPR ・空き家、空き地を活用した民宿、住環境の充実
40代	女性	<p>ゴミ箱の設置</p> <p>住民の声をもっと聞いて欲しい</p>
30代	男性	<p>家がなくて困っている人が多い為、空家を有効活用してほしい</p>
60代	男性	<p>開発の無い、昔の沖縄が残っていると思います</p> <p>とても貴重で大切だと思います</p> <p>自然を壊したら元には戻りません</p>
40代	男性	<p>保育園、子ども園、学童の充実</p> <p>阿嘉、慶留間の統合による教育予算の適正化</p>
50代	男性	<p>使われていない土地や空き家の持ち主に村が交渉出来るようにして欲しい</p>

		観光業に頼りすぎ 島を安く切り売りする産業には限界が来ている
30代	男性	住む所がないと村の伝統や行事、イベント等に参加したくても出来ないのがあると思う。 また、移住者本人が村の伝統、行事等に興味がなく、ただ村を仕事や娯楽の道具にしている様に感じられる。
30代	女性	村営住宅の定期的メンテナンス、建て替えなどは行わないのでしょうか？
50代	男性	様々な職種の担い手不足
30代	男性	空き家の改修費用の助成金。
30代	男性	村営住宅が需要を賄わない、老朽化している。村外への転居を防ぐ為に新しい村営住宅の建築が必須。特に阿嘉島の場合、住む場所がない為、仕事があるのに移住が出来ない、スタッフを雇えない状態である。 観光業以外働く場所が少ない。観光業が感染症や経済に影響されやすい為、座間味村の他の産業を創出するのが望ましい。座間味の食費問題にも繋がっている所以で特に農業の振興に力を入れて欲しい。 座間味村で住んでいる上では本島との間の移動が多いが、繁忙期中に急な用事や病気等で事前予約なしでの利用が難しい。特に欠航時、本島から帰りたい時に観光客との席の取り合いになってしまう。各便で村民優先の席枠を20名程度でも設けた方が生活しやすくなる。 最近、強風の時以外も停電しやすい。地下電線の設置は予算の面で困難であっても、電線付近の枝等を切って日頃の電線の手入れに力を入れて欲しい。特に復旧にいつも時間がかかっている阿佐と慶留間の住民が困っている。
30代	女性	コインランドリーがあるととてもよい。 良い島なので知り合いの保育士や役場など紹介したい気持ちはあるが、住む場所も給料も人に薦められるものではない。
70代	男性	若者や子育て世代には支援があるが高齢者の支援が少ないように感じる
20代	男性	環境問題を意識する観光客もいますが、この村をテーマパークのように考える観光客が増えてきたため、自然が破壊されつつあります。村としては、厳しいルールや罰金を設けて対応する必要があります。

		また、労働に関しても、休日のない違法な労働環境が多すぎるのが現状です。
60代	女性	治安の維持、住民が時間にゆとりを持って暮らせる工夫。
40代	男性	空き家のリノベーションを役場が介入して積極的に進めて欲しい
40代	女性	観光よりも村内の福祉にもっと力を入れて欲しい。 高齢者福祉施設や保育所、公園の遊具の改善、児童館（子供が屋内で体を動かせる場所）等を設置してして環境を良く欲しい。この島で働き、子育てが安心して出来て、老後もゆっくりといい環境の中で暮らせる環境を作って欲しい。現在の保育所、高齢者施設は場所がとても閉鎖的で心の安定に繋がらないと思う。
40代	男性	子供達が減らない住居の設置
40代	男性	保育施設の改善。建物建てる前に意見を募る。無計画な建物、設備が多い。環境負荷を減らす取り組み。無秩序なマリンレジャーの取り締まり。
30代	女性	人口増加を目指し、Uターン、移住夫婦が住みやすい環境作り。 住宅の問題、保育所の問題、観光だけが取り沙汰されず、住民の住む環境作りが大切だと思います。
30代	女性	単身者向けの村営住宅や定住促進住宅の建築。季節労働者向けの住宅の建築
50代	男性	海域の観光に関して、現時点で既にオーバーツーリズムです。 観光客数を増やす事に重点を置くのではなく、入数を絞り客単価を上げて、高付加価値化していく必要があると思います。現状が続けば、観光資源としての海域の環境が痛み、取り返しがつかない状況になると思います。 後は、若者が定住し子供が増えて行く為の施策を早急に強力に進めないと、過疎化が更に進み、島の文化の継承も絶たれてしまうと思います。 目先の儲けに注力せず、その先を見据えた施策を行って欲しいです。 若者定住の為の、住宅の確保等については、空き家を活用する為に外部から実績のある専用の人材を（高待遇で）確保するなどの思い切った対策が必要かと思っています。

50代	女性	<p>【阿嘉島の住む場所不足問題について】阿嘉島は住む場所がなく、島の若者が帰って来ても結婚出来ず、子供が減っている。空き家活用に座間味村がもっと積極的に取り組んで欲しい。（個人交渉では信用問題もありなかなか話が進まない）全国の過疎地の「空き家バンク」を見習って仕組みを作ってほしい。片手間で出来る仕事ではないと思うので、空き家活用の実績がある人材を2～5年ぐらいの契約で村が雇って、まずはベースを作ってもらいたい。</p> <p>【環境保全】座間味村の豊かな自然を子や孫世代に受け継いでいく為に、各団体（ダイビング協会やマリネジャー協会、各々の青年会や婦人会）が、清掃活動や保全活動に取り組むのはもちろんですが、村外からやって来る大型船やヨットからの投錨を禁止すべきです。毎年、安室島ではヨットやクルーザーからの投錨でサンゴが壊れています。（特にヨットレース前後の日程で、たくさんのヨットが投錨してサンゴが壊れます）地元の一部の人達が儲かるのと引き換えに、座間味村は大きな財産を失っている事に気づいてほしい。地道にサンゴの保全活動をやっている身としては、怒りしかありません。沖縄県内のマリーナや釣具屋に【座間味村の海では投錨禁止】を告知してはどうか？海外の大型クルーズ船から、無人島に上陸するツアーがあるが、かなり多く人が上陸しており、そのタイミングで無人島近くに行くとアンモニア臭が酷い。村内業者の無人島送迎も含めて、人数制限をすべき。許容人数を超えていると思う。</p>
30代	女性	<p>座間味村は国立公園だが、自然環境保護のための法律や罰則などがないので、実質上は無法地帯です。一刻も早い法整備が必要だと思います。タバコのポイ捨てや放置ゴミなど、見ない日は一日もあります。地元の人々のタバコのポイ捨てもありますが、観光客が増えるとタバコのポイ捨て量も増えています。ハワイやオーストラリアでは罰則はかなり厳しく、禁煙場所での喫煙、有害物質の含まれた日焼け止めの使用（日本の日焼け止めはほぼ有害物質が入っています）、ウミガメの接触、サンゴ礁の破壊など高額な罰金と懲役刑の対象になっています。また、トウマビーチやイノーの浜は那覇船が入ってマリナクティビティを行っています、サンゴ礁にアンカリングをしています。ハワイやオーストラリアでサンゴ礁にアンカリングをすれば高額な罰金が科されます。（グレートバリアではサンゴ礁のアンカリングは約1億円の罰金、もしくは10年の懲役です。）</p>

		その他の海外の国立公園ではさらに厳しいルールが決められていますが、日本では全く法整備が進んでおりません。観光客が増え、何もしなければ自然破壊はますます進みます。ほぼ観光業で成り立っている座間味村にとって自然が何よりも資源であるので、一刻も早く持続可能な観光を目指してほしいと思います。
20代	男性	空き家利用者向けのマッチングを実施 (業務は民間へ委託)
30代	男性	子育て世代(世帯)の住宅の確保が必要だと思う。
30代	女性	観光業に頼るのはリスクがある。土地を活用し農業に力を入れて欲しい。趣味で畑をしている人は多いが、仕事としている人はいない。島でとれた野菜を給食などで利用して、オーガニック給食としてほしい。 観光業受入も大切だが、自然を守ることを第一としてほしい 未来を担う子供達への投資を優先してほしい。 子育て支援は、子供を預けられなくて困っている人がたくさんいる。安心して預けられる環境を作してほしい。
40代	女性	観光税を増やし、雇用と美化環境とトイレを作る(観光税について、島民は無償にするべき)「島だから」という考えは止めて、もっと発展させていく前向きな思考に変えていく。一度決めたこと、作ったものは継続させて維持させる。放置しない!! 阿嘉にも警察所を。犯罪・人権守れていますか?
50代	女性	①小中学校で地域の身近な自然を定期的に観察すること(子供達にとってもふるさとの自然を知り、衛という教育の機会になる) ②大学の研究機関との連携、または依頼して御願行事等の映像及び資料、紙媒体での記録。現在の神人の方達が活動している今が最後のチャンス。 ③小中学生による、座間味の20年後や30年後を考える未来会議などを開催してほしい。そして観光立村としてやっていくのであれば、事業者と連携してエコツーリズムを目指し、自然を守ってほしい。宿泊施設なども支援し、居心地を守ってほしい。
50代	女性	移住して日が浅く、よくわかりません。国内外への旅行者が増えているのであれば、自分自身が観光客として来島していた頃から感じていますが、それに供い、治安やモラルが乱されない様にとは思います。

50代	女性	期的に散髪に来る人がおり、散髪で使用されていたコミュニティセンターの使用量が値上げして、このままでは採算が合わなくなると困っている人がいます。散髪利用であれば住民に必要であり、営利目的な面もありますが、料金を緩和してあげてほしいです。また、歯医者や眼科・整骨院がないのも寂しいです
60代	女性	豊かな海と、先人が耕してきた土地があるのにそれが第一次産業として生かされていないのが残念。漁業については、海人が海からいただいてくる魚貝類を島で提供する店が増えるのが望ましいと思う（阿嘉では現在、水揚げされた魚を用いる民宿が増えている）また、農業については販売のシステムがほとんどない現状。週1でも月1でも、マルシェみたいなことができれば活性化していったりはしないかなあ、と考えている。
30代	男性	⑨離島コストについて、過去に様々な施策を講じたと聞いたことがあるが、住民感情としては小売業者を通した間接補助では本当に物価に反映されているか不透明である。（補助があったか、それを上回る仕入れコスト上昇で販売価格を据え置きといわれてしまえばそれまでなので...） 住民への直接補助等再検討してほしい。 ⑥住宅も公務員・ショップのスタッフともに職を失えば退居しなければならず、永住を希望するならば必ず土地・家を購入する必要があるが、売ってもらえる土地も家もなく、いずれ島を出なければならない。いつかできるなら次の職探しができる若いうちにとり、若手職員やスタッフの流出につながっているので、永住できる仕組みや施策を考えてほしい。
50代	女性	衣食住が整う（保障される）ことが最も大切だと思う。
30代	男性	自然資源を生かしたブライダルフォト事業や座間味村にしか作れない加工製品を作るなど、新しいビジネスの創出 県内外の小中学生を対象にした、自然資源や人材を生かした『自然体験学校』等の運営を行い、座間味村のよさを拡充 村営もしくは官民連携した住宅づくりや空き家を活用した住まいの確保
50代	男性	村営住宅を充実させ、条件なく、家賃さえ払えれば住める環境づくり
40代	男性	住宅を永続的に作り続けることは難しいと思います。空き地を整備して戸建てを希望する方への分譲や空き家を利活用して若い世帯に住んで頂けるようにした方が良いと思います。

		<p>農業や漁業の分野では、観光客は訪れた土地の食も楽しみにしていると思います。生産した農産物や水産物を村内の事業所で優先的に使ってもらうなど飲食店との連携や新たな特産品の開発などへの支援が必要だと思います。</p>
60代	女性	<p>国立公園としての定義を再確認してほしい。雑草に覆われた道路、海では音を立てて走る水上バイク、国立公園に指定した理由が分からない状況です。</p> <p>県内では仏壇のある家は貸したくないという風習がありますが、年に1、2度しか返らないのであれば、その家の利用方法はないのか？廃業した民泊を活用してアパートとして利用できないか？このままでは住みたくても住めない若者が多く、将来老人ばかりの島になってしまう。村営住宅はファミリー向けが中心だと思います。今は独身の利用も多く、更新時に面談などしたらよいのでは？代替場所の確保が必要ですが、若い夫婦が安心して住める場所の確保が重要ではないでしょうか？</p>
30代	男性	<p>空き家活用について、空き家の家主へのアプローチを役場からも行ってほしい。</p> <p>家賃保証やトラブル時の専門家を役場内に配置できないか？</p>
50代	男性	<p>住居の整備、住むとこがなければ働き続けることが出来ない、新しい事業などもできない、</p>
70代	女性	<p>65歳以上の方々の働く場（仕事）の提供。</p> <p>収入が少ないのに生活する上においての電気、水道、ガス（その他）、税金の支払い。</p> <p>物価が高くこのままでは生きていく上において不安だらけでこれから先の生きていく上での気持ちを維持していくのが苦しい。</p> <p>若い時は人生においてどうにかなるだろうと安易に考えていたが、実際年齢を重ねていくと健康上の理由で働けなくなった場合対処する術がみつからないと思う。</p> <p>草刈り作業においても、高齢者にもかかわらず暑い炎天下の下生きるために我慢してがんばっている。</p> <p>年を取ることがこんなにも不安になるとは思っていなかった。しかし、語ることは苦とは思わない。</p> <p>65歳以上の人の仕事の間をもっと増やしてほしい。</p>

50代	男性	<p>自然環境の保全を最優先にできれば、今後も観光産業は向上していく。そのためには将来を担う若者の定住が必要不可欠であり、そのための住宅問題の解決には注力していただきたい。</p> <p>沖縄の離島ならではの理由で、人は住んでいないが活用できていない家を行政が間に入ることで借家として利用できる方法を考えていただきたい。</p>
20代	男性	空き家の活用と、若い世代の子が帰ってきた時の住居確保
70代	男性	漁業が衰退しており活性化が必要
50代	女性	<p>若者がUターンしていますが、住居が無い現状</p> <p>一番に土地を購入希望、不可能な場合は安価で土地を借りて新築の住居を建てたい</p> <p>不可能な場合は空き家を借りたい</p> <p>個人では限界があり、一刻も早く村の協力が必要となります</p> <p>島の繁栄の為に、村が長年空き家の地主さんに連絡し交渉して、解決に向けて取り組んでいただきたい</p> <p>若者が事業継承する為の補助金も検討してください</p>
60代	女性	<p>他府県の方々が増えていく中、コロナ以降人々の交流が希薄になり</p> <p>村民としてのまとまりが無くなっているように感じる</p> <p>そんな中、公共施設の使用も費用的な面で使いづらく、気軽に集まる事も出来ず、益々村民としての協調、団結、島を愛する心が育たず人間関係が希薄になっていると強く感じています。</p>
70代	女性	<p>座間味島では、農業をしている人はほとんどがお年寄りで、自給自足。耕作放棄地が村内で多く見られる。特産物となるものを栽培し、離島フェアなどへも出品できたらと思う。個人では小規模の為、村で耕作放棄地を借り上げて、ビニールハウスで特産物を栽培し、それに関連して雇用も生み出していけたらと思う。</p> <p>ケラマツツジが島のあちこちで植っている環境をつくり、『ケラマツツジ祭り』のようなものができたらよいと思う。</p> <p>座間味に観光で来て、お土産になるものがないと嘆いていた知人がいた。</p>
80代	男性	船舶の足の確保が十分でない。
50代	男性	<p>「世界水準のナショナルパーク」になるために、エコツーリズムを軸にして持続可能な観光地を目指すべきだと思います。そのために、エコツーリズム推進協議会のようなものを再機能させて、豊か</p>

		<p>な自然を守りながら利用していく仕組みづくりや、全てのガイドが一定の水準を満たせるような認定制度などを進めていくことが必要だと思います。現状は、多くのツアーが毎日同じコースばかり通ることにより自然が疲弊する過剰利用や、豊かな自然に頼りきった質の低いガイドなど、多くの課題があると思います。そういったことを話し合い、改善していく場が必要だと思います。また、エコツーリズムというのは、自然相手のツアーをしている業者だけでなく、宿泊業や飲食業など観光客相手の業者はもとより、仕事で観光客と関わることがない住民でも、観光立村・座間味村の一員として、魅力ある観光地であり続けるために、一緒に取り組んでもらえるようにすることが大事だと思います。エコツーリズムを軸として地域住民が協力し合い、助け合うことで、連帯感も高まっていけたら、より魅力的な観光地になるとともに、暮らしていて楽しい島になるのではないでしょう。</p>
40代	男性	就労条件などに左右されない、子供を預けられる保育園が欲しいです。
50代	男性	<p>地域を代表する子供たちへの支援すること</p> <p>海だけの産業ではなく陸(山)を利用した産業開発(この環境はココにしかない唯一のものなので)</p>
20代	回答しない	<p>保育園が少なすぎる。こども園を設立して欲しい。でないと親子世帯が減る一方。</p> <p>観光業に予算と時間を費やし過ぎ。</p>
40代	女性	交番の設置
90代以上	女性	<p>このアンケートをもとに村がどう動いてくれるかが問題だと思います。</p> <p>海ばかりではなく陸にも目を向けてほしい。</p> <p>空き地を利用して花を植えたり、子ども達が遊べる場所や住民や観光客がゆんたくできる場所があるといい。</p> <p>偕生園で夜の一時預りが充実することができれば島を離れなくても座間味村内で家族のそばで暮らせるのではないかと思います。</p>
60代	男性	他の離島等で実施してうまくいっている事業等を調査して事例として提案していただきたい(多分野)
70代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の保全のための鹿問題を我が事として考えてほしい。 ・生き物の保護についても地域住民と何年越しに話し合いの場を設けて対応を検討していくシステムを作してほしい(フンだらけの

		道。国立公園としても衛生面からいかなるものでしょう。） ・道路への排水のたれ流しや ライフラインへの対応 なども考え方や第三者的な観点から見てほしい（多様性）。
50代	女性	空き家の活用、高齢化に伴い民宿が減少 し少ない宿泊施設の上料金も値上がり日帰り客ばかりが増えています。空き家をリノベーションしリーズナブルな民泊ができればいいと思う。
50代	女性	島の人々と助け合って生活できる人が住む場所を見つけられるように、役場や、独自の機関を通して、安心して 空き家 の家族がと住みたい人とのマッチングを立ち上げて欲しいなと思います。 若い人が住まない と 人口も増えない かなと思います
30代	男性	観光ばかりに目を向け過ぎ まずは住民を支援、 住みやすいと思うような政策が第一
50代	女性	行事事やどんな事でも 先輩方が、もっともっと後輩をリード するように（見本を見せるように）働きかけてもらいたいです。若者は皆、従い、動きます！ 豊かな自然 があるから観光の方も来られます。一人一人の心がけで島をキレイに保ちたい。若い方が暮らせるよう（子供が増えますよう）に、住む場所の確保もなんとか早急に 空き家の利用 や 住宅建築 も含めて進めていただきたいです。
40代	女性	今の座間味は完全に オーバーツーリズム になっていると思います。観光客、特に日帰り観光客へは別途上乗せした入島税などを設けるべきです。島民用のゴミを捨てる場所に観光客が捨てられないようにして欲しいです。また、外国人観光客への規制、特に水着姿等の軽装で島を歩かないで欲しいです。子供達へ悪影響になり、そう言った観光客を受け入れている島になるのが島民として嫌です。 保育環境 にももっと力を入れて欲しいです。あまりにも子供達への環境をないがしろにしていると感じます。 島の未来を支えるのは子供達 です。子供達の遊ぶ公園の遊具の改善や室内で運動が出来る場所の開設を希望します。また 高齢者施設 ももっと良い環境を作ってあげて欲しいです。ゆっくりとした環境で高齢者には穏やかに時間を過ごして欲しいです。この島でずっと暮らしていただける様に改善を望みます。

30代	女性	・母子家庭父子家庭や共働きの家族が住む場所、就職先、託児先の確保。
60代	男性	多々ある中で一つだけ。 沖縄戦最初の上陸地である座間味村ですが悲惨な戦争の歴史の象徴である”平和の塔”の清掃、整備は必須の取り組み課題として具体的な実施策を検討してほしい。

[座間味村のむらづくりに関するご意見・要望等（自由回答）]

50代	男性	座間味村 特産品 が少なく感じます。おじーおばーが昔普通にしていた、作ってたのが需要に繋がれば…知恵をもらえたら
30代	男性	どのような政策も「 人材 」に着眼点を置いて取り組んでほしい。教育環境もICTなどのハード面よりも大切ですが、それ以上に人材確保を村費の活用で充実させてほしい。
30代	男性	特に移住者としては、助けてもらえる親族も周りにいない上で保育環境が不足している為、 子どもを産むことに抵抗がある 。
40代	女性	幼稚園教諭、保育士の給料をあげてほしい 働きやすい環境作り 役場職員さんの喫煙場所を再検討していただきたい。
40代	女性	ゆくる館コンセント設置 観光協会新規事業初年度からの入会
40代	女性	何をするにしても、まずは 住む家 があることが最大条件。住むところがあれば、村が目指そうとしているところが見えてくるはず
50代	男性	・ 宿泊施設の増強 ・ 公共交通機関 の整備 ・ 土産物 の商品開発
40代	女性	働く側のお給料アップなどして人員の確保。 子供達が室内でも遊べるスペース を作ってほしい
30代	男性	村のホームページが見つらいので作り直してほしい。 船の予約が難しい 。村民用の船の座席を確保するべき。
50代	男性	住む所 が無ければ人口は増えないでしょ
30代	男性	現状満足していることが多いが、もしより良く出来る事が出ればやっていただきたい、と思い、 空き家・若者のＵターン・新たな産業 へ「力を入れてほしい」にチェックをつけています。
30代	女性	子供を1歳前後でも預かってもらえる 保育体勢 を整えて欲しい。
30代	男性	とにかく村全体が観光業を重視し過ぎている。村の経済が偏っている為国内や海外のトレンドに影響されやすく不安定である。 農業に力を入れて 、永住者を増やす為 子育ての支援や住宅の状況 を考えて欲しい。

60代	女性	事業新規立ち上げの際の支援、融資の後押し、空き家の借り上げ等、地域に貢献していて、一定以上住基を登録している方に村独自の支援ができないか検討をしてもらいたい。
50代	男性	<p>人手不足の中出来る事は限られるので、取り敢えず住宅問題への対処をして欲しい。</p> <p>陸域の道の整備（綺麗な舗装道路や東屋を作るのではない）をして欲しい。</p> <p>今ある道のメンテナンス、阿嘉島は可能なら島を周回出来る道があると、陸域観光にかなりプラスになると思います。（林道のような未舗装路で構わない）。</p> <p>海域の利用に関して、今はそれぞれが好き放題でカオスな状況なので、条例化してルール作りを議員さんと協力して行って欲しい。</p>
30代	女性	<p>座間味村で働きたい、移住したい方はたくさんいますが、やはり住居がないのが一番の問題かと思います。沖縄の本家文化もあり、空き家があっても活用できないなど難しい問題と思います。国立公園の法整備を進め、空き家や売地など、外部ホテル業者には売買不可とし、居住者のための村営アパートなど建設してもらえれば環境問題・家不足問題は解消できるかと思います。</p> <p>以前はダイバーに有名な座間味村でしたが、現在はダイバーだけでなく日帰りのリゾート地として利用される観光客が増えており、何よりインバウンドで海外観光客がかなり増え、時期によっては日本人よりも海外の観光客が多いこともあります。SNSの普及でリゾート離島のようなイメージが先行しており、観光客の方が座間味に着いてからコンビニがない、食べる場所がない、泊まる場所がないなどとショックを受ける方もいたり、正しい情報よりイメージが先行している印象が増えてきました。</p> <p>今後座間味村がどのような島にしていきたいか、村全体で考えないといけないとは思いますが、私個人の意見としては、地元の方々、沖縄の自然や伝統文化を守り、後世に引き継ぐ、島民のための離島であってほしいと願います。</p> <p>今現在は豊かな自然と海が一番の観光業として賑わっていますが、今後の地球温暖化、環境汚染、少子高齢化でますます生活</p>

		が困難になっていくと思います。観光業だけでなく、地元の人が生活できるよう地産地消できるよう漁業や農業などもどんどん力を入れて行ってほしいなと思います。
30代	男性	<p>子供が遊ぶ公園・道具や外灯・フェンス等の整備やメンテナンスを定期的に行ってほしい。</p> <p>現状（テニスコートやバスケのコートが使えない状態である。）</p> <p>外灯も使えない状態があったりする。</p>
50代	女性	<p>・観光客増加の取り組みと同時にゴミが増加していることにも意識を向けてほしい。</p> <p>・座間味島では保育園定員に不満の声があるが、阿嘉島、慶留間島では保育サービスがない。恵まれていることに気付いてほしい。座間味島だけ保育拡充を要望するのは同じ村民として理解しがたい。</p>
30代	女性	<p>村政は、外に目を向けすぎており、大切な中・足元を見れていないと感じます。</p> <p>観光客誘致は十分にできているため、村民が住みやすい、希望を持てる村づくりを目指して欲しい。</p> <p>船の予約も村民枠があるが、本当に困った時に帰れない状況もある。</p> <p>村民の声を聞いてくれないことにも不信感がある。</p> <p>村長は自分の実績にとらわれていると感じる。初心に戻ってほしい。</p>
40代	女性	<p>沖縄県内だけでなく、他府県の状況なども取り入れる。</p> <p>繁栄していたときの村はどうだったのだろう？</p>
50代	女性	<p>観光客を増やすのではなく、自然を中心とした上質なリゾート地を目指して欲しい。村と環境省が主体となってエコツーリズム事業を行い、集客すれば、事業者も追随します。また、毎日の乗船数の情報をリアルタイムに事業者と共有することで、食事の準備などの助けにもなります。観光立村とするならば、行政と事業者との情報共有・ルール確認など必須だと感じます。</p> <p>30年後の座間味村を造る・小中学生や今の若手の役場職員に期待しています。毎日ご苦労さまです。</p>

60代	女性	<p>阿嘉在住なため、座間味島とは多少異なると思うが、阿嘉は何をしようにも人が足りない感は否めない。</p> <p>ただ、人口を増やすにも家も仕事もない。</p> <p>まず、空き家問題をなんとかできないものか。</p> <p>また、観光シーズンに左右されにくい仕事、新たな産業が起こせないものか。</p> <p>1人1人の働きや力が少しずつでもムーブメントになっていくよう努力するしかないのだろうか。</p>
30代	男性	<p>何もおいてもまず財政状況の健全化と収入をいかに増やすかを真剣に検討・実行するべき。事業遂行の為、また取り組む職員の給与をしっかりと支給するためにもいかに外貨を稼ぐかを至急考えてほしい。どんなに素晴らしいアイデアがあっても長期また永続的に事業を行うためには、補助金を探して頼っているようではいけない。美ら島税、新たな税導入、使用料、ふるさと納税、考えられるもの全ての見直しが必要。また、日帰り観光客について、ゴミの処分の費用負担を導入してほしい。村内にお金を落とさない観光客の那覇からの持ち込みゴミを村民負担にするのはおかしいと思うので。（知床等観光客にゴミ袋を買ってもらっている自治体もあるので参考にしてほしい。日帰りで船舶チケットを買う人にはゴミ袋代もつけて販売する等）</p>
30代	男性	<p>女性が日中の子育てを任せて安心して働くことができるような預かり保育の実施や学童の設置</p>
40代	男性	<p>村出身の若い世帯が戻って来やすい環境づくりが必要だと思います。</p>
30代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・大東島村のような農地基盤整備 ・使っていない畑主への活用、販売の声掛け ・用水の整備 ・先進市町村への研修、視察 ・観光農園への取組
70代	女性	<p>村内に季節の花が咲くにもかかわらず手入れされず（特にケラマつつじ）もったいない。集落、山々に花を増やす取り組み希望。</p> <p>アマチヂ向け、桜がきれいに咲くのに花見に訪れる人がまったくいない（なぜ人の行かないところに桜を植えたのか不思議）。</p>

		<p>遊歩道を散策する人もまったくいない。</p> <p>「また訪れたくなる島」と考えている割には観光地がまったく手入れされず、雑草、外来種の植物に埋もれて見苦しい。</p> <p>海に注目するのもいいが、陸をきれいにする方に全力を注いでもいいのではないかな。</p> <p>※役場職員のあいさつ。道ですれ違っても、笑顔もなければあいさつもまったくない。</p>
50代	男性	観光地として 一次産業の向上と地産地消 への取り組み。
30代	男性	<p>ダイビング、マリンスポーツ関係は発展していますが、漁協関係が(職員不足など)段々と弱くなってきている様な気がするので頑張っで欲しい。</p> <p>(新たな人材の教育、補充)</p>
50代	女性	<p>先ずは若者が結婚して家族で暮らす為の住居環境を整える事が先決です</p> <p>人口増加の為に真剣にこの問題に取り組んでいただきたい</p>
60代	女性	若い働き手が安心して 子育てしながら働ける環境 を整えて欲しい
70代	男性	<p>台風、停電をなくしてほしい事。自家発電機の設置がほしい事。</p> <p>車の台数が多い、少なくしてほしい事。物価が高い、安くしてほしい事。</p> <p>村営スーパーがほしい。物価を安くするため。</p> <p>何に気を付ければいいのか？考えてほしい。</p> <p>同時に自然と湧いてくる不安や疑問、たくさんあります。</p> <p>何一つ村営施設がない。村営老人ホームを作してほしい。</p>
50代	男性	<p>(1) 座間味村「むら」</p> <p>エコツーリズム推進協議会のようなものを再機能させて、豊かな自然を守りながら利用していく仕組みづくりが急務だと思います。それができた上で、移住者を増やしていくための取り組みなどをしていくことが大事だと思います。現状のまま移住者を増やせば、「お金儲けのためなら、自然が疲弊していても仕方ない」と勘違いしている業者が増えてしまうのを危惧しています。そうなれば、豊かな自然は失われ、観光地としての魅力はなくなってしまいます。</p> <p>(2) 座間味村「ひと」</p>

		<p>将来のために、若い世代や子どもたちに「今の豊かな自然があるのは、大切に守ってきたからだ」ということを教えていくことも大事だと思います。子どもの時から自然を守る取り組みなどに触れて、島の豊かな自然に愛着を持ってもらうことで、「自分も島の自然を守る一員になりたい」と戻ってきてくれる若者が増えれば、こんなに心強いことはないと思います。</p> <p>また、元気なシニア世代が沿道の草刈などの環境整備に従事し、魅力的な観光地を維持するための縁の下力持ちとなって支えてくれていることに感謝しています。このような仕組みを維持し、シニア世代が末永く元気に島で暮らせるようにしてほしいです。</p> <p>(3) 座間味村「しごと」</p> <p>農水産業は地産地消の推進などの支援を拡充して、観光客にも食べてもらうことでエコツーリズムと関連付けて、盛り上げていってほしいです。エコツーリズム推進協議会のようなものに農水産業の人たちも参加してもらうことで、連携を深めていくことが大事だと思います。</p> <p>「観光需要の平準化」に関しては、例えば、阿真ビーチだと、寒さに強い欧米客が増えたことで、冬も観光客が途切れなくなりましたが、そのことがウミガメのストレスを増大させていて、ウミガメに会いにくくなっている一因になっています。従来、ウミガメは冬期に観光客のストレスから解放されていたのが、解放される時期がなくなることで、ストレスに耐えられなくなるウミガメが一定数いるのだと思います。それは、他の自然にも言えることで、「自然を休ませる時期」を確保することは大事です。そのため、「観光需要の平準化」を考える時は、夏のハイシーズンがどうしてもサンゴやウミガメなどの海の自然に集中するため、冬は、クジラや野山、農業体験などに力を入れることが大事だと思います。</p>
50代	男性	<p>冬場の産業としてホエールウォッチング以外のイベントが欲しい</p> <p>案として 昨今の沖縄はマラソン大会が人気なので渡嘉敷のパクリではなく、週末の練習ロードとして来島してもらう。</p> <p>世界各地から来島者が多いので宿泊地整備が必要な</p>

20代	回答しない	保育士として働きたくても住居がない為、働けない。また、 子どもの預け先 がない為すぐに働けない。こども園を作りたくさんの子どもたちを安心安全に預ける場が欲しい。 早急に作っていただきたい
40代	女性	阿嘉、慶留間島での一時預かり保育 、学童の整備を進めて欲しいです。現在の居場所作りを常設してどんどん増やしてもらいたいです。今後の子育て世代を増やす為にも制度は整えていただきたいです。
50代	男性	船舶がドックの時の船舶の減便にともなう船舶の補充（代船）を行うことは出来ないのでしょうか？
90代以上	女性	観光客が各集落を散策できるように 公衆トイレ を造ってほしい。 以前の様に除草、防虫のために焼き畑ができるようにしてほしい。
70代	女性	美化の強化。 ※ゴミについて →側溝のゴミを畑へ投げ込みはやめてほしい →自分達で使用したものの片づけはきちんと（発泡スチロールの入れ物、菓子袋など放置） →道路への排水の垂れ流し、不衛生！ ・人の言い分にまず耳を傾けること。すぐに文句、クレームと決めないこと（デスクワークも大事ですが、住民の生活の現状の把握を、観察することも必要だと思います。）
50代	女性	定年された方の 再雇用や伝統工芸などの継承手づくり教室や体験学習の場 を提供してほしい
50代	女性	夏場は既にキャパを超えている のではないかと感じる事もある。 飲食店が足りない ため定住促進住宅の2階を季節限定で賃貸してはどうか？ マナー違反の方が多くがっかりすること多々。水着のまま、空き缶ポイ捨て、立ちション、もっと注意、呼びかけしても良いと思う。 お墓の前でタオルやシャツをたくさん広げて乾かしている人もいた。

		素朴な島の良さが皆に伝わるよう、どう行動するか常に考えます！
40代	女性	空き家の利用の活性化をするべきだと思います。島で働きたい、暮らしたいのに住む場所が無く諦めないと行けない方々がいるのは残念です。また子育て支援も乳幼児がいる母親サークルや相談出来る場所、時間があればいいと思います。島で孤独な子育てとにならないようにしてあげたいです。観光産業ばかりでなく、6次産業化への取り組みに力を入れて欲しいです。
40代	女性	未就学児親子が気軽に通える支援センターのような場所があると嬉しいです。 今年から社協が毎週木曜日に開放してくれていることは有難いが、木曜日に行けるとは限らないので、全日空いている施設、場所があると助かります。
60代	男性	観光に特化した座間味村においては、一次産業（農業は特に）は衰退の一途であり、離島村としてはまずは農業基盤の整備に尽力してほしい。 環境を整備することで起点、布石ができ、次の具体的課題に移項できるものと考えます。
30代	女性	利権まみれの世の中、座間味村もそうです（特にコロナはひどかった。PCR 意味がない）。この島を良くしたいと取り組みは何でも参加したい。まずは、住める場所を確保、日本人を入れる、外国人はマナーの守れる人だけ安心安全に住めるそんな島であってほしいと願います。

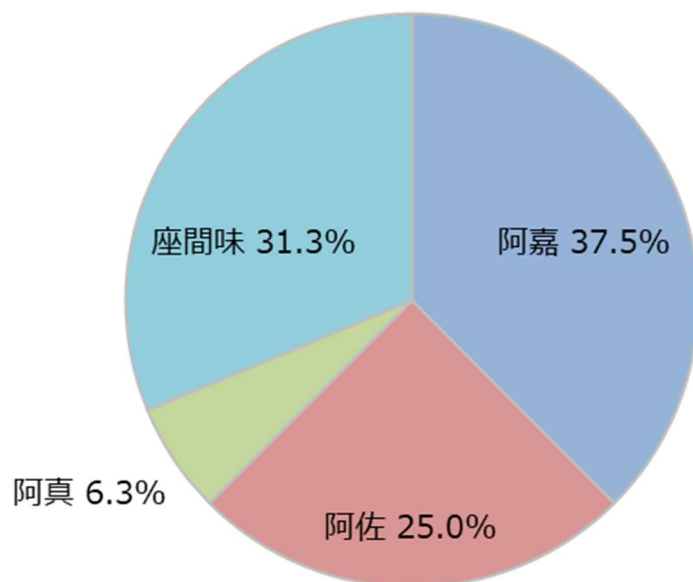
【アンケート結果のまとめ】

- 多くの村民が、今後も座間味村に住み続けたいと考えています。
- 村民の多くは、自然環境を最も大切だと考えています。
- 住宅整備を重要な課題と認識しています。
- 若い世代の人材育成、子どもたちの教育環境整備、子育て支援を重視する声が多い結果となりました。
- 地域産業の若い世代への承継、地産商品開発を重要視する意見が多く見られます。
- 観光と農水産業の連携を重要視すべきとの声が多いです。
- 高齢者を中心に、将来に対する不安を抱える村民が多いです。

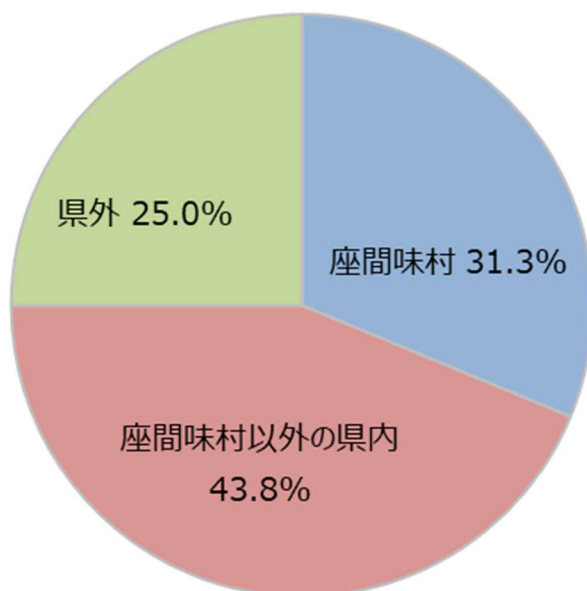
(3) 村民アンケート（中学生）

① 基本属性

〔お住まいの地区（n＝16）〕



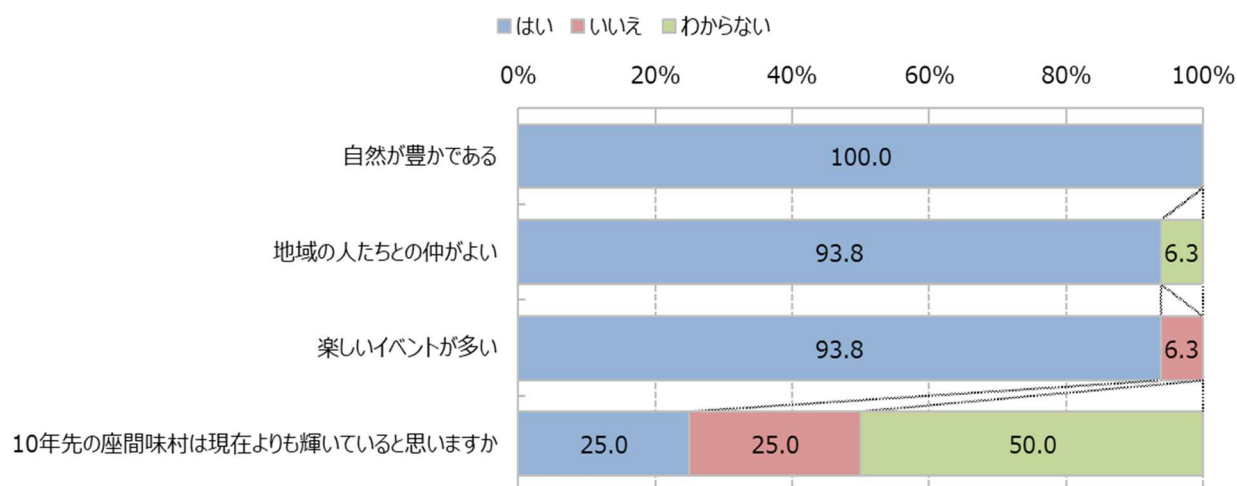
〔出身地（n＝16）〕



② 座間味村に関する回答結果

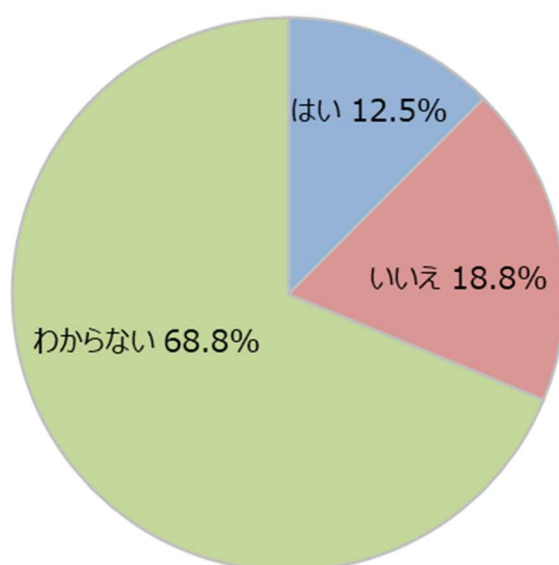
座間味村の現状についてどう感じているかという設問では、【自然が豊かである】という項目について「はい」と答えた割合は100%となりました。また、【地域の人たちとの仲がよい】・【楽しいイベントが多い】という項目については93.8%が「はい」と回答しています。

[座間味村の現状についてどう感じているか (n=16)]



“あなたは、大人になっても座間味村に住み続けたいですか”という設問では、【わからない】との回答が多くなっています。

[将来の居留意向 (n=16)]



“座間味村であなたが好きな食べ物は何ですか” という設問では、多くの生徒がもずく料理を挙げています。

〔座間味村の好きな食べ物（「最大3つを記入」複数回答 n = 16）〕

阿佐	もずく
阿佐	もずくそば
阿佐	もずくそば
座間味	家のご飯
座間味	もずくそば
座間味	もずく
阿嘉	モズク煎餅
阿嘉	guuguu のガトーショコラとチーズケーキ
阿嘉	・沖縄そば
阿嘉	グーグーのワンプー、チーズケーキ はあなカフェのボンゴレ
阿嘉	唐揚げ ポテト
阿嘉	唐揚げ
座間味	オムタコライス イカゲソバター もずくそば
阿真	もずく
阿佐	1. オムタコ 2. もずくそば
座間味	もずくそば 青の海のオムライス

“座間味村であなたが好きな場所はどこですか”という設問では、多くの生徒が阿真ビーチや前浜ビーチ等、海（ビーチ）を挙げています。

〔座間味村の好きな場所（「最大3つを記入」複数回答 n = 16）〕

阿佐	1 0 5
阿佐	阿真ビーチ
阿佐	古座間味ビーチ
座間味	公園
座間味	神の浜展望台
座間味	家
阿嘉	前浜ビーチ
阿嘉	北浜ビーチ、クシバル展望台
阿嘉	・海
阿嘉	前浜 ターミナル みなとのこうえん
阿嘉	家
阿嘉	前浜
座間味	阿真ビーチ アマ港
阿真	クジラ公園
阿佐	1. 古座間味ビーチ
座間味	古座間味ビーチ 阿真ビーチ 神の浜展望台

“座間味村であなたが好きなイベントは何ですか”という設問では、多くの生徒が夏祭りと答えています（阿嘉では阿嘉納涼祭、座間味では座間味まつりなど）。

〔座間味村の好きなイベント（「最大3つを記入」複数回答n=16）〕

阿佐	なつまつり
阿佐	夏祭り
阿佐	夏祭り
座間味	座間味まつり
座間味	夏祭り
座間味	ざまみまつり
阿嘉	村民運動会
阿嘉	阿嘉納涼祭
阿嘉	・阿嘉納涼祭
阿嘉	阿嘉納涼祭
阿嘉	祭
阿嘉	村民運動会
座間味	ファン感
阿真	海開き サバニレース 座間味まつり
阿佐	まつり
座間味	夏祭り ファン感謝祭

“座間味村以外から親戚や友達がたずねてきた場合、あなたは座間味村のどの場所を自慢・紹介したいですか”という設問では、多くの生徒が各ビーチ等、海を紹介したいと回答しています。

[座間味村で自慢・紹介したい場所（「最大3つを記入」複数回答 n = 16）]

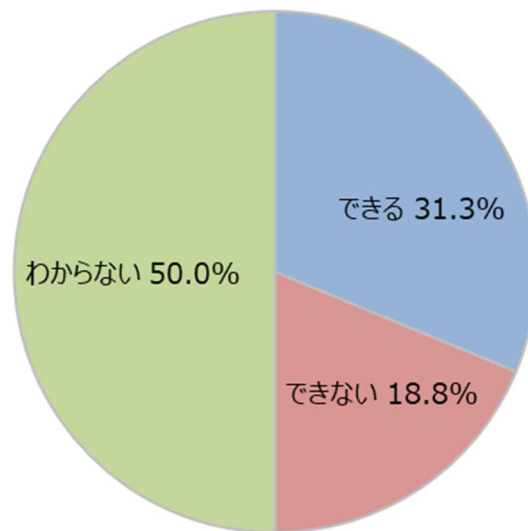
阿佐	古座間味
阿佐	阿真ビーチ、古座間味ビーチ
阿佐	海
座間味	阿真ビーチ
座間味	海がきれいなところ
座間味	阿真ビーチ
阿嘉	海
阿嘉	北浜ビーチ
阿嘉	・北浜 ・前浜 ・さくばる
阿嘉	うみ
阿嘉	前浜
阿嘉	学校
座間味	古座間味ビーチ
阿真	阿真ビーチ
阿佐	阿真ビーチで亀が見れること
座間味	古座間味ビーチ、阿真ビーチ もずくそば

“あなたは、将来どんな仕事をしたいと思いますか”という設問では、以下の表の通り様々な回答がありました。また、回答した仕事について、その仕事は座間味村内でできる仕事かという問いでは、【できる】と回答した割合が31.1%、【できない】と回答した割合が18.8%となりました。

〔将来やりたい仕事（「最大3つを選択」複数回答n=16）〕

阿佐	歯医者
阿佐	国語教師
阿佐	パン屋
座間味	わからない
座間味	料理に関する仕事
座間味	決まってない
阿嘉	保育士
阿嘉	養護教諭
阿嘉	・クリエイター ・料理系
阿嘉	彫師 教師
阿嘉	水族館の飼育員とか
座間味	電気工事
阿真	IT 関連の職場に就くこと
阿佐	まだ決めていない
座間味	特に決まってない

[将来やりたい仕事は座間味村内でできる仕事か (n=16)]



【アンケート結果まとめ (中学生向け)】

- 座間味村の現状について、自然環境、地域コミュニティ、イベントの充実などに対し肯定的な意見が大半を占めました。
- 座間味村の好きな食べ物として、もずく料理を挙げる回答が多く挙げられました。
- 座間味村の好きな場所、また紹介したい場所として各ビーチなど海を挙げる回答が多く挙げられました。
- 座間味村で好きなイベントとして「夏祭り」が最も多く挙げられました。
- 将来やりたい仕事を座間味村内でできると考えている生徒の割合は 31.3%であった。一方、最も多かった回答は「わからない」で 50%を占めました。

3. 座間味村総合戦略策定審議会

【審議会委員名簿】

1	宮里 祐司	(一般社団法人 座間味村観光協会 会長)
2	中村 秀克	(座間味村漁業協同組合 組合長)
3	宮平 清志	(座間味村商工会 会長)
4	西田 吉之介	(座間味村農業委員会 会長)
5	垣花 康雄	(座間味村社会福祉協議会 会長)
6	田中 有里子	(座間味村教育委員会 座間味教育委員)
7	宮平 賢	(公募)
8	幸喜 譲治	(座間味区長)
9	大坪 弘和	(阿佐区長)
10	大村 真人	(慶留間区長)

【事務局】

1	松田 力	(座間味村総務課長)
2	玉城 真也	(座間味村総務課主幹)

(1) 座間味村総合戦略策定審議会検討内容

① 第1回策定審議会

開催日時：2025年9月2日（火） 15：00～17：00

会 場：座間味村役場3階 多目的ホール

議 題：1) 委員長・副委員長の選出

2) 第2期座間味村人口ビジョン・総合戦略の振返り

検討事項：1) 第3期座間味村人口ビジョン・総合戦略策定に向けた方向性の検討

② 第2回策定審議会

開催日時：2025年12月18日（木） 13：15～15：00

会 場：座間味村役場3階 多目的ホール

議 題：1) 村民アンケート結果

2) 第3期座間味村人口ビジョン・総合戦略計画案

検討事項：1) 第3期座間味村人口ビジョン・総合戦略計画案の確認及び検討

③ 第3回策定審議会

開催日時：2026年2月予定

会 場：

議 題：

検討事項：

(2) 座間味村総合戦略審議会設置要綱

令和7年 7月 25日

要綱第 9 号

座間味村総合戦略審議会設置要綱

(設置)

第1条 本村の人口の現状と将来の展望を示す人口ビジョン及び総合戦略の目標、施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた第3期座間味村人口ビジョン・総合戦略を策定するため、座間味村総合戦略策定審議会（以下「審議会」という。）を設置する。

(審議事項)

第2条 審議会は村長の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査審議し、村長に答申する。

- (1) 総合戦略の策定及び改定に関すること。
- (2) 総合戦略の検証に関すること。
- (3) その他策定のために必要な事項に関すること。
- (4) 前各号に掲げるほか村長が特に必要と認めた事項に関すること。

(組織)

第3条 審議会は、委員12名以内で組織する。

2 委員は次の各号に掲げるものについて村長が委嘱する。

- (1) 関係団体を代表する者
- (2) 公募により選出された者
- (3) その他村長が必要と認めた者

(会長)

第4条 審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、会務を統括し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(任期)

第5条 委員の任期は、委嘱の日から第3期座間味村人口ビジョン・総合戦略の策定が終了するまでとする。

(会議)

第6条 審議会は会長が招集し、会長が議長となる。ただし、会長決定前の最初に開かれる委員会は、村長が招集する。

2 審議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 審議会の議事は出席委員の過半数で決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

(庶務)

第7条 審議会の庶務は、総務課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、審議会に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。